

百藝

1921-創設100周年-2021
Nihon University College of Art

N_U
Nihon University College of Art
Art

2022年度 受験用 入試案内



日本大学芸術学部教育体系

大学院芸術学研究科

- 博士後期課程
 - 芸術専攻
- 博士前期課程
 - 文芸学専攻
 - 映像芸術専攻
 - 造形芸術専攻
 - 音楽芸術専攻
 - 舞台芸術専攻

芸術学部

- 写真学科
- 映画学科
 - 映像表現・理論コース
 - 理論・批評専攻
 - シナリオ専攻
 - 映像専攻
 - 監督コース
 - 撮影・録音コース
 - 撮影専攻
 - 録音専攻
 - 演技コース
- 美術学科
 - 絵画コース
 - 絵画専攻
 - 版画専攻
 - 彫刻コース
 - 彫刻専攻
 - 地域芸術専攻
- 音楽学科
 - 作曲・理論コース
 - 作曲
 - 理論
 - 音楽教育コース
 - 声楽コース
 - ピアノコース
 - 弦管打楽コース
 - ヴァイオリン
 - ヴィオラ
 - チェロ
 - コントラバス
 - ギター
 - フルート
 - オーボエ
 - クラリネット
 - ファゴット
 - サクソフォン
 - ホルン
 - トランペット
 - トロンボーン
 - ユーフォニウム
 - テューバ
 - 打楽器
 - 情報音楽コース
- 文芸学科
- 演劇学科
 - 舞台構想コース
 - 劇作専攻
 - 演出専攻
 - 音響専攻
 - 舞台監督専攻
 - 企画制作専攻
 - 演技コース
 - 演技専攻
 - 舞台美術コース
 - 美術専攻
 - 照明専攻
 - 舞踊コース
 - 日舞専攻
 - 洋舞専攻
- 放送学科
- デザイン学科

掲載内容について

2021年4月現在の情報を掲載しています。
今後、内容に変更等が発生した場合には、
本学部ホームページにてお知らせします。

入学者選抜等に関するお問い合わせは…

- ・入学者選抜に関する質問
- ・学部資料請求
- ・キャンパス見学（68ページ参照）

等については、入試係までお願いします。
また、入学者選抜情報等については、ホームペ
ージでもご覧いただけます。

日本大学芸術学部 入試係

03-5995-8282

〒176-8525 東京都練馬区旭丘 2-42-1

（事務取扱時間）

月曜日～金曜日

9:00～17:00

土曜日

9:00～12:00

日本大学芸術学部ホームページ
<http://www.art.nihon-u.ac.jp/>



日本大学ホームページ
<http://www.nihon-u.ac.jp/>



日本大学芸術学部 2022年度受験用入試案内

CONTENTS

日本大学芸術学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
一般選抜	
2022年度 一般選抜について	4
2022年度 一般選抜A個別方式（第1期）概要	5
2022年度 一般選抜A個別方式（第1期）専門試験実施内容	8
2021年度 一般選抜A個別方式（第1期）結果	9
2021年度 一般選抜A個別方式（第1期）小論文・作文課題一覧	10
2021年度 一般選抜A個別方式（第1期）実技科目（課題）一覧	11
2022年度 一般選抜A個別方式（第2期）概要	14
2022年度 一般選抜A個別方式（第2期）専門試験 実施内容	16
2021年度 一般選抜A個別方式（第2期）結果	17
2021年度 一般選抜A個別方式（第2期）小論文・作文課題一覧	18
2021年度 一般選抜A個別方式（第2期）実技科目（課題）一覧	19
2022年度 一般選抜N全学統一方式（第1期）概要	21
2021年度 一般選抜N全学統一方式（第1期）結果	22
総合型選抜	
2022年度 総合型選抜について	23
2022年度 総合型選抜概要	24
2021年度 総合型選抜結果	28
2021年度 総合型選抜科目（課題）一覧	29
学校推薦型選抜（公募制）	
2022年度 学校推薦型選抜（公募制）について	34
2022年度 学校推薦型選抜（公募制）概要	35
2021年度 学校推薦型選抜（公募制）結果	38
2021年度 学校推薦型選抜（公募制）小論文・作文課題一覧	39
2021年度 学校推薦型選抜（公募制）実技科目（課題）一覧	40
2022年度 その他の入学者選抜	
外国人留学生・帰国生選抜、校友子女選抜	42
編入学・転部試験／2021年度 編入学・転部試験結果	43
2022年度 音楽学科実技課題曲案内	44
学部Q&A	49
学部概要	
授業等について	57
入学金・授業料等納入金について [昨年度参考]	58
2021年度 授業科目一覧	59
卒業制作等、学生の作品発表を見るには…	65
入学後のキャリア形成について ～卒業後の「職」を考える～	67
校舎案内／キャンパス見学について	68

一般選抜

総合型選抜

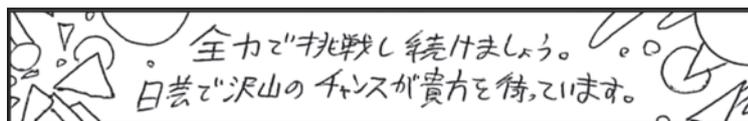
学校推薦型選抜

各種選抜等

実技課題曲
Q&A

学部概要

表紙デザイン 坂井 耀さん(デザイン学科3年生)のコメント



日本大学芸術学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

日本大学芸術学部では、本学の教育理念である「自主創造」のもと、自ら学び、自ら考え、自ら道をひらく能力を持った人材を育成します。そのため、8つの芸術分野それぞれを強く志す人、創造性が豊かでコミュニケーション能力に富み、芸術全般にわたり強い関心を持つ人、自らが芸術家、クリエイターになることを真剣に考えている人を求めます。

選抜方法として、学部実施の入学者選抜においては、各学科の特性に基づき、小論文、作文や実技等による専門試験及び面接試験を実施して、受験生の適性や創造性を個別的かつ直接的に審査するよう心掛けています。

以上を踏まえた、各学科における受入れ方針は以下のとおりです。

写真学科では、写真における芸術表現を中心に学習を行うため、写真の歴史や理論を学び、写真表現の技法について考え、報道、広告、ポートレート、芸術等の多様な分野に対応し、それぞれの専門とする写真表現を創造できる人材を求めます。

映画学科では、映画・映像における芸術表現を中心に学習を行うため、映画・映像の歴史や理論を学び、映画・映像表現の技法について考え、それぞれの専門とする映画・映像表現を創造できる人材を求めます。

美術学科では、美術における芸術表現を中心に学習を行うため、美術の歴史や理論を学び、美術表現の技法や活動の在り方について考え、それぞれの専門とする美術表現を創造できる人材を求めます。

音楽学科では、西洋音楽を中心に学習を行うため、音楽の歴史や理論及び技法を学び、音楽表現について考え、それぞれの専門とする音楽表現を創造できる人材を求めます。

文芸学科では、創作、研究、ジャーナリズムにわたる多様な表現活動の学習を行うため、文芸の歴史や理論を基礎教養として学び、文芸史の意義や現代文学の表現方法について考え、次世代を担う文芸表現を創造できる人材を求めます。

演劇学科では、グローバルな視野から、劇場芸術及びそれに関連する実践について学習を行うため、演劇と舞踊の理論や歴史を現代社会とのつながりの中で学び、その技法についても考え、各自の専門とする領域を研究、創造できる人材を求めます。

放送学科では、情報時代の中心的役割を果たす「放送」を深く認識させる学習を行うため、放送に関する歴史や理論を学び、映像や音響、CMの表現について考え、放送を担うにふさわしい自由で豊かな表現を創造できる人材を求めます。

デザイン学科では、デザインにおける思考及び表現を中心に学習を行うため、デザインの歴史や理論を学び、デザイン手法について考え、それぞれの専門とする分野で新たなデザイン表現を創造できる人材を求めます。

日本大学芸術学部では、上記の学部及び学科における入学者受入れ方針に基づき、入学者選抜においては、試験区分により以下のとおり審査し、評価します。

1 一般選抜（全学科共通）

一般選抜では、A個別方式及びN全学統一方式においては、学力検査により大学生としての基礎学力到達度を審査します。また、A個別方式においては、学力検査とともに各学科の特性に基づいた専門試験及び面接試験等を実施して、受験生の適性や創造性を個別的かつ直接的に審査し、評価します。

2 そのほかの入学者選抜

本学部では、一般選抜のほかにも、出願資格の異なる多様な入学者選抜を実施しますが、なかでも総合型選抜は、学科ごとに求める学生像を示し、特色ある人材を受入れるよう心掛けています。試験科目については、原則として各入学者選抜共通のものですが、総合型選抜については、学科によりほかの入学者選抜とは異なる選考方法で審査、評価しています。

①写真学科

小論文・作文試験では発想力、論理性、鑑賞力及び考察力を審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では写真への情熱、写真を学習する適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては実技試験、プレゼンテーション、小論文試験を実施します。実技試験では観察力、発想力及び対応力を、プレゼンテーションでは自己表現力、伝達能力を、小論文試験では論理性、鑑賞力及び考察力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では写真への情熱、写真を学習する適性及び人間性を審査し、評価します。

②映画学科

小論文試験または実技試験（演技コースのみ）を実施します。小論文試験では論理性及び発想力を、実技試験では資質、技術及び表現力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では映画を学ぶ意欲、適性

及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、小論文試験及び面接試験に加え、実技試験、記述試験、ディベートなどのコース別試験を実施して、各コースに応じた能力を審査し、その創造性を評価します。

③美術学科

実技試験・小論文試験ではこれまでの美術経験、表現力及び発想力を審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では美術学習の適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、実技試験または小論文試験及び面接試験を実施して、各コース・専攻に応じた能力や適性を審査し、その創造性を評価します。

④音楽学科

実技試験ではこれまでの音楽経験及び表現力を、またコースにより併せて実施する音楽に関する小論文試験では論理性及び発想力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では音楽学習の適性及び人間性を審査し、評価します。

⑤文芸学科

想像力と思考力を必要とする出題方法で小論文・作文試験を実施します。小論文試験では論理性及び発想力を、作文試験では語彙力及び表現力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では志望動機及び適性を審査し、評価します。

⑥演劇学科

コースごとに実技試験と面接試験を実施します。実技試験ではこれまでに培ってきた技術や経験のみならず、表現力と伝達力を、また、面接試験では劇場芸術を学ぶ意欲、適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、他の入学者選抜で実施する実技試験・面接試験に加えて、作文試験を実施します。作文試験では課題に対する着眼点と表現力を審査し、その創造性を評価します。

⑦放送学科

作文試験では与えられた課題に対する着眼点、構成力及び表現力を審査し、その創造性を評価します。また、面接試験では放送分野を学ぶ上での意欲、適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、実技試験、小論文・作文試験及び面接試験を実施します。実技試験では将来アナウンサー及び放送分野で活躍できる者となる適性を、小論文試験では主として時事問題についての自分の考え方をそれぞれ審査します。また、面接試験では将来アナウンサー及び放送分野で活躍できる者となる上で求められる適性、人間性及び将来性を審査し、評価します。

⑧デザイン学科

実技試験では観察力、表現力及び発想力を審査し、その創造性を評価します。また、面接試験ではデザイン学習の適性及び人間性を審査し、評価します。

なお、総合型選抜においては、小論文試験、実技試験、プレゼンテーション及び面接試験を実施します。小論文試験では論理性及び思考力を、実技試験では観察力、表現力及び発想力を、プレゼンテーションでは自己表現力及び伝達力をそれぞれ審査し、その創造性を評価します。また、面接試験ではデザインへの情熱、デザインを学習する適性及び人間性を審査し、評価します。

以上

日本大学学則について

この他、以下のホームページより日本大学学則等を確認してください。

日本大学学則（芸術学部ホームページ）

<http://www.art.nihon-u.ac.jp/about/relations/>

※「学則等」については、ホームページ中程に記載があります。



2022年度 一般選抜について

2月・3月で3回入学者選抜を実施します！

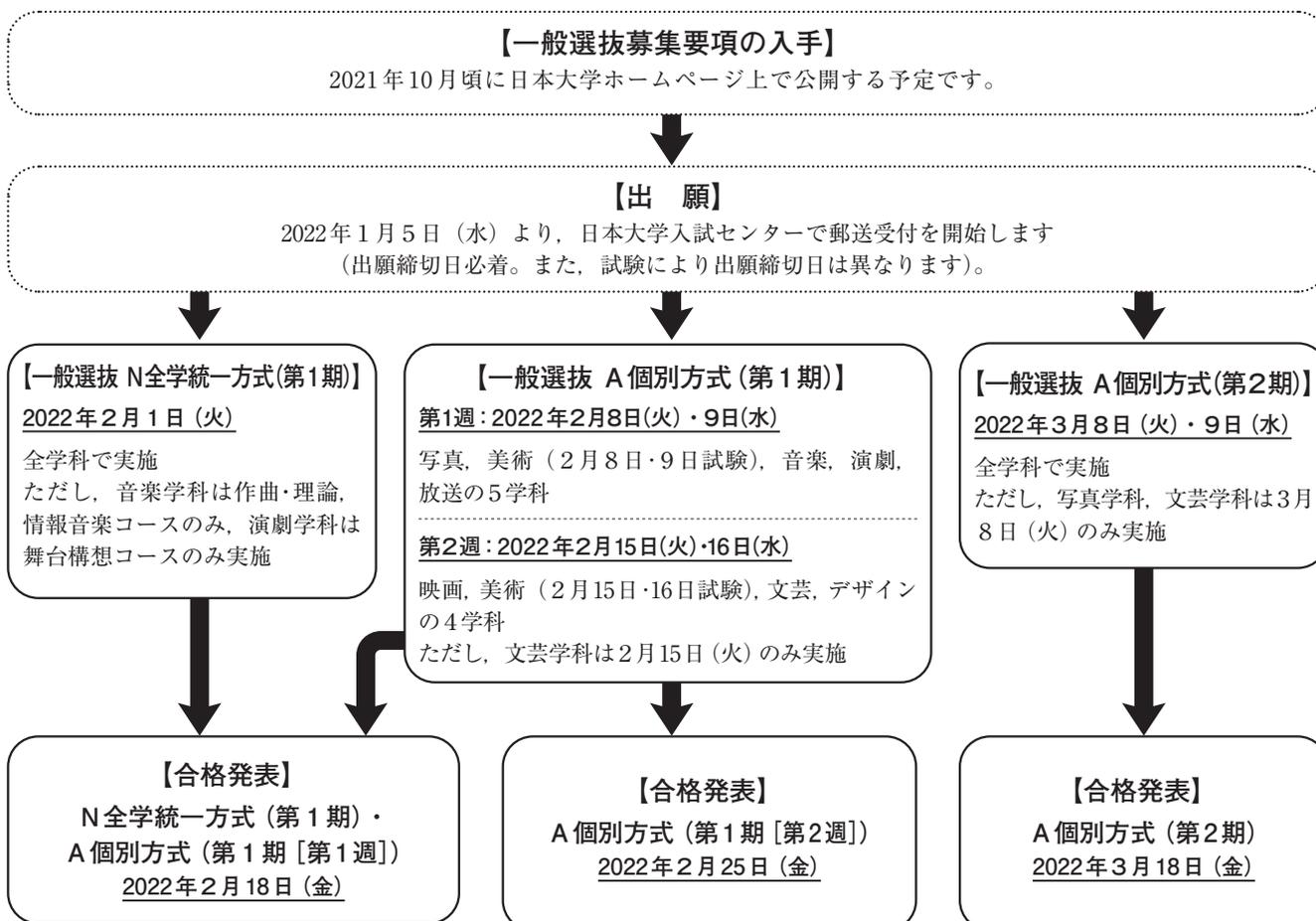
芸術学部独自に実施する2回の入学者選抜（A個別方式）と日本大学の統一入学者選抜（N全学統一方式）があり，一般選抜は，2月にN全学統一方式（第1期）とA個別方式（第1期），3月にA個別方式（第2期）と，3回実施します。



A個別方式（第1期・第2期）とN全学統一方式（第1期）の違いについて

比較項目	A個別方式（第1期・第2期）	N全学統一方式（第1期）
方式	芸術学部が独自に実施する試験です。学科により試験期日が設定されます。	日本大学が同一試験日に実施する試験です。 ※実施学科（コース）については，21 ページ参照
試験会場	芸術学部校舎で実施します。	全国各地の会場で実施します。
併願	第1期は，受験学科により併願が可能です（5 ページ参照）。 第2期は，全学科同一日程のため併願できません。	日本大学の複数学部（学科）や，本学部内の複数学科の併願が可能です。
試験科目	学力検査（外国語・国語）及び各学科の専門試験（学科・コースにより科目は異なります）を実施します。	学科指定の試験科目（学力検査）のみ実施します。 各学科の専門試験は実施しません。

一般選抜の流れ



2022年度 一般選抜 A個別方式 (第1期) 概要

(期日はすべて2022年となります)

1 出願手続

学 科	出 願 期 間
【第1週】 [写真, 美術 (2月8日・9日試験), 音楽, 演劇, 放送]	1月5日 (水)～1月28日 (金)
【第2週】 [映画, 美術 (2月15日・16日試験), 文芸, デザイン]	1月5日 (水)～2月4日 (金)

※ 映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する場合は, コースを1つだけ選択してください。

※ 出願方法, 提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください。

《併願について》

上の表のように, 第1週・第2週と, 2ブロックに分けて実施, 別のブロックであれば併願も可能です。ただし, 同一ブロック (同じ週に試験が実施される学科・コース) 内での併願はできません。

- 併願が可能な例：演劇学科と映画学科, 放送学科と文芸学科, 美術学科の「2月8日・9日試験」と「2月15日・16日試験」等 (ブロックが別で試験を実施する場合)
- × 併願ができない例：写真学科と放送学科, 映画学科と文芸学科 等 (同じブロックで試験を実施する場合)

2 試験期日及び試験科目

1 試験会場

すべて芸術学部校舎で実施します。

2 学力検査及び専門試験

①学力検査科目は, 外国語 (英語) 及び国語の2科目で, いずれの科目も全問マークシート方式です。

教 科	科 目	時 間	配 点
外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ」	60分	100点
国 語	「国語総合」 (漢文を除く)	60分	100点

②専門試験

学力検査当日の午後から引き続き専門試験を実施します。

試験科目は, 小論文, 作文, 実技, 面接等で, 学科・コースにより実施内容は異なります。実施科目の詳細については, 6ページの「3 学科 (コース) 別試験科目一覧」を参照してください。

3 学科(コース)別試験科目一覧

【第1週】写真, 美術(2月8日・9日試験), 音楽, 演劇, 放送学科

学科	募集人員	コース	学力検査			専門試験							総合点
			試験期日	外国語	国語	試験期日	小論文	作文	実技	面接	配点	備考	
写真	30	—					●			●	200点		400点
美術 (2月8日・9日試験)	10	絵画							●※	●	300点	※レポートを含む	500点
		彫刻					●※		●※	●	300点	※彫刻専攻は実技(レポートを含む), 地域芸術専攻は小論文	500点
音楽	33	作曲・理論					●※		●	●	300点	※小論文は理論のみ	500点
		音楽教育					●		●	●	300点		500点
		声楽							●	●	300点		500点
		ピアノ	2月8日(火)	●	●	2月8・9日(火・水)			●	●	300点		500点
		弦管打楽		配点100点	配点100点				●	●	300点		500点
		情報音楽							●	●	300点		500点
演劇	43	舞台構想						●		●	200点		400点
		演技							●	●	200点		400点
		舞台美術							●	●	200点		400点
		舞踊							●	●	200点	実技は日舞・洋舞のいずれかを選択	400点
放送	57	—					●		●	200点		400点	

【第2週】映画, 美術(2月15日・16日試験), 文芸, デザイン学科

学科	募集人員	コース	学力検査			専門試験							総合点
			試験期日	外国語	国語	試験期日	小論文	作文	実技	面接	配点	備考	
映画	62	映像表現・理論					●			●	150点		350点
		監督					●			●	150点		350点
		撮影・録音					●			●	150点		350点
		演技							●	●	150点		350点
美術 (2月15日・16日試験)	10	絵画	2月15日(火)	●	●				●※	●	300点	※レポートを含む	500点
		彫刻		配点100点	配点100点		●※		●※	●	300点	※彫刻専攻は実技(レポートを含む), 地域芸術専攻は小論文	500点
文芸	35	—				2月15日(火)	●			●	100点	小論文または作文と面接	300点
デザイン	20	—				2月15・16日(火・水)			●	●	300点	実技は科目を選択	500点

美術学科の試験について

第1週に「2月8日・9日試験」, 第2週に「2月15日・16日試験」として実施し, 「2月8日・9日試験」と「2月15日・16日試験」は, 併願が可能です。

3 合格発表及び入学手続

1 合格判定

すべての学科とも、学力検査及び専門試験の総合得点により合格判定を行いますが、学力検査の合計得点が200点満点中60点未満の場合は、総合得点が合格最低点を超えていても不合格となります。

2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

「インターネットによる合否案内」を実施します。

各期日については、下表を参照してください。

入学手続については、所定の手続を行うことにより、入学手続を延期することができます(二段階手続方式)。

なお、本試験については、追加合格を出す場合があります。

学 科	合格発表日時	入学手続締切期日	二段階手続方式 最終入学手続締切期日
写真, 美術 (2月8日・9日試験), 音楽, 演劇, 放送	2月18日 (金) 13時	3月4日 (金)	3月11日 (金)
映画, 美術 (2月15日・16日試験), 文芸, デザイン	2月25日 (金) 13時	3月11日 (金)	3月18日 (金)

2022年度 一般選抜 A 個別方式(第1期) 専門試験実施内容

学 科	科 目
写 真	①小論文 (60分・600字) ②面 接
映 画	①小論文あるいは実技 映像表現・理論、監督、撮影・録音コース：小論文 (80分・800字程度) 演技コース：実技 (基礎的な音声及び身体表現) ※服装については、動きやすい普段着とします ②面 接
美 術 〔2月8日・9日試験、 2月15日・16日試験 共通〕	①小論文あるいは実技及び実技に関するレポート 絵画コース：絵 画－ (1)実技 (油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く [5時間30分]) (2)実技に関するレポート [30分・400字以内] ※出願時に選択した描画材料を持参してください ※キャンパス(F15号)、画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します ※木炭紙の下敷きの用意はありません 版画コース： (1)実技 (デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く [5時間30分]) (2)実技に関するレポート [30分・400字以内] ※出願時に選択した描画材料を持参してください ※画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します ※木炭紙の下敷きの用意はありません 彫刻コース：彫 刻－ (1)実技 (デッサン 鉛筆、木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く [5時間30分]) (2)実技に関するレポート [30分・400字以内] ※出願時に選択した描画材料を持参してください ※画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します ※木炭紙の下敷きの用意はありません 地域芸術－小論文 (60分・800字以内) ※両コースとも、出願後すみやかに、受験する専攻及び画材を選択してください (詳細は『一般選抜募集要項』で指示します) ②面 接
音 楽	①実 技 (一部のコースで小論文も実施) 作曲・理論コース：作曲－ (1)作曲 (2)和声または楽典 (3)ピアノ 理論－ (1)小論文 (80分・1,000字程度) (2)楽典 (3)演奏 音楽教育コース：(1)小論文 (60分・800字程度) (2)楽典 (3)ピアノ (4)声楽 声 楽 コー ス：(1)声楽 (声楽曲及びコールユーブンゲン) (2)楽典 (3)ピアノ ピ ア ノ コー ス：(1)ピアノ (2)楽典 弦管打楽コース：(1)それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器 (2)楽典 (3)ピアノ 情報音楽コース：口頭試問 ※課題曲等の詳細については、44～48ページの『2022年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください (詳細は『一般選抜募集要項』で指示します) ②面 接
文 芸	①小論文または作文 (60分・800字以内) ②面 接
演 劇	①作文あるいは実技 舞台構想コース：作文 (60分・600字) 演技コース：実技 (演技、音感・リズム感) ※体操着及び上履きを持参してください 舞台美術コース：実技 (プレゼンテーション) ※舞台美術コース志願者は、入学後の専攻にかかわらず共通の試験内容となります 舞 踊 コー ス：日舞－実技 (各自所属流派修得の任意の曲目を踊る) ※着物、帯、足袋、扇子、上履きを持参してください ※自由選択の曲については、カセットテープ、CDあるいはMDを持参してください 洋舞－実技 (リズム運動、舞踏的身体運動及びイメージ表現) ※稽古着 (タイツ、レオタード、シューズ) を持参してください ※舞踊コース志願者は、出願後、指定された期日までに、受験する試験内容 (日舞または洋舞) を演劇学科へ郵送してください (詳細は『一般選抜募集要項』で指示します) ②面 接
放 送	①作 文 (時間・字数は当日指定) ②面 接
デザイン	①実 技 鉛筆によるデッサン (4時間) またはデザインプレゼンテーション (4時間) のいずれかを選択 ※実技試験科目は事前の選択が必要となるので、学科サイトより別途入力してください (詳細は『一般選抜募集要項』で指示します) ※選択にかかわらず、デッサン用鉛筆、クリップ、消しゴム (練ゴム)、カッターナイフ等を持参してください (デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可) ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ②面 接

持参作品等

音楽学科情報音楽コース、演劇学科舞台美術コース及びデザイン学科志願者は、面接試験の参考資料とするため、自作作品を専門試験日当日に持参してください (下表参照)。

学 科	持 参 作 品 等
音 楽	情報音楽コース志願者は、自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるように準備して持参してください (口頭試問で参考にします)
演 劇	舞台美術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ (A4サイズ)、あるいは石膏像デッサン及び水彩画等 (いずれもA2サイズ)
デザイン	自作作品5点。なお、映像作品については、タブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

※持参作品については、面接試験終了後に返却します

2021年度(昨年度参考) 一般選抜A個別方式(第1期) 結果

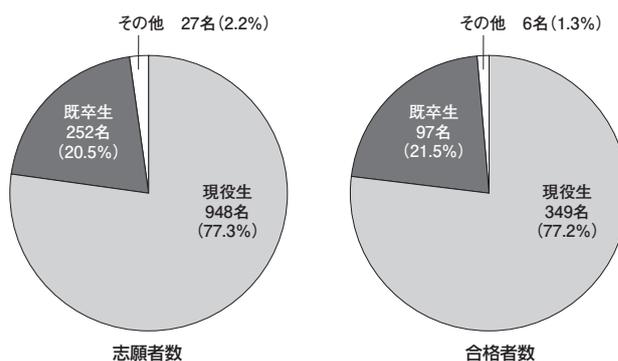
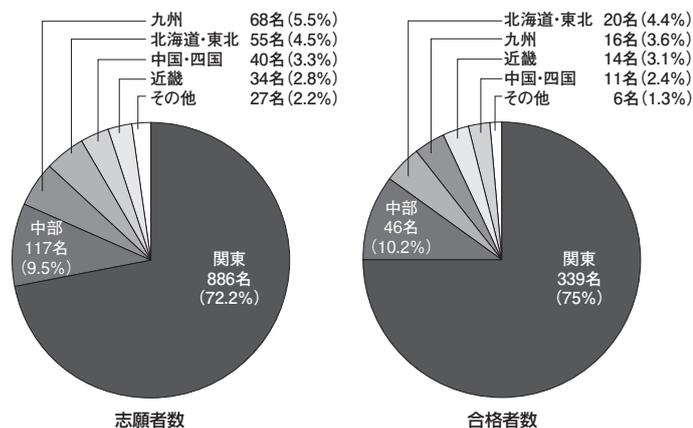
学科・コース	項目 募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率 (A)/(B)	2020年度 競争率	総点	合格者最低点		
								2021年度	2020年度	
写真学科	30	78 (38)	73 (36)	38 (23)	1.9倍	1.9倍	400	276	284	
映画学科	映像表現・理論コース 監督コース 撮影・録音コース 演技コース 計	62	103 (48)	87 (42)	34 (23)	2.6倍	3.2倍	350	224	233
		69 (31)	67 (29)	17 (11)	3.9倍	3.3倍	240		237	
		40 (27)	34 (23)	25 (20)	1.4倍	1.6倍	203		203	
		55 (32)	51 (31)	9 (7)	5.7倍	13.8倍	230		270	
		62	267 (138)	239 (125)	85 (61)	—	—	—	—	—
美術学科	(2/9・10試験) 絵画コース コース計 (2/9・10試験) 彫刻コース コース計 計	20※	43 (24)	42 (24)	18 (12)	2.3倍	2.7倍	500	332	326
			30 (20)	19 (13)	17 (13)	1.1倍	2.2倍		226	326
			73 (44)	61 (37)	35 (25)	—	—	—	—	—
			5 (4)	4 (3)	4 (3)	1.0倍	1.0倍	500	388	298
			5 (2)	2 (0)	2 (0)	1.0倍	1.5倍		370	326
10 (6)	6 (3)	6 (3)	—	—	—	—	—			
20	83 (50)	67 (40)	41 (28)	—	—	—	—	—		
音楽学科	作曲・理論コース 音楽教育コース 声楽コース ピアノコース 弦管打楽コース 情報音楽コース 計	33	6 (4)	6 (4)	6 (4)	1.0倍	1.3倍	500	401	316
			12 (9)	10 (7)	8 (6)	1.3倍	1.3倍		334	317
			8 (6)	8 (6)	5 (3)	1.6倍	1.0倍		328	304
			5 (5)	5 (5)	5 (5)	1.0倍	1.0倍		292	383
			11 (8)	9 (7)	8 (6)	1.1倍	1.4倍		324	336
			52 (22)	49 (21)	11 (7)	4.5倍	3.7倍		373	367
33	94 (54)	87 (50)	43 (31)	—	—	—	—	—		
文芸学科	35	141 (72)	129 (66)	66 (41)	2.0倍	3.8倍	300	186	203	
演劇学科	舞台構想コース 演技コース 舞台美術コース 舞踊コース 計	43	74 (58)	73 (58)	22 (18)	3.3倍	3.4倍	400	271	267
			72 (43)	68 (42)	19 (13)	3.6倍	6.1倍		249	258
			11 (9)	10 (8)	8 (7)	1.3倍	1.4倍		238	286
			24 (24)	24 (24)	6 (6)	4.0倍	2.6倍		300	275
			43	181 (134)	175 (132)	55 (44)	—	—	—	—
放送学科	57	248 (133)	243 (130)	73 (51)	3.3倍	3.2倍	400	251	200	
デザイン学科	20	135 (89)	96 (62)	51 (39)	1.9倍	2.0倍	500	355	350	
合計	300	1,227 (708)	1,109 (641)	452 (318)	—	—	—	—	—	

※美術学科の募集人員は、2/9・10試験：10名、2/16・17試験：10名

() 内は女子内数

【出身校地域別人数】

【現役生・既卒生等別人数】



2021年度(昨年度参考) 一般選抜A個別方式(第1期) 小論文・作文課題一覧

学科・コース		時間	字数	課 題
写 真		60分	600字	<小論文> コロナ禍で大変な一年でしたが、今後の明るい未来に向けて、写真が果せる役割について、あなたの考えを述べなさい。
映 画 (演技を除く)		80分	800字程度	<小論文> 次の文章を読み、あなたの考える「旅」とは何かを述べなさい。 ※パール・アンデション著、畔上司訳「旅の効用 人はなぜ移動するのか」 草思社、2020年、12～13ページ
美 術 (地域芸術) (2月9日・10日試験)		—	—	【当該専攻志願者なし】
美 術 (地域芸術) (2月16日・17日試験)		60分	800字以内	<小論文> 持続可能な芸術祭とは何かあなたの考えを述べなさい。
音 楽	作曲・理論 (理論)	80分	1,000字程度	<小論文> 次の三つのテーマの中から一つを選び、1,000字程度の小論文を書きなさい。 1. 音楽の魅力 2. 私が好きな音楽作品 3. 理論コースで研究したいこと
	音楽教育	60分	800字程度	<小論文> 次のテーマから1つを選び、800字程度の小論文を書きなさい。 1. 音楽科教員になるために本学音楽教育コースで学びたいこと 2. 学校の音楽教育が生徒の成長におよぼす影響について 3. 大規模災害や社会的困難が生じたときの音楽の役割
文 芸		60分	800字以内	<小論文または作文> 次の二つのうち一つを選んで文章を書いてください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください) ①「会えない」状況の話を作文してください。 ②「表現の自由」について論じてください。
演 劇 (舞台構想)		60分	600字	<作文> 「透明なチカラ」をタイトルにし、作文(自分の考えを述べる、物語を作る、等)してください。
放 送		60分	600字	<作文> 「鞆」

※上記は、昨年度試験内容であるため、2022年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2021年度(昨年度参考) 一般選抜A個別方式(第1期) 実技科目(課題) 一覧

学科・コース		科目・課題
美術 (2月9日・10日試験)	映画 (演技)	<p>基礎的な音声及び身体表現</p> <p>発声1 次の内容をはっきりと述べてください。 受験番号()番、(氏名)です。出身は(都道府県名)で、学校は(学校名)高校を卒業する予定です。年齢は、()歳です。</p> <p>発声2 次の文章を朗読してください。 ※中条省平「黎明期のマンガ進化論」『芸術新潮11』新潮社、2020年11月25日、52～53ページ</p> <p>動作 次の内容をしぐさのみで表現してください。 〔設定〕下校時。学校の廊下。</p> <p>スマホを操作しながら歩いている。 誰かに呼び止められた気がして、後ろを振り向く。 が、誰もいない。 前に向き直り、歩きながらスマホの動作に戻る。 階段から走って降りてきた数名と、危うくぶつかりそうになる。 びっくりしてスマホを落としてしまう。 生徒たちが走り去った方を見ながらスマホを拾う。 スマホが壊れていないか確認しながら歩いて行く。 (そのまま退場してください)</p>
	絵画 (絵画)	<p>①実技 (油彩・アクリル・鉛筆・木炭のいずれかを選択し、人物を描く) (5時間30分) ≪キャンバスはF15号、その他の支持体は65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ] 人物(コスチューム) コスチューム：ニット、パンツ、スニーカー 椅子 ×1 布を敷いたモデル台 ×1</p> <p>②実技に関するレポート (30分・400字以内)</p>
	絵画 (版画)	<p>①実技 (デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く) (5時間30分) ≪画用紙または木炭紙 65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ] ポッド ×1 りんご ×1 カリフラワー ×1 レモン ×1 布 ×1</p> <p>②実技に関するレポート (30分・400字以内)</p>
彫刻 (彫刻)	<p>①実技 (デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択して、モチーフ全体を1つ、部分を2つ以上描く) (5時間30分) ≪木炭紙または画用紙 65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ] 孔雀鳩 ×1</p> <p>②実技に関するレポート (30分・400字以内)</p>	



学科・コース		科目・課題	
美術 (2月16日・17日試験)	絵画 (絵画)	<p>①実技 (油彩・アクリル・鉛筆・木炭のいずれかを選択し、人物を描く) (5時間30分) ≪キャンパスはF 15号, その他の支持体は65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ] 人物 (コスチューム) コスチューム: ワンピース, スニーカー 椅子 × 1 布を敷いたモデル台 × 1</p> <p>②実技に関するレポート (30分・400字以内)</p>	
	絵画 (版画)	【当該専攻志願者なし】	
	彫刻 (彫刻)	<p>①実技 (デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択して、モチーフ全体を1つ、部分を2つ以上描く) (5時間30分) ≪木炭紙または画用紙 65cm×50cm≫</p> <p>[モチーフ] 金魚 × 1</p> <p>②実技に関するレポート (30分・400字以内)</p>	
音楽	作曲・理論 (作曲)	①作曲 (80分) ②和声または楽典 (80分) ③ピアノ	
	作曲・理論 (理論)	①楽典 (80分) ②演奏	
	音楽教育	①楽典 (60分) ②ピアノ ③声楽	
	声楽	①声楽 (声楽曲及びコールユーブンゲン) ②楽典 (60分) ③ピアノ	
	ピアノ	①ピアノ ②楽典 (60分)	
	弦管打楽	①それぞれの専攻する弦楽器, 管楽器または打楽器 ②楽典 (60分) ③ピアノ	
	情報音楽	プレゼンテーション (演奏及び演奏解説)	
演劇	演技	<p>演技 (音感・リズム感を含む)</p> <p>①演技 紙芝居の演者として次の文章を語り, それに続く物語を創作して演じてください。 (文章を読み終わってから1分程度の長さ) ※注1 試験会場には紙芝居のフレームがありますが, 紙芝居は何も入っていません。 ※注2 紙芝居のフレームには触るできません。 ※レイチェル・カーソン著, 上遠恵子訳「センス・オブ・ワンダー」新潮社, 2019年, 7ページ</p> <p>②音感・リズム感 (1) アカペラで一人ずつ歌う (自由課題) (2) 振り付けに通じた身体表現</p>	
	舞台美術	<p>プレゼンテーション</p> <p>次の文章を発想の起点として, 上演を想定した作品の舞台空間について自らのデザインをまとめなさい。 作業時間は60分です。用紙の裏面を使用しても構いません。 作業終了後に用紙は回収し, 口頭発表時に返却します。(口頭発表 5分) ※柳美里「町の形見」河出書房新社, 2018年, 95ページ</p>	
	舞踊 (日舞)	各自所属流派修得の任意の曲目を踊る	

学科・コース		科目・課題	
演 劇	舞 踊 (洋舞)	<p>リズム運動、舞踏的身体運動及びイメージ表現</p> <p>①基本運動 (1)バレエ・テクニク (2)モダンダンス・テクニク</p> <p>②イメージによる動き 題『圧力』 ◆身体外部からの圧力を感じる(ポーズ約30秒) ◆次第に圧力の変化を感じる(状況の変化を伝える) (例えば、強い圧力、軽い圧力、無圧力など、状態の変化や状況の過程などイメージで自由に動く)</p>	
		デザイン	<p>鉛筆によるデッサン(4時間)またはデザインプレゼンテーション(4時間)のいずれかを選択。</p> <p>①鉛筆によるデッサン(4時間)〈B3画用紙〉 与えられたモチーフを台紙の上にセットし、鉛筆でデッサンしなさい。 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。 ※はかり棒は使用可。</p> <p>[モチーフ] ドレッシングボトル ×1 ふきん ×1 スプーン ×1 パーツボックス ×1</p> <p>条件 (1)机の上に置いてあるドレッシングボトル、ふきん、スプーン、パーツボックスをすべて組み合わせること。 ふきんはそのままではなく形を変えること。 (2)台紙は描かなくてもよい。 (3)用紙は横位置で使用すること。 (4)A3の上質紙はエスキース(下書き)用として使用してもしなくてもどちらでも構わない。 *ふきんの形を保持しにくい場合はネリゴム等で固定してください。</p> <p>②デザインプレゼンテーション(4時間)〈B3ケント紙+PMパッド1枚〉 私たちの生活に関わる「ダイバーシティの実現」の問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。</p> <p>この「ダイバーシティの実現」に対してどのような問題があり、どうしたらそれをデザインで解決できるのか具体的に提案してください。 もしくは、気づきにくい問題点や面白さを抽出して知ってもらうための提案でも構いません。 例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」などあなたが得意とする分野での実現可能な提案を望みます。</p> <p>条件 (1)用紙は2枚あります。PMパッド(薄い紙)1枚はアイデアやメモとして自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。 (2)表現方法は自由(持参した鉛筆、および配布された色鉛筆を使用すること) (3)用紙は横位置にて使用すること。 (4)用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。 (5)定規・コンパスは使用不可。</p>

※上記は、昨年度試験内容であるため、2022年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2022年度 一般選抜 A 個別方式 (第2期) 概要

(期日はすべて2022年となります)

1 出願手続

学 科	出 願 期 間
全 学 科 [写真, 映画, 美術, 音楽, 文芸, 演劇, 放送, デザイン]	1月5日(水)~3月1日(火)

※ 映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する場合は, コースを1つだけ選択してください。

※ 出願方法, 提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください。

《併願について》

全学科統一日程のため併願はできません。

2 試験期日及び試験科目

1 試験会場

すべて芸術学部校舎で実施します。

2 学力検査及び専門試験

①学力検査科目は, 外国語(英語)及び国語の2科目で, いずれの科目も全問マークシート方式です。

教 科	科 目	時 間	配 点
外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ」	60分	100点
国 語	「国語総合」(漢文を除く)	60分	100点

②専門試験

学力検査当日の午後から引き続き専門試験を実施します。

試験科目は, 小論文, 作文, 実技, 面接等で, 学科・コースにより実施内容は異なります。実施科目の詳細については, 15ページの「3 学科(コース)別試験科目一覧」を参照してください。

3 学科（コース）別試験科目一覧

学科	募集人員	コース	学力検査			専門試験						総合点	
			試験期日	外国語	国語	試験期日	小論文	作文	実技	面接	配点		備考
写真	5	—	3月8日 (火)	●	●	3月8日(火)		●		●	200点		400点
映画	10	映像表現・理論					●		●	150点		350点	
		監督					●		●	150点		350点	
		撮影・録音					●		●	150点		350点	
		演技						●	●	150点		350点	
美術	2	絵画						※	●	300点	※レポートを含む	500点	
		彫刻				3月8・9日 (火・水)	※		※	●	300点	※彫刻専攻は実技(レポートを含む), 地域芸術専攻は小論文	500点
音楽	6	作曲・理論						※	●	●	300点	※作曲専攻は実技のみ 理論専攻は小論文のみ	500点
		音楽教育					●		●	●	300点		500点
		声楽							●	●	300点		500点
		ピアノ							●	●	300点		500点
		弦管打楽							●	●	300点		500点
		情報音楽					●			●	300点		500点
文芸	11	—				3月8日(火)	●	●		●	300点		500点
演劇	11	舞台構想			●		●	200点		400点			
		演技				●	●	200点		400点			
		舞台美術				●	●	200点		400点			
		舞踊	3月8・9日 (火・水)			●	●	200点	実技は日舞・洋舞の いずれかを選択	400点			
放送	20	—		●			●	200点		400点			
デザイン	5	—					●	●	300点	実技は科目を選択	500点		

3 合格発表及び入学手続

1 合格判定

すべての学科とも、学力検査及び専門試験の総合得点により合格判定を行います。学力検査の合計得点が200点満点中60点未満の場合は、総合得点が合格最低点を超えていても不合格となります。

2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

「インターネットによる合否案内」を実施します。

各期日については、下表を参照してください。

入学手続については、二段階手続は行いません。

なお、本試験については、追加合格を出す場合があります。

学 科	合格発表日時	入学手続締切期日
全学科	3月18日(金) 13時	3月25日(金)

2022年度 一般選抜 A 個別方式(第2期) 専門試験実施内容

学 科	科 目
写 真	①作 文 (60分・600字) ②面 接
映 画	①小論文あるいは実技 映像表現・理論、監督、撮影・録音コース：小論文(80分・800字程度) 演 技 コ ー ス： 実 技 (基 礎 的 な 音 声 及 び 身 体 表 現) ※服装については、動きやすい普段着とします ②面 接
美 術	①小論文あるいは実技及び実技に関するレポート 絵画コース：絵 画－ (1)実技(油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く [5時間30分]) (2)実技に関するレポート [30分・400字以内] ※出願時に選択した描画材料を持参してください ※キャンパス (F15号)、画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します ※木炭紙の下敷きの用意はありません 版画コース： (1)実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く [5時間30分]) (2)実技に関するレポート [30分・400字以内] ※出願時に選択した描画材料を持参してください ※画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します。 ※木炭紙の下敷きの用意はありません 彫刻コース：彫 刻－ (1)実技(デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く [5時間30分]) (2)実技に関するレポート [30分・400字以内] ※出願時に選択した描画材料を持参してください ※画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します ※木炭紙の下敷きの用意はありません 地域芸術－小論文(60分・800字以内) ※両コースとも、出願後すみやかに、受験する専攻及び画材を選択してください(詳細は『一般選抜募集要項』で指示します) ②面 接
音 楽	①実 技 (一部のコースで小論文も実施) 作曲・理論コース：作曲－作曲 理論－小論文(80分・1,000字程度) 音楽教育コース：(1)小論文(60分・800字程度) (2)ピアノ (3)声楽 声 楽 コ ー ス：声楽(声楽曲及びコールユーブンゲン) ピ ア ノ コ ー ス：ピアノ 弦管打楽コース：それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器 情報音楽コース：小論文(80分・800字程度) ※課題曲等の詳細については、44～48ページの『2022年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください(詳細は『一般選抜募集要項』で指示します) ②面 接
文 芸	①小論文及び作文(各800字以内、合わせて120分) ※辞書持込み可(電子辞書不可)。また、学科指定施設内の資料の参照も可 ②面 接
演 劇	①作文あるいは実技 舞台構想コース：作文(60分・600字) 演 技 コ ー ス：実 技 (演 技、音 感・リズ ム 感) ※体操着及び上履きを持参してください 舞台美術コース：実技(プレゼンテーション) ※舞台美術コース志願者は、入学後の専攻にかかわらず共通の試験内容となります 舞 踊 コ ー ス：日舞－実技(各自所属流派修得の任意の曲目を踊る) ※着物、帯、足袋、扇子、上履きを持参してください ※自由選択の曲については、カセットテープ、CDあるいはMDを持参してください 洋舞－実技(リズム運動、舞踏的身体運動及びイメージ表現) ※稽古着(タイツ、レオタード、シューズ)を持参してください ※舞踊コース志願者は、出願後、指定された期日までに、受験する試験内容(日舞または洋舞)を演劇学科へ郵送してください(詳細は『一般選抜募集要項』で指示します) ②面 接
放 送	①小論文(時間・字数は当日指定) ②面 接
デ ザ イ ン	①実 技 鉛筆によるデッサン(4時間)またはデザインプレゼンテーション(4時間)のいずれかを選択 ※実技試験科目は事前の選択が必要となるので、学科サイトより別途入力してください(詳細は『一般選抜募集要項』で指示します) ※選択にかかわらず、デッサン用鉛筆、クリップ、消しゴム(練ゴム)、カッターナイフ等を持参してください(デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可) ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ②面 接

持参作品等

演劇学科舞台美術コース志願者及びデザイン学科志願者は、面接試験の参考資料とするため、自作作品を専門試験日当日に持参してください。(下表参照)

学 科	持 参 作 品 等
演 劇	舞台美術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ(A4サイズ)、あるいは石膏像デッサン及び水彩画等(いずれもA2サイズ)
デ ザ イ ン	自作作品5点。なお、映像作品については、タブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

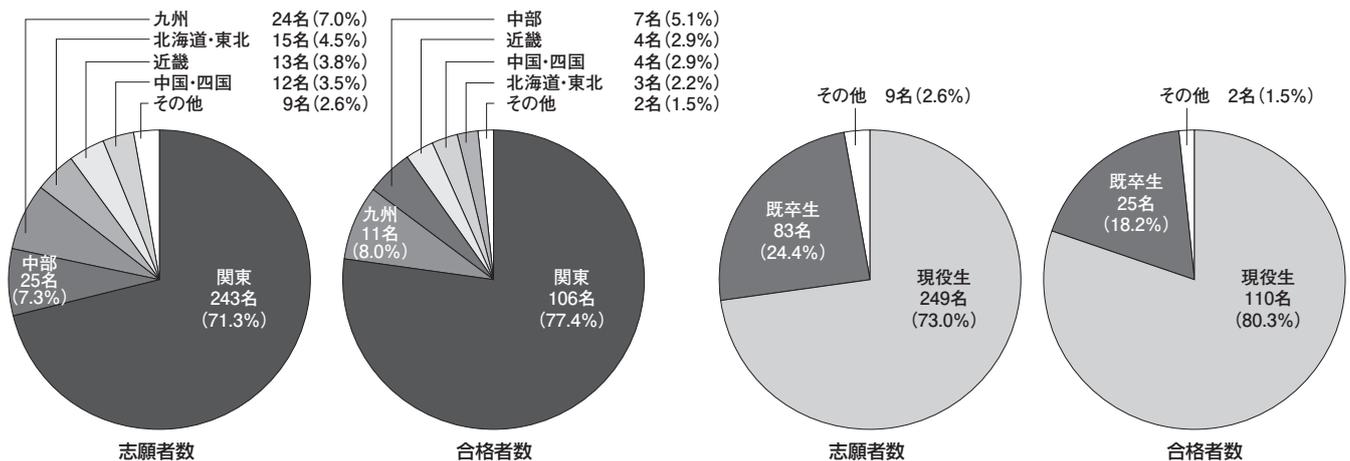
※持参作品については、面接試験終了後に返却します

2021年度(昨年度参考) 一般選抜A個別方式(第2期) 結果

学科・コース	項目 募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率 (A)/(B)	2020年度 競争率	総点	合格者最低点		
								2021年度	2020年度	
写真学科	5	25 (10)	19 (8)	9 (3)	2.1倍	1.4倍	400	229	265	
映画学科	映像表現・理論コース 監督コース 撮影・録音コース 演技コース 計	10	20 (9)	14 (7)	6 (3)	2.3倍	2.9倍	350	211	236
			28 (8)	25 (6)	7 (3)	3.6倍	2.5倍		241	218
			3 (1)	2 (0)	2 (0)	1.0倍	4.0倍		246	267
			19 (14)	16 (13)	3 (3)	5.3倍	13.5倍		222	311
			10	70 (32)	57 (26)	18 (9)	—		—	—
美術学科	絵画コース 彫刻コース 計	2	8 (5)	4 (3)	4 (3)	1.0倍	6.5倍	500	317	389
			1 (1)	1 (1)	1 (1)	1.0倍	—		433	—
			2	9 (6)	5 (4)	5 (4)	—		—	—
音楽学科	作曲・理論コース 音楽教育コース 声楽コース ピアノコース 弦管打楽コース 情報音楽コース 計	6	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1.0倍	2.0倍	500	411	412
			3 (2)	1 (0)	1 (0)	1.0倍	—		354	—
			6 (5)	4 (4)	2 (2)	2.0倍	—		380	—
			1 (1)	1 (1)	1 (1)	1.0倍	1.0倍		412	415
			2 (1)	0 (0)	0 (0)	—	2.0倍		—	347
			32 (8)	28 (8)	12 (6)	2.3倍	1.4倍		308	265
6	45 (18)	35 (14)	17 (10)	—	—	—	—			
文芸学科	11	40 (21)	30 (15)	24 (13)	1.3倍	2.5倍	500	273	315	
演劇学科	舞台構想コース 演技コース 舞台美術コース 舞踊コース 計	11	21 (17)	19 (16)	11 (9)	1.7倍	3.8倍	400	269	278
			14 (7)	12 (5)	7 (4)	1.7倍	3.1倍		228	243
			0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	1.5倍		—	273
			5 (5)	4 (4)	4 (4)	1.0倍	3.5倍		276	317
			11	40 (29)	35 (25)	22 (17)	—		—	—
放送学科	20	87 (39)	80 (34)	24 (13)	3.3倍	2.8倍	400	239	194	
デザイン学科	5	25 (14)	20 (9)	18 (9)	1.1倍	2.5倍	500	299	377	
合計	70	341 (169)	281 (135)	137 (78)	—	—	—	—	—	

【出身校地域別人数】

【現役生・既卒生等別人数】



2021年度(昨年度参考) 一般選抜A個別方式(第2期) 小論文・作文課題一覧

学科・コース	時間	字数	課 題
写 真	60分	600字	<作文> 「写真」で未来の生活を、明るくする方法を作文してください。
映 画 (演技を除く)	80分	800字 程度	<小論文> 次の文章を読んで「今求められていること」についてあなたの考えを述べなさい。 ※安藤忠雄「安藤忠雄 仕事をつくる 私の履歴書」日本経済新聞出版社, 2019年, 244～245ページ
美 術 (地域芸術)	—	—	【当該専攻志願者なし】
音 楽	作曲・理論 (理論)	—	【当該専攻志願者なし】
	音楽教育	60分	800字 程度 <小論文> 次のテーマから1つを選び800字程度の小論文を書きなさい。 1 多様化する現代社会において学校の音楽教育で教えるべきこととは何か 2 中学校または高等学校における音楽科教員の役割について 3 学校の音楽教育と音楽の個人レッスンにおける共通点と相違点について
	情報音楽	80分	800字 程度 <小論文> ザイアンスの法則とは、アメリカの心理学者であるロバート・ザイアンスが1968年に提唱したもので、単純接触効果とも呼ばれます。人間は、興味や関心が全くなかったものでも、繰り返し接触することで、次第に良い感情が生まれ、興味や関心を抱くようになっていくという心理現象のことです。同じCMを繰り返し見せることによって、その商品に対して興味を持たせ、購買へつなげていくような広報戦略は、まさに単純接触効果を利用した方法です。 では、この単純接触効果を音楽で利用するためには、どのようなことが可能であるか、論点を1つに絞って800字程度で論じてください。
文 芸	120分	各800字 以内	<小論文> 「不自由な生活」について自由に論じてください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください。)
			<作文> 「写真を撮る人」が登場する作文を書いてください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください。)
演 劇 (舞台構想)	60分	600字	<作文> 「2.5次元演劇」について思うことを、自身の観劇・読書等の経験・体験を踏まえ、作文してください。
放 送	80分	800字	<小論文> 2021年3月11日、東日本大震災から10年になる。福島第一原発事故の廃炉作業が続けられているが、まだまだ厳しい状況が続いていることは否めない。しかし昨年、宮城県知事は、東北電力女川原発2号機の再稼働に同意した。原発再開の動きに対して社会の関心は低いようだが、被災地で静かに進んでいる原子力回帰についてどう考えるか論じなさい。

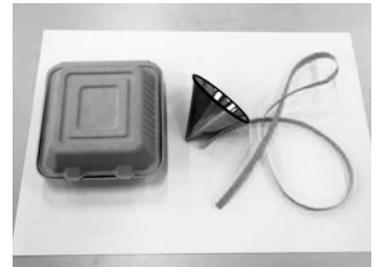
※上記は、昨年度試験内容であるため、2022年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2021年度(昨年度参考) 一般選抜A個別方式(第2期) 実技科目(課題) 一覧

学科・コース		科目・課題	
映 画 (演技)		基礎的な音声及び身体表現 発声1 次の内容をはっきりと述べてください。 受験番号()番, (氏名)です。出身は(都道府県名)で, 学校は(学校名)高校を卒業する予定です。年齢は, ()歳です。 発声2 次の文章を朗読してください。 ※佐藤俊一「素顔の「志ん生」」『サライ 2019年2月号』小学館, 2019年1月10日, 34ページ 動作 次の内容をしぐさのみで表現してください。 [設定] 冬の寒空の朝。ラッシュ時の駅のホーム。 ドアが開いてホームに降りる。寒風が吹いている。 マフラーが風に飛ばされそうになったので, 慌てて首に巻く。 マスクに手が触れて, マスクが落ちてしまう。 マスクを拾おうとすると, 下車してきた人に押され, 人の波に流されてしまう。 その時, 背中を優しく叩かれる。 振り向くと, 知らない人が新しいマスクを手渡してくれた。 お礼を言おうとしたが, すぐに去ってしまった。 小走りで追いかける。 (そのまま, 試験会場から退室してください)	
	美 術	絵 画 (絵画)	①実技 (油彩・アクリル・鉛筆・木炭のいずれかを選択し, 静物を描く) (5時間30分) ≪キャンバスはF15号, その他の支持体は65cm×50cm≫ [モチーフ] 安全靴 × 2 じゃがいも × 1 たまねぎ × 1 ミルク缶 × 1 黄色い布 × 1 ②実技に関するレポート (30分・400字以内)
	絵 画 (版画)	【当該専攻志願者なし】	
	彫 刻 (彫刻)	①実技 (デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し, モノと空間を描く) (5時間30分) ≪画用紙または木炭紙 65cm×50cm≫ [モチーフ] ウケザキクンシラン × 1 ②実技に関するレポート (30分・400字以内)	
音 楽	作曲・理論 (作曲)	作曲	
	音楽教育	①ピアノ ②声楽	
	声 楽	声楽 (声楽曲及びコールユーブンゲン)	
	ピアノ	ピアノ	
	弦管打楽	それぞれの専攻する弦楽器, 管楽器または打楽器	

学科・コース		科目・課題
演 劇	演技	<p>演技（音感・リズム感を含む）</p> <p>①演技 問題1 バナナの叩き売りとして、【問題文】を読んでください。 ※室町京之介「坂野のバナナの叩き売り」『新版 香具師口上集』1997年、117ページ</p> <p>問題2 【問題文】を参考にして、自分の考えた言葉でバナナの叩き売りをしてください。</p> <p>②音感・リズム感 【音感】 アカペラで一人ずつ歌う。（自由課題） 【リズム感】 リトミックを用いたリズム表現 音楽を用いた即興表現</p>
	舞台美術	【当該コース志願者なし】
	舞踊 (日舞)	【当該専攻志願者なし】
	舞踊 (洋舞)	<p>リズム運動、舞踊的身体運動及びイメージ表現</p> <p>①基本運動 (1) ウォーミングアップ (2) バレエ・テクニック (3) モダンダンス・テクニック</p> <p>②イメージによる動き 題『蠟燭』 ◆燃えている蠟燭になる（ポーズ約30秒） ◆次第に蠟燭の気持ちになり動く （状況の変化を伝える、例えば、風がくる、熱くなる、溶けている蠟燭、消えた蠟燭など） ◆自分になる（煙になったイメージで、各自が得意分野に合わせて自由に動く）</p>
	デザイン	<p>鉛筆によるデッサン（4時間）またはデザインプレゼンテーション（4時間）のいずれかを選択。</p> <p>①鉛筆によるデッサン（4時間）＜B3画用紙＞ 与えられたモチーフを台紙の上にセットし、鉛筆でデッサンしなさい。 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。 ※はかり棒は使用可。</p> <p>【モチーフ】 コーヒーステンレスフィルター × 1 PPバンド × 1 フードバック × 1</p> <p>条件 (1) 机の上に置いてあるコーヒーステンレスフィルター、PPバンド、フードバックをすべて組み合わせること。 PPバンドはそのままではなく形を変えること。（折ってもよい）* (2) 台紙は描かなくてもよい。 (3) 用紙は横位置で使用する事。 (4) A3の上質紙はエスキース（下書き）用として使用してもしなくてもどちらでも構わない。 *PPバンドの形を保持しにくい場合はネリゴム等で固定してください。</p> <p>②デザインプレゼンテーション（4時間）＜B3ケント紙+PMパッド1枚＞ 私たちの生活に関わる「巣ごもり生活」の問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大は、現代社会に多くの課題を突きつけました。私たちは、これからの社会を単にコロナ前の状態に戻すのではなく、今回の経験と教訓を踏まえて新たな段階の文明社会を模索していかなければなりません。この世界的パンデミックの危機にあって、その後の進むべき新たな社会はどうあるべきか、デザインは何を提案できるのかを考えてください。</p> <p>新型コロナウイルスの拡大予防で緊急事態宣言が発令され、一気に在宅勤務が広まりました。スーパーマーケットやドラッグストア以外の多くの店舗が時短営業をしているということもあり、ECで買い物をせざるを得ない状況です。外出自粛により「巣ごもり生活」が日常となってきた今、「巣ごもり生活」に対してどのような問題（もしくは利点）があり、どうしたらそれをデザインで解決（もしくは発展）できるのか具体的に提案してください。気づきにくい問題点や面白さを抽出して知ってもらうための提案でも構いません。例えば、あたらしい「製品」「空間」「サイン表示」または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」などあなたが得意とする分野での実現可能な提案を望みます。</p> <p>条件 (1) 用紙は2枚あります。PMパッド(薄紙)1枚はアイデアやメモとして自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。 (2) 表現方法は自由（デッサンで使用した鉛筆、および配布された色鉛筆を使用すること） (3) 用紙は横位置にて使用すること。 (4) 用紙は2枚ともすべて提出とし、2枚の総合評価とする。 (5) 定規・コンパスは使用不可。</p>



※上記は、昨年度試験内容であるため、2022年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。
※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2022年度 一般選抜 N全学統一方式 (第1期) 概要

(期日はすべて2022年となります)

1 出願手続

学 科	出 願 期 間
写真・映画・美術・音楽(作曲・理論, 情報音楽コースのみ)・文芸・ 演劇(舞台構想コースのみ)・放送・デザイン	1月5日(水)～1月21日(金)

※ 映画, 美術, 音楽の各学科を志望する者は, コースを1つだけ選択してください

※ 出願方法, 提出書類等の詳細は「一般選抜募集要項」を確認してください

2 選考日及び試験科目

試験科目は学科により異なります。また, 本試験では学科専門試験を実施しません。

選考日	学科【コース】	募集人員	教 科	科 目 ※1	時間	配 点
2月1日 (火)	写真	2	国語	「国語総合(漢文を除く)」	60分	100点
			外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	60分	100点
			地理歴史 公民	「日本史B」, 「世界史B」, 「地理B」, 「政治・経済」のうちから1科目選択	60分	100点
	映画 〔映像表現・理論 監督 撮影・録音 演技〕	2	国語	「国語総合(漢文を除く)」	60分	100点
			外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	60分	100点
			地理歴史 公民 数学① 理科	「日本史B」, 「世界史B」, 「地理B」, 「政治・経済」, 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」, 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」のうちから1科目選択 ※2	60分	100点
			美術 〔絵画 彫刻〕	2	国語 外国語 地理歴史 公民 数学① 数学② 理科	「国語総合(漢文を除く)」, 「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」, 「日本史B」, 「世界史B」, 「地理B」, 「政治・経済」, 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」, 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」, 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」のうちから2科目選択 ※2 (ただし, 「理科」間の組合せは不可)
	音楽 〔作曲・理論 情報音楽〕	2	国語	「国語総合(漢文を除く)」	60分	100点
	文芸	6				
	演劇 〔舞台構想〕	2	外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	60分	100点
	放送	2	国語	「国語総合(漢文を除く)」	60分	100点
			外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	60分	100点
			地理歴史 公民 数学①	「日本史B」, 「世界史B」, 「地理B」, 「政治・経済」, 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」のうちから1科目選択	60分	100点

※1 選択科目を指定科目数以上受験した場合は, 高得点の科目を合否判定に使用します

※2 「理科」については, 医学部併願者は2科目選択, その他の出願者は1科目のみ選択となります。2科目受験する場合は, 解答順に「第1解答科目」「第2解答科目」に区分し, 合否判定に使用する場合は, 「第1解答科目」のみを使用します

3 合格発表及び入学手続

1 合格判定

すべての学科とも、学力検査の総合得点により合格判定を行います。

2 合格発表期日、発表方法及び入学手続

各期日については、下表を参照してください。

入学手続については、所定の手続を行うことにより、3月11日（金）まで入学手続を延期することができます（二段階手続方式）。

合格発表日時	入学手続締切期日
2月18日（金）13時	3月4日（金）

本試験についての注意事項【重要】

各学科の試験教科及び科目については21ページに記載のとおりですが、同一時間割での実施の場合は、受験可能な科目が制限されます。また、併願する学部（学科）により受験教科及び科目が異なりますので、これらの点も含めた本試験の詳細については、日本大学ホームページ、一般選抜募集要項等で必ず確認してください。

2021年度(昨年度参考) 一般選抜N全学統一方式(第1期) 結果

学科・コース	項目	募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率(A)/(B)	2020年度競争率	総点	合格者最低点	
									2021年度	2020年度
写真学科		2	37 (24)	31 (18)	2 (2)	15.5倍	20.0倍	300	242	265
映画学科	映像表現・理論コース	2	49 (24)	44 (23)	1 (1)	44.0倍	60.0倍	300	272	274
	監督コース		20 (10)	20 (10)	1 (0)	20.0倍	26.0倍		255	255
	撮影・録音コース		14 (12)	14 (12)	1 (1)	14.0倍	23.0倍		227	247
	演技コース		37 (23)	36 (23)	1 (1)	36.0倍	21.0倍		244	259
	計	2	120 (69)	114 (68)	4 (3)	—	—	—	—	—
美術学科	絵画コース	2	18 (8)	18 (8)	1 (1)	18.0倍	12.5倍	200	169	188
	彫刻コース		7 (6)	7 (6)	1 (1)	7.0倍	5.0倍		177	145
	計	2	25 (14)	25 (14)	2 (2)	—	—	—	—	—
音楽学科	作曲・理論コース	2	24 (13)	23 (12)	2 (1)	11.5倍	18.0倍	200	167	168
	弦管打楽コース		7 (5)	5 (3)	0 (0)	—	4.5倍		—	155
	情報音楽コース		43 (17)	43 (17)	0 (0)	—	30.0倍		—	169
	計	2	74 (35)	71 (32)	2 (1)	—	—	—	—	—
文芸学科		6	106 (61)	104 (60)	20 (14)	5.2倍	22.3倍	200	150	164
演劇学科	舞台構想コース	2	79 (67)	78 (66)	5 (5)	15.6倍	15.6倍	200	157	165
	計	2	79 (67)	78 (66)	5 (5)	—	—	—	—	—
放送学科		2	112 (67)	110 (67)	2 (1)	55.0倍	55.5倍	300	263	267
デザイン学科		2	80 (46)	78 (45)	3 (0)	26.0倍	37.5倍	200	187	184
合計		20	633 (383)	611 (370)	40 (28)	—	—	—	—	—

() 内は女子内数

2022年度 総合型選抜について

日本大学芸術学部らしい、総合型選抜は、芸術各分野における入学後の目的が明確であり、その目的を実現するのに十分な能力を持っていること、さらにその能力を具体的に表現できることを基本的な出願条件として、公募に基づき選抜する試験です。学力検査だけでは判定することができない、「あなた」を具体的に表現できるか、その適性を求める入学者選抜です。



総合型選抜

総合型選抜の流れ

(期日はすべて2021年となります)

【エントリーシートのダウンロード】

もっとも興味・関心を持った学科の所定の「エントリーシート」を本学部ホームページからダウンロードしてください(7月上旬に掲載予定)。



【エントリー】

①エントリーシートの提出

受付期間：9月1日(水)～9月3日(金) (簡易書留郵便にて締切日必着)

②結果通知：9月17日(金)

エントリーシート等の内容により入学試験対象者を決定し、通過の可否にかかわらず全員に通知します。
なお、通過者には出願書類(「募集要項」等)を同封します。

※エントリーまでは、入学検定料は徴収しません。



【入学者選抜】

出願期間：9月24日(金)～9月30日(木) (簡易書留郵便にて締切日必着)

選考日：10月24日(日)

選考方法：学科・コースにより異なります。

合格発表日：11月2日(火)

2022年度 総合型選抜概要

(期日はすべて2021年となります)

1 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員
写 真		30名
映 画	映像表現・理論, 監督, 撮影・録音, 演技	30名
美 術	絵画, 彫刻	23名
音 楽	作曲・理論, 音楽教育, 声楽, ピアノ, 弦管打楽, 情報音楽	32名
文 芸		22名
演 劇	舞台構想, 演技, 舞台美術, 舞踊	15名
放 送		7名
デザイン		20名

※映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する場合は, コースを1つだけ選択してください
 ※学科・コースの併願はできません

2 試験日程

内 容	
エントリーシート 受付期間	9月1日(水)～9月3日(金) (簡易書留郵便に限る・締切日必着)
出 願 期 間	9月24日(金)～9月30日(木) (簡易書留郵便に限る・締切日必着)
選 考 日	10月24日(日)
合 格 発 表 日	11月2日(火) (オンラインによる案内)
入 学 手 続 期 間	11月2日(火)～12月3日(金) ※入学時納入金は, 入学手続期間内に一括納入となります

3 出願資格・出願要件

<出願資格>

高等学校または中等教育学校等を卒業した者あるいは2022年3月卒業見込みの者、及びそれと同等以上の学力があると認められる者。

<出願要件>

- ①試験の内容をよく理解した上で、エントリーを経て審査を通過した者。
②下表に示した、各学科が求める学生像をよく理解し、本学部を第一志望とする者。

学 科	求める学生像
写 真	次のいずれかに該当する者を求めます a 写真に関する明確な将来の志望を持っている者 b 写真に特に強い興味・関心を持っている者 c 写真の関連分野について顕著な成果をあげている者
映 画	芸術分野に対する豊かな感受性を有し、映像表現分野における創作活動、あるいは映像理論分野における研究活動に対する能力が認められる者を求めます
美 術	芸術領域において創造的・積極的な姿勢を持っている者で次のいずれかの分野に関する能力が認められる者を求めます a 絵画・版画・彫刻における創作活動 b 社会と芸術に関わる創作活動 c 美術に関する理論的研究活動
音 楽	次のいずれかに該当し、自己をアピールしプレゼンテーションができる者を求めます a 音楽学科各コースの教育内容を理解し、考・動・創・力に富み、芸術、とりわけ音楽の素質豊かな潜在能力を有し、創作力、実技演奏力、論文表現力等に秀で、豊かな人間性を感じさせる者 b 音楽活動（オーケストラ、吹奏楽、合唱、各種演奏オーディション、コンクール等）に積極的に参加し、実績をあげた者
文 芸	次のいずれかに該当する者を求めます a 創作、評論を問わず、文芸表現を第一義にめざす者 b 文芸表現分野において顕著な成果をあげている者
演 劇	大学で舞台芸術を学ぶことについて積極的な動機を持ち、次のいずれかに該当する者を求めます a 演劇・舞踊に特別な可能性を見いだす者 b 学力試験的な方法以外で実力をアピールしたい者 c 一回限りの面接ではなく段階的また多面的に自己をアピールしたい者 d 調査書にあらわれない学業的成果をもって自己をアピールしたい者 e その他の、意外なまたは例外的な経歴・個性あるいは「力」をアピールしたい者
放 送	次のいずれかに該当する者を求めます a 放送学科のカリキュラムを理解し、将来アナウンサーを志す者 b 放送学科のカリキュラムを理解し、将来放送分野での活躍を志す者
デザイン	次のいずれかに該当し、自己をアピールしプレゼンテーションができる者を求めます a デザインに関する明確な将来の志望を持っている者 b デザインを通じて社会・文化に貢献したいと考えている者 c デザインを通じて新たなものごとやシステムを考え、論理的な視点から創作することをめざす者 d デザインに関わる新技術に興味を持ち、新たな「表現」や「ものづくり」に関心がある者 e デザインにおいて顕著な成果を上げた者

※出願に先立ち、「エントリーシート」の提出が必要です。

4 エントリー

本学部に興味や関心を持っていただいた方は、以下の要領に従ってエントリーをしてください。

(1) エントリーシートの提出

芸術学部ホームページから「もっとも興味・関心を持った学科」のエントリーシート（学部統一書式）及び宛名シートをダウンロードし、必要事項を記入の上、本学部入試係あてに提出してください（複数学科の提出は不可）。

(2) エントリーシート受付期間

9月1日（水）～9月3日（金） 簡易書留郵便に限る（締切日必着）

(3) 提出書類

① エントリーシート（写真1枚貼付）

ここでは、「あなた」が「日藝」で学びたいことをテーマとして、表現していただきます。

② 宛名シート

③ 学科指定の提出物

音楽学科、文芸学科及びデザイン学科については、別途指定の提出物を提出してください（下表参照）。

なお、以下の学科以外でも、学科指定の提出物が課される場合があります。

学 科	学科指定の提出物
音 楽	各種芸術活動を証明する書類の写し
文 芸	文芸表現分野での実績がある者は、各種文芸賞または作文コンクール等の受賞や文芸活動を証明する書類の写し
デザイン	作品ポートフォリオ（A4サイズ以上）

(4) 審査及び審査結果通知日

提出されたエントリーシート（学科指定の提出物を含む）をもとに審査を行い、試験対象者を決定します。審査結果は、9月17日（金）に通過の可否にかかわらず全員に通知を発送します。

5 入学者選抜

(1) 出願期間

9月24日（金）～9月30日（木） 簡易書留郵便に限る（締切日必着）

(2) 試験会場 芸術学部校舎

(3) 出願書類

① 出願確認票

② 出身学校調査書等

※美術学科志願者は、出願後すみやかに、受験する専攻及び画材を選択すること（詳細は「募集要項」で指示します）。

※音楽学科志願者は、受験曲目等を学科サイトより別途入力すること（詳細は「募集要項」で指示します）。

(4) 出願者に対する課題等

① 事前提出物のある学科及び課題内容

学 科	課 題
映 画	コースによりレポートを課す場合があります
音 楽	作曲・理論コース（作曲）志願者は、自作曲の楽譜（編成・長さは自由、最大2曲） 作曲・理論コース（理論）志願者は、音楽に関するレポート（書式・長さは自由、手書きに限る、最大2点）を出願期間内に提出してください

② 選考日当日に持参作品等のある学科及び課題内容

学 科	課 題
写 真	①小論文 ②学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ（A4サイズ） （写真関連分野における実績のある場合は、関連資料〔写し可〕を加えてください）
美 術	作品のポートフォリオ（A4サイズ）（彫刻コース地域芸術専攻の志願者は、芸術活動報告をまとめたものでも可） ※作成時の注意事項等は、ホームページで公開されているものを参照してください
音 楽	情報音楽コース志願者は、自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください（口頭試問で参考にします）
演 劇	舞台美術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ（A4サイズ）、あるいは石膏像のデッサン及び水彩画等（いずれもA2サイズ）
デザイン	事前課題を具体的に表現したプレゼンテーションボード（A2サイズ）2枚 ※当該年度の課題の内容は9月1日以降本学部ホームページ上で公開します

2021年度(昨年度参考) 総合型選抜結果

学科・コース		項目 募集人員	エントリー 者数	試験 対象者数	試験 志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	競争率 (A)/(B)	2020年度 競争率
写真学科		30	112 (56)	48 (26)	48 (26)	48 (26)	31 (18)	1.5倍	1.8倍
映画 学科	映像表現・理論コース	30	26 (14)	26 (14)	25 (13)	25 (13)	11 (8)	2.3倍	5.3倍
	監督コース		50 (13)	18 (4)	18 (4)	18 (4)	5 (0)	3.6倍	2.3倍
	撮影・録音コース		20 (9)	17 (8)	17 (8)	17 (8)	11 (7)	1.5倍	2.4倍
	演技コース		72 (52)	16 (8)	16 (8)	16 (8)	6 (4)	2.7倍	4.3倍
	計	30	168 (88)	77 (34)	76 (33)	76 (33)	33 (19)	—	—
美術 学科	絵画コース	23	30 (20)	30 (20)	30 (20)	30 (20)	18 (15)	1.7倍	1.7倍
	彫刻コース		6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)	5 (2)	1.2倍	1.8倍
	計	23	36 (22)	36 (22)	36 (22)	36 (22)	23 (17)	—	—
音楽 学科	作曲・理論コース	32	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	1.0倍	1.5倍
	音楽教育コース		3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	1.0倍	1.4倍
	声楽コース		13 (11)	11 (10)	11 (10)	11 (10)	5 (4)	2.2倍	1.1倍
	ピアノコース		14 (12)	12 (10)	12 (10)	12 (10)	6 (4)	2.0倍	1.0倍
	弦管打楽コース		22 (16)	21 (15)	21 (15)	21 (15)	9 (7)	2.3倍	1.6倍
	情報音楽コース		46 (20)	11 (9)	11 (9)	11 (9)	9 (7)	1.2倍	3.8倍
	計		32	101 (64)	61 (49)	61 (49)	61 (49)	35 (27)	—
文芸学科		22	66 (35)	44 (28)	40 (24)	40 (24)	22 (16)	1.8倍	3.3倍
演劇 学科	舞台構想コース	15	45 (41)	14 (13)	13 (12)	13 (12)	3 (3)	4.3倍	5.0倍
	演技コース		75 (59)	19 (15)	18 (14)	18 (14)	4 (4)	4.5倍	12.0倍
	舞台美術コース		14 (13)	9 (8)	9 (8)	9 (8)	6 (6)	1.5倍	6.0倍
	舞踊コース		31 (27)	20 (16)	20 (16)	20 (16)	6 (3)	3.3倍	3.8倍
	計	15	165 (140)	62 (52)	60 (50)	60 (50)	19 (16)	—	—
放送学科		7	91 (63)	50 (41)	48 (39)	48 (39)	8 (7)	6.0倍	5.5倍
デザイン学科		20	51 (32)	28 (19)	28 (19)	28 (19)	22 (17)	1.3倍	1.8倍
合計		179	790 (500)	406 (271)	397 (262)	397 (262)	193 (137)	—	—

() 内は女子内数

2021年度(昨年度参考) 総合型選抜 科目(課題) 一覧

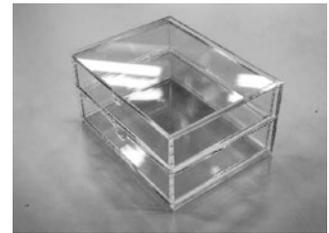
学科・コース		科目・課題
写 真		<p>①事前小論文課題 (試験当日持参) 写真作品を鑑賞する際、写真プリントとスマートフォンやモニターで観る時の印象の違いについて述べなさい。(1,000字程度)</p> <p>②学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ (試験当日持参) 「探究活動、生徒会・委員会、学校行事、部活動、学校以外の活動、留学・海外経験、表彰・顕彰、資格・検定の8項目から、自身の学びのテーマに関連する項目を選択し、あなた自身をプレゼンテーションできるポートフォリオを制作してください。また、写真作品や写真関連の業績がある場合には前述頁以降に加えてください。 ポートフォリオはA4サイズのポケットファイル (20ポケット・40頁以内) とする。」</p> <p>③実 技 「こちらで用意した機材のみを使って撮影する」 ・江古田校舎校地内における写真撮影。(60分間) ・デジタル一眼レフカメラを貸与し、使用方法を説明後撮影。 ・三脚、撮影用被写体・小道具等は持参不可。 ・撮影中のスマートフォンの携帯は不可。</p> <p>④プレゼンテーション 「実技で撮影した写真のプレゼンテーション」 ・実技試験で撮影した写真5～10点について、3～4分程度でプレゼンテーションする。 ・メモやスマートフォンの持ち込みは不可。 ・インデックスシートの持ち込みは可 (書き込みなどがしてある場合は持ち込み不可)。</p> <p>⑤面 接</p>
	全コース	<p>①小論文 (60分・600字) 誰もがインターネットやスマートフォンを使う時代です。情報を簡単に受け取ることができますが、ネットいじめなどの弊害も起きています。あなたはそれについてどう思いますか。あなたの考えを書きなさい。</p> <p>②面 接</p>
	映像表現・理論	<p>記述試験 (60分・800字以内) この映像は、1895 (明治28) 年に映画を発明したフランスのリュミエール兄弟が、1897年から99年にかけて日本に派遣した二人のフランス人カメラマンが撮影したものであり、日本で最初に撮られた映画である。 これを見て考えたことを述べなさい。 ※リュミエール兄弟が派遣したカメラマンが日本で撮影した映像</p>
	監 督	<p>①レポート課題 (事前に郵送により提出) あなたの好きな映画を1本選び、演出と音楽の関係について1,000字程度で述べてください。</p> <p>②記述試験 (60分・800字以内) 「上映作品を参考に、物語を考えなさい。」 ※令和元年度映画学科卒業制作作品</p>
	映 影・録音	<p>記述試験 (90分・800字) 次の絵画を見て、「構図」「光」「音」について考えたことを書きなさい。 ※オスカル・ビュルク「遭難信号」</p>
演 技	<p>①レポート課題 (事前に郵送により提出) 最近の映像作品を一本あげ、その登場人物のうち、一人の演技について800字程度で述べてください。</p> <p>②実 技 発声1 次の内容をはっきりと述べてください。 受験番号 () 番、(氏名) です。出身は (都道府県名) で、学校は (学校名) 高校を卒業する予定です。年齢は、() 歳です。 発声2 次の文章を朗読してください。 ※読売新聞文化部編「映画百年 映画はこうしてはじまった」キネマ旬報社、1997年、106ページ</p> <p>動 作 次の内容をしぐさのみで表現してください。 [設定] 朝、通学途中。信号待ちをしている。お腹が少し痛い。 コンビニでトイレを借りようと決心する。 後ろから来た友達に肩を叩かれ挨拶されたが、上の空。 信号が青になる。小走りでコンビニへ駆け込む。 トイレに入ろうとするが、使用中。 ドアの前で待つが、なかなか出てこない。 次第にお腹の痛みが増してくる。 念の為、ノックしてみる。ノックが返ってくる。 一向に出てくる気配がない。 これは我慢できない、学校に早く行ったほうが良いと決心し、コンビニを出て走り出す。 (そのまま退出してください)</p>	

学科・コース		科目・課題											
美術	全コース	<p>①作品のポートフォリオ（試験当日持参） これまでに自ら制作した各専門領域に関する作品や活動等をファイルにまとめた「ポートフォリオ」を選考日当日に持参してください。 ※ポートフォリオの持参については、美術学科各コース・各専攻のいずれを受験する場合にも共通です。 ※彫刻コース地域芸術専攻においては、活動が多岐にわたるため、美術全般・地域芸術全般・課外活動・ボランティア活動・学校での委員会等、自らの活動報告をまとめたものでも可。</p> <p>○ポートフォリオの形式について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市販のクリアファイル（A4サイズ）1冊にまとめること。 ・ページ数、添付作品写真の枚数は自由とする。 ・ファイルの1ページ目に、必ず以下の項目を記入した表紙を入れること。 受験コース（絵画コース／彫刻コース） 受験専攻（絵画専攻／版画専攻／彫刻専攻／地域芸術専攻） 受験番号 氏名 <p>○ポートフォリオの返却について 実技試験中、ポートフォリオ等を参考に順次面接を行い、面接終了後、ポートフォリオは各自に返却します。</p> <p>②面接</p>											
	絵画 (絵画専攻)	<p>①実技（5時間30分） 油彩・アクリル・鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く。 <キャンバスはF 15号、その他の支持体は65cm×50cm></p> <p>[モチーフ]</p> <table border="0"> <tr><td>布</td><td>×2</td></tr> <tr><td>アバタのヴィーナス</td><td>×1</td></tr> <tr><td>シャンパングラス</td><td>×1</td></tr> <tr><td>カラフェ</td><td>×1</td></tr> <tr><td>ダーラナホース</td><td>×1</td></tr> </table> <p>②実技に関するレポート（30分・400字以内）</p>	布	×2	アバタのヴィーナス	×1	シャンパングラス	×1	カラフェ	×1	ダーラナホース	×1	
	布	×2											
	アバタのヴィーナス	×1											
	シャンパングラス	×1											
カラフェ	×1												
ダーラナホース	×1												
絵画 (版画専攻)	<p>①実技（6時間） デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く。 <キャンバスはF 15号、その他の支持体は65cm×50cm></p> <p>[モチーフ]</p> <table border="0"> <tr><td>バスケット</td><td>×1</td></tr> <tr><td>バナナ</td><td>×3</td></tr> <tr><td>リンゴ</td><td>×2</td></tr> <tr><td>布</td><td>×1</td></tr> </table> <p>②実技に関するレポート（30分・400字以内）</p>	バスケット	×1	バナナ	×3	リンゴ	×2	布	×1				
バスケット	×1												
バナナ	×3												
リンゴ	×2												
布	×1												
彫刻 (彫刻専攻)	<p>①実技（5時間30分） デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く。 <木炭紙または画用紙65cm×50cm></p> <p>[モチーフ]</p> <table border="0"> <tr><td>モモタマナ</td><td>×1</td></tr> <tr><td>箱イス</td><td>×1</td></tr> </table> <p>②実技に関するレポート（30分・400字以内）</p>	モモタマナ	×1	箱イス	×1								
モモタマナ	×1												
箱イス	×1												
彫刻 (地域芸術専攻)	【当該専攻志願者なし】												
音楽	<p>作曲 ①実技 (1) 自作品の審査及び口頭試問 自作曲の楽譜（編成・長さは自由、最大3曲）を事前提出 (2) 作曲試験：指定した旋律を冒頭におき、オーボエ独奏（ピアノ伴奏なし）のための小品を作りなさい。(80分)</p> <p>②面接</p> <p>理論 【当該専攻志願者なし】</p>												

学科・コース		科目・課題
音 楽	音楽教育	<p>①実 技 (1)小論文 (60分・800字程度) 次のテーマから1つを選び800字程度の小論文を書きなさい。 1.音楽科教員になるために必要な知識や技術について 2.自分が目指す音楽科教員像 3.現在の中学校・高等学校等で必要とされる音楽教育について (2)ピアノ：任意のピアノ曲 (3)声楽：任意の声楽曲</p> <p>②面 接</p>
	声 楽	<p>①実 技 声楽 (声楽曲及びコールユーブンゲン) (*) (*)『2021年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択</p> <p>②面 接</p>
	ピアノ	<p>①実 技 ピアノ (1)練習曲またはJ.S.Bach平均律ピアノ曲集 (*) (2)ソナタ(*) (*)『2021年度音楽学科実技課題曲案内』のそれぞれの課題曲の中から曲目を選択 (3)任意のピアノ曲</p> <p>②面 接</p>
	弦管打楽	<p>①実 技 それぞれの専攻する弦楽器, 管楽器または打楽器 任意の楽曲または練習曲 (自分の能力を最大限アピールできる楽曲を選曲のこと)</p> <p>②面 接</p>
	情報音楽	<p>①実 技 プレゼンテーション 任意の楽曲を演奏 (5分程度) 及び演奏楽曲にまつわる解説 (3分程度)</p> <p>②面 接</p>
文 芸		<p>①作文または小論文 (180分・3,200字以内) 次の二つのうち一つを選んで文章を書いてください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください) (1)「取り残されてしまった人」が登場する話を作文してください。 (2)「格差」について自由に論じてください。</p> <p>②面 接</p>
演 劇	全コース	<p>①作 文 (60分・800字程度) 「嘘のような本当の話」をタイトルとして作文しなさい。</p> <p>②面 接</p>
	舞台構想	<p>実 技 (グループディスカッション) (60分) 以下をテーマに, 皆で話し合ってください。メモ用の紙を配布しますので, 適宜使用して構いません。用紙は実技試験終了後に回収します。 テーマ: オンライン演劇の可能性と限界</p>
	演 技	<p>実 技 【問題1】 次の戯曲を声に出して読んでください。 ※ウィリアム・サローヤン著, 倉橋健記「おーい, 救けてくれ」『ウィリアム・サローヤン I』 早川書房, 2008年, 117ページ</p> <p>【問題2】 【問題1】の戯曲を演じてください。</p>

学科・コース		科目・課題
演	舞台美術	<p>①事前課題（試験当日持参） 自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ（A4サイズ）、あるいは石膏像のデッサン及び水彩画等（いずれもA2サイズ）</p> <p>②実技（グループディスカッション） （1）以下の文章を発想の起点として、上演を想定した作品の舞台空間について話し合いなさい（20分間） （注：設定等 自由） ※ウィリアム・シェイクスピア著、松岡和子訳「マクベス」『シェイクスピア全集3』筑摩書房、2004年、150ページ</p> <p>（2）話し合いを以下の余白を利用して各自まとめなさい（25分間） （3）（2）でまとめたものを他のメンバーに発表しなさい（15分間）（注：一人5分程度）</p>
	舞踊 （日舞）	<p>実技</p> <p>①あらかじめ学科で用意した分数の短い試験課題曲（長唄「鶯娘」のトトロツの合方）（曲の一部）を一度聞く（1分36秒）</p> <p>②試験課題曲について、自分のイメージしたテーマを構想し、制限時間内に振付する（30分） 音源は5分ごとに一箇所から出力する。（5分毎×6回）</p> <p>③振付した試験課題曲について、まず自分が構想したイメージとテーマについて口頭で発表（一人最大3分以内）</p> <p>④振付した試験課題曲を実際に踊る。</p> <p>⑤質疑応答</p>
	舞踊 （洋舞）	<p>実技</p> <p>①基本運動 （1）バレエ・テクニック （2）ジャズ・テクニック （3）モダンダンス・テクニック</p> <p>②イメージによる動き 題「圧力」 ◆身体外部からの圧力を感じる（ポーズ約30秒） ◆次第に圧力の変化を感じる（状況の変化を伝える） （例えば、強い圧力、軽い圧力、無圧力など、状態の変化や状況の過程などイメージで自由に動く）</p>
放送	<p>【A アナウンサー志願者】</p> <p>①小論文（80分・800字） 東日本大震災から来年三月で十年を迎える。その後、様々な地域で自然災害が絶えない。災害におけるテレビ・ラジオの報道について、あなたが考えることを述べなさい。</p> <p>②適性をみる課題 テレビスタジオで音声・カメラテストを行う。 2分程度の自己紹介を考え、指定の原稿を読む。</p> <p>③面接</p> <p>【B 放送分野志願者】</p> <p>①作文（60分・600字） 「まる」</p> <p>②適性をみる課題 提示した“あるモノ”について、それがどのようにして使うことができ、何の役に立つのか考え、そのモノに名前をつける。考えた内容は指定の用紙に60分でまとめる。 その後グループに分かれ、各自が用紙にまとめたことを3分程で発表する。各発表が終わったところで20分時間をとり、グループ内で一番良かった発表は誰のものだったかについて話し合っ決めてもらい、発表してもらう。</p> <p>③面接</p>	

学科・コース	科目・課題
デザイン	<p>①事前課題（試験当日持参） 事前にホームページ上で公開された事前課題を具体的に表現したプレゼンテーションボード（A2サイズ）1～2枚（面接時に使用します） 「外出できない時に人間が屋内で最も幸せを感じられるデザインの提案」 今年はコロナウイルス感染症防疫のために自宅にこもって過ごす日々が増えました。 私たちはコロナウイルスに限らず、いろいろな理由で外出できないストレスを経験しています。 「外出できない時に人間が屋内で最も幸せを感じられるデザインの提案」をしてください。 [注意点] A2サイズのボード1～2枚に完成させて当日持ってきてください。 ケントボードに直接描くか別の紙に描いたものをボードに貼っても構いません。 回答作品ですので折ったり丸めたりしないでください。 エントリー通過者が当日提出した事前課題は返却しません。</p> <p>②小論文（120分・1,000字） 『海洋プラスチックゴミ削減などの目的で、日本では2020年7月1日以降は、コンビニエンスストアやスーパーなどの小売店ではレジ袋が有料化になりました。』 これに関する以下の資料を読み解き、今現在の状況と問題点を挙げて、各自の体験などを踏まえた考えや発想、またそれに対してデザインでできることや問題解決の具体的な提案を論じてください。 添付資料： (1) 担当省庁からの通達－レジ袋有料化に関する政府の方針 ※環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室 プラスチック資源循環戦略（概要）、 2019年5月31日より抜粋 (2) 統計グラフ－世界の海洋プラスチックゴミ増加の推移 ※科学誌NatureのHPより抜粋、2019年4月17日 ※プラスチック・ジャパン・ドットコムHPより抜粋 (3) 新聞報道－「レジ袋有料化から考える」 ※朝日新聞「レジ袋有料化から考える」、朝日新聞社、2020年9月20日</p> <p>③実 技 ドローイング（4時間） 「あなたの大切にしているものをみせてください」《B3画用紙》 あなたの大切にしていること（もの）を想定し、自身の手とともに用意された箱を開けた中に書き込み、画用紙に鉛筆でデッサンしてください。 構図、背景は自由に設定してください。箱の開け方は各自自由に設定してください。 ・はかり棒は使用してもよい</p> <p>④面 接（プレゼンテーション含む）</p>



※上記は、昨年度試験内容であるため、2022年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。

※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2022年度 学校推薦型選抜（公募制）について

全国から意欲ある受験生を求めます！

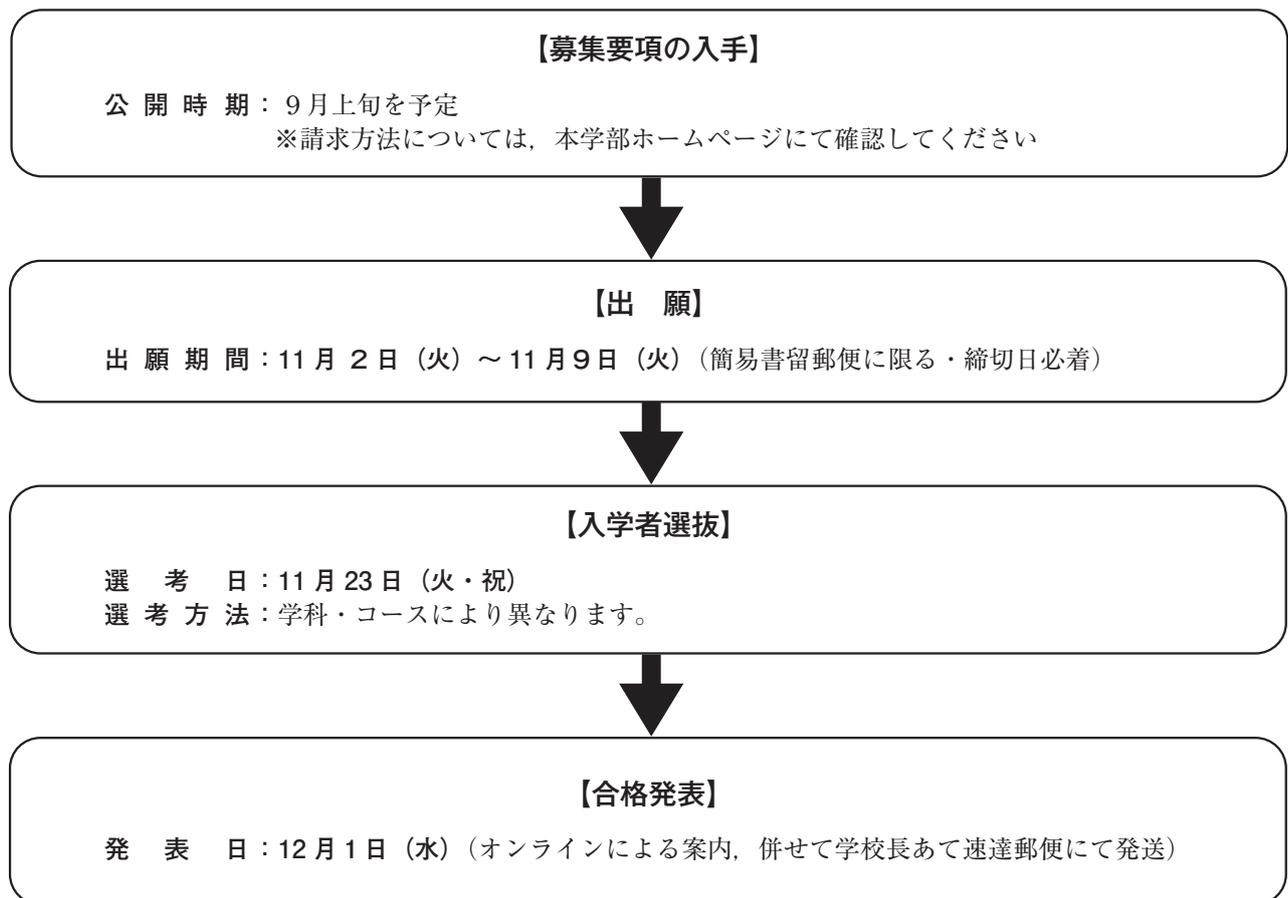
学校推薦型選抜（公募制）は、学校推薦型選抜（指定校制）とは異なり、広く全国の高等学校あるいは中等教育学校等の現役生を対象にした推薦入学試験です。皆さんの学力は、出身学校の調査書をもとに判断し、小論文、作文、面接、実技等の学科別試験によって適性を判定します。

※放送学科は募集していません。



学校推薦型選抜（公募制）の流れ

（期日はすべて2021年となります）



2022年度 学校推薦型選抜（公募制）概要

（期日はすべて2021年となります）

1 募集方法

公募制

2 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員
写 真		21名
映 画	映像表現・理論, 監督, 撮影・録音, 演技	8名
美 術	絵画, 彫刻	3名
音 楽	作曲・理論, 音楽教育, 声楽, ピアノ, 弦管打楽, 情報音楽	5名
文 芸		17名
演 劇	舞台構想, 演技, 舞台美術, 舞踊	27名
デザイン		18名

※映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する場合は, コースを1つだけ選択してください

※学科・コースの併願はできません。また, 放送学科は募集しません

3 試験日程

内 容	
出願期間及び方法	11月2日(火)～9日(火) (簡易書留郵便に限る・締切日必着)
選 考 日	11月23日(火・祝)
合 格 発 表 日	12月1日(水) (オンラインによる案内, 併せて学校長あて速達郵便にて発送)
入 学 手 続 期 間	12月1日(水)～12月15日(水) ※入学時納入金は, 入学手続き期間内に一括納入となります

※ 出願方法, 提出書類等の詳細は「募集要項」を確認してください

4 出願資格・出願要件

①学業・人物が優秀で, 高等学校または中等教育学校等を2022年3月卒業見込みの者。

ただし, 本学付属高等学校等(26校)に在学の者は除きます。

②それぞれの分野に対する強い情熱を有し, 芸術的資質に恵まれていて, 将来性のある者。かつ合格した場合, 本学部に入学することを確約できる者。

③下記の学科で定めた資格を有する者(調査書には必ず学年ごとに学習成績の状況が記載されていること)。

学 科	学科別の詳細
写 真	全体の学習成績の状況が3.0以上の者。
映 画	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
美 術	下記のAまたはBの条件を満たす者。 A 美術・デザイン・造形に関する専門科目を24単位以上修得見込みの者で, 全体の学習成績の状況が3.0以上の者。 B 全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
音 楽	下記のAまたはBの条件を満たす者。 A 学校長が認めた音楽活動を行い, 全体の学習成績の状況が4.0以上の者。 B 音楽の単位を6単位以上修得見込みの者で, 全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
文 芸	全体の学習成績の状況が4.0以上の者。
演 劇	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。
デザイン	全体の学習成績の状況が3.5以上の者。

5 推薦者

在学する高等(中等教育)学校長

6 試験科目

学 科	科 目
写 真	①書類選考 ②小論文 (60分・800～1,000字) ③面 接
映 画	①書類選考 ②小論文あるいは実技 映像表現・理論、監督、撮影・録音コース：小論文 (100分・1,000字程度) 演技コース：実技 (基礎的な音声及び身体表現) ※服装については、動きやすい普段着とします ③面 接
美 術	①書類選考 ②小論文あるいは実技 絵画コース：絵 画－実技 (油彩・アクリル・木炭・鉛筆のいずれかを選択し、静物を描く [6時間]) ※出願時に選択した描画材料を持参してください ※キャンパス (F15号)、画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します ※木炭紙の下敷きの用意はありません 版 画－実技 (デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く [6時間]) ※出願時に選択した描画材料を持参してください ※画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します ※木炭紙の下敷きの用意はありません 彫刻コース：彫 刻－実技 (デッサン 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く [6時間]) ※出願時に選択した描画材料を持参してください ※画用紙または木炭紙、カルトン、イーゼル、クリップは大学で用意します ※木炭紙の下敷きの用意はありません 地域芸術－小論文 (60分・800字以内) ※両コースとも、出願後すみやかに、受験する専攻及び画材を選択してください (詳細は『募集要項』で指示します) ③面 接
音 楽	①書類選考 ②実 技 (一部のコースで小論文も実施) 作曲・理論コース：作曲－ (1)作曲 (2)ピアノ 理論－ (1)小論文 (80分・1,000字程度) (2)演奏 音楽教育コース：(1)小論文 (60分・800字程度) (2)ピアノ (3)声楽 声 楽 コ ー ス：声楽 (声楽曲及びコールユープンゲン) ピ ア ノ コ ー ス：ピアノ 弦管打楽コース：それぞれの専攻する弦楽器、管楽器または打楽器 情報音楽コース：(1)口頭試問 (2)小論文 (60分・800字程度) ※課題曲等の詳細については、44～48ページ『2022年度音楽学科実技課題曲案内』に従ってください ※受験曲目等を学科サイトより別途入力してください。詳細は『募集要項』で指示します。 ③面 接
文 芸	①書類選考 ②小論文または作文 (60分・800字以内) ③面 接
演 劇	①書類選考 ②実技あるいは記述式の記事問題 舞台構想コース：記述式の記事問題 演 技 コ ー ス：(1)演技 (2)音感・リズム感 ※体操着及び上履きを持参してください。 舞台美術コース：プレゼンテーション ※舞台美術コース志願者は、入学後の専攻にかかわらず共通の試験内容となります。 舞 踊 コ ー ス：日舞－各自所属流派修得の任意の曲目を踊る ※着物、帯、足袋、扇子、上履きを持参してください ※自由選択の曲については、カセットテープ、CDあるいはMDを持参してください 洋舞－リズム運動、舞踏的身体運動及びイメージ表現 ※稽古着 (タイツ、レオタード、シューズ)を持参してください ※舞踊コース志願者は、出願後、指定された期日までに、受験する試験内容 (日舞または洋舞)を演劇学科へ郵送してください (詳細は『募集要項』で指示します) ③面 接
デザイン	①書類選考 ②実 技 鉛筆によるデッサン (4時間) またはデザインプレゼンテーション (4時間) のいずれかを選択 ※実技試験科目は事前の選択が必要となりますので、学科サイトより別途入力してください (詳細は『募集要項』で指示します) ※選択にかかわらず、デッサン用鉛筆、クリップ、消しゴム (練ゴム)、カッターナイフ等を持参してください (デッサン及びデザインプレゼンテーションとも定規やコンパスの使用は不可) ※デッサン用具以外に使用する道具については大学で用意します ③面 接

7 試験会場 芸術学部校舎

8 出願者に対する課題等

写真学科、音楽学科情報音楽コース、演劇学科舞台美術コース及びデザイン学科志願者は、面接試験の参考資料とするため、自作作品等を選考日当日に持参してください。(下表参照)

学 科	持 参 作 品 等
写 真	学科が定める条件を満たす学びのテーマを示すポートフォリオ (A4サイズ) (写真関連分野における実績のある場合は、関連資料〔写し可〕を加えてください)
音 楽	情報音楽コース志願者は、自身が演奏している映像をスマートフォン、タブレット端末、PC等で再生できるよう準備して持参してください (口頭試問で参考にします)
演 劇	舞台美術コース志願者は、自分の芸術活動にちなんだポートフォリオ (A4サイズ)、あるいは石膏像デッサンおよび水彩画等 (いずれも A2サイズ)
デザイン	自作作品5点。 なお、映像作品についてはタブレット端末またはノートPC持参での発表は可とします

※持参作品等については、面接試験終了後に返却します。

9 募集要項

募集要項は9月上旬より公開予定です。詳細については、本学部ホームページにて確認してください。

10 出願資格確認等のための提出物

音楽学科志願者のうちAの条件で出願する者は、出願資格の確認及び面接の参考とするため、「学校長が認めた音楽活動」を証明する資料を提出してください。審査の結果、条件を満たさないと判断された場合は、出願資格を充足しないことになり、出願書類は受理できません。

※証明する資料は出願期間内に提出してください (詳細は「募集要項」にてお知らせします)。

2021年度（昨年度参考） 学校推薦型選抜（公募制）結果

項目		募集人員	志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	競争率 (A) / (B)	2020年度競争率
学科・コース							
写真学科		21	39 (21)	39 (21)	21 (15)	1.9倍	1.2倍
映画学科	映像表現・理論コース	8	13 (7)	13 (7)	3 (3)	4.3倍	2.0倍
	監督コース		16 (6)	16 (6)	2 (2)	8.0倍	4.0倍
	撮影・録音コース		5 (4)	5 (4)	2 (1)	2.5倍	1.5倍
	演技コース		33 (28)	33 (28)	3 (2)	11.0倍	5.5倍
	計	8	67 (45)	67 (45)	10 (8)	—	—
美術学科	絵画コース	3	3 (3)	3 (3)	3 (3)	1.0倍	3.0倍
	彫刻コース		0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	1.0倍
	計	3	3 (3)	3 (3)	3 (3)	—	—
音楽学科	作曲・理論コース	5	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	2.0倍
	音楽教育コース		0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	2.0倍
	声楽コース		2 (2)	2 (2)	1 (1)	2.0倍	—
	ピアノコース		3 (3)	3 (3)	2 (2)	1.5倍	1.0倍
	弦管打楽コース		5 (5)	5 (5)	3 (3)	1.7倍	1.0倍
	情報音楽コース		5 (2)	5 (2)	2 (1)	2.5倍	—
計	5	15 (12)	15 (12)	8 (7)	—	—	
文芸学科		17	8 (5)	8 (5)	7 (5)	1.1倍	1.4倍
演劇学科	舞台構想コース	27	25 (23)	25 (23)	8 (7)	3.1倍	3.7倍
	演技コース		31 (26)	31 (26)	12 (11)	2.6倍	5.7倍
	舞台美術コース		7 (7)	7 (7)	3 (3)	2.3倍	1.5倍
	舞踊コース		9 (8)	9 (8)	3 (2)	3.0倍	1.3倍
	計	27	72 (64)	72 (64)	26 (23)	—	—
デザイン学科		18	19 (12)	19 (12)	18 (12)	1.1倍	1.7倍
合計		99	223 (162)	223 (162)	93 (73)	—	—

※放送学科は募集していません。

() 内は女子内数

2021年度(昨年度参考) 学校推薦型選抜(公募制) 小論文・作文課題一覧

学科・コース	時間	字数	課 題
写 真	60分	800～ 1,000字	<小論文> スマートフォンなどで撮影された写真データに対し、アプリなどによる修正や加工することについて、あなたはどのように考えますか。
映 画 (演技を除く)	100分	1,000字 程度	<小論文> 次の文章を読んで、あなたの考えを述べなさい。 ※蒲池勢至「どこへゆく、「葬儀」と「死」上」『東京新聞』記事より抜粋、 中日新聞東京本社、2020年8月24日
美 術 (彫刻コース 地域芸術専攻)	—	—	【当該専攻志願者なし】
音 楽	作曲・理論 (理論)	—	【当該コース志願者なし】
	音楽教育	—	【当該コース志願者なし】
	情報音楽	60分	800字 程度 <小論文> 下記の題目から1題選択し、あなたの考えを800字程度で記述してください。記述の際には、そう考える理由や根拠も必ず述べてください。 解答用紙の題目欄には、論ずる内容を踏まえて、自由に題目をつけて記載してください。 例：「1. 演奏系YouTuberの限界について」、「2. これからの時代で活躍する音楽家になるために」等 1. ネットビジネスにおける音楽業界の未来についてのあなたの意見を記述してください。 2. Webライブ時代における演奏家の重要性について、あなたの意見を記述してください。 3. あなたの音楽経験がこれからの人生や仕事にどう生きてくるかを記述してください。
文 芸	60分	800字 以内	<小論文または作文> 次の二つのうち一つを選んで、文章を書いてください。 (タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください) ①「転ぶ人」が登場する作文を書いてください。 ②「距離」について自由に論じてください。

※上記は、昨年度試験内容であるため、2022年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。
※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2021年度(昨年度参考) 学校推薦型選抜(公募制) 実技科目(課題) 一覧

学科・コース		科目・課題										
映 画 (演技)		<p>基礎的な音声及び身体表現</p> <p>発声 1 次の内容をはっきりと述べてください。 受験番号()番, (氏名)です。出身は(都道府県名)で, 学校は(学校名)高校を卒業する予定です。年齢は, ()歳です。</p> <p>発声 2 次の文章を朗読してください。 ※布川郁司「おそ松さん」の企画術 ヒットの秘密を解き明かす」集英社, 2016年, 35~36ページ</p> <p>動 作 次の内容をしぐさのみで表現してください。 〔設定〕朝の登校時。雨上がりの歩道。</p> <p>水たまりを避けながら, 急ぎ足で歩いている。 横の道路を車がスピードを上げて通り過ぎて行く。 水たまりの水が跳ねてこちらへ飛んでくる。 かかった水をハンカチで拭う。 後ろから走ってきたクラスメイトが, わざと水たまりを踏んで跳ねさせて行く。 また服が濡れてしまった。 怒ってそのクラスメイトを追いかける。 (そのまま退出してください)</p>										
	美 術	<p>実 技 油彩・アクリル・鉛筆・木炭のいずれかを選択し, 静物を描く。 (6時間) < F 15号キャンバス, 画用紙または木炭紙 65cm×50cm ></p> <p>[モチーフ]</p> <table border="0"> <tr> <td>ポインセチア</td> <td>×1</td> </tr> <tr> <td>りんご</td> <td>×1</td> </tr> <tr> <td>アボカド</td> <td>×1</td> </tr> <tr> <td>洋梨</td> <td>×1</td> </tr> <tr> <td>アルファベットの置物「R」</td> <td>×2</td> </tr> </table>	ポインセチア	×1	りんご	×1	アボカド	×1	洋梨	×1	アルファベットの置物「R」	×2
ポインセチア	×1											
りんご	×1											
アボカド	×1											
洋梨	×1											
アルファベットの置物「R」	×2											
	絵 画 (絵画)	【当該専攻志願者なし】										
	彫 刻 (彫刻)	【当該専攻志願者なし】										
音 楽	作曲・理論 (作曲)	【当該専攻志願者なし】										
	作曲・理論 (理論)	【当該専攻志願者なし】										
	音楽教育	【当該コース志願者なし】										
	声 楽	声楽(声楽曲及びコールユーブンゲン)										
	ピアノ	ピアノ										
	弦管打楽	それぞれの専攻する弦楽器, 管楽器または打楽器										
	情報音楽	口頭試問										
演 劇	舞台構想	<p>ワークショップ</p> <p>グループ毎に(6~8名), 輪になって着席します。</p> <p>1. 皆で話し合い, 「新しいゲーム」を考え, それをその場で「プレイ」してください。(40分) 以下, 新しいゲームを考える際の注意点は。 ・席に着席したままできるもの(席の移動はしない) ・過度な大きな声や, 激しい動きを伴わないもの ・できるだけグループ全員が参加できるもの ・手ぶらでできるもの</p> <p>2. 1の「ふりかえり」を用紙(A3白紙)にまとめてください。(25分)</p>										

学科・コース		科目・課題
演 劇	演技	1.演技 2.音感・リズム感 ①演技 【問題1】 次の戯曲を声に出して読んでください。 ※注1 「騒太郎(男)」と「愛身(女)」が新宿の街にいる場面です。 ※注2 「ブロンディ」は犬です。 ※川村毅「新宿八犬伝」『川村毅第二戯曲集』未来社、1985年、204～205ページより抜粋 【問題2】 この戯曲の「愛身」役を演じてください。 ※注3 騒太郎役はいませんが、その場にいると仮定して演じてください。 ②音感・リズム感 (1) アカペラで一人ずつ歌う(自由課題) (2) 振り付けに通じた身体表現
	舞台美術	プレゼンテーション 次の文章を発想の起点として、上演を想定した作品の舞台空間について自らのデザインをまとめなさい。 作業時間は60分です。用紙の裏面を使用しても構いません。作業終了後に用紙は回収し、口頭発表時に返却します。(口頭発表 5分) ※山崎哲「エリアンの手記」『山崎哲戯曲集2』思潮社、1990年、16ページ
	舞踊 (日舞)	【当該専攻志願者なし】
	舞踊 (洋舞)	リズム運動、舞踊的身体運動及びイメージ表現 ①基本運動 1. バレエ・テクニク 2. モダンダンス・テクニク ②イメージによる動き(インプロヴァイゼーション) 題『浮力』 ◆身体外部から水流を感じる(ポーズ約30秒) ◆水流水位の変化により次第に浮力を感じながら体で表現する。 (状況の変化を伝える。例えば、無重力、浮遊感、不安定感など、状態の変化や状況の過程などイメージで自由に動く)
デザイン	鉛筆によるデッサン(4時間)またはデザインプレゼンテーション(4時間)のいずれかを選択 ①鉛筆によるデッサン(4時間) < B3画用紙 > 与えられたモチーフを台紙の上にセットし、鉛筆でデッサンしなさい。 定規、コンパス、デッサンスケールは使用不可とする。 ※はかり棒は使用可 [モチーフ] コーヒーカラフェ ×1 紙箱 ×1 雑巾 ×1 条件 (1) 机の上に置いてある「コーヒーカラフェ」と「紙箱」「雑巾」をセットする。「紙箱」「雑巾」はそのままではなく変形させること。固定にはねりゴムを使用してもよい。 (2) 台紙は描かなくてもよい。 (3) 配布したコピー用紙(A3)は下書きに使ってもよい。 (4) 用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。 ②デザインプレゼンテーション(4時間) < B3ケント紙+PMパッド1枚 > 「在宅勤務、リモートワーク」に関わる問題を見つけ出し、あなたが考えたデザインによる「問題提起」もしくは「問題解決」をしなさい。 ※ここで述べる「在宅勤務、リモートワーク」について 「在宅勤務、リモートワーク」：オフィスに通勤せずに働く勤務スタイルのこと。インターネット環境の普及により可能となった働き方のスタイル。 この「在宅勤務、リモートワーク」に対してデザインでどのような問題を解決できるのか具体的に提案してください。もしくは、気づきにくい問題点や面白さを抽出して知ってもらうための提案でも構いません。 例えば、新しい「製品」「空間」「サイン表示」または「問題点や面白さを知ってもらうための広告」などあなたが得意とする分野での実現可能な提案を望みます。 条件 (1) 用紙は2枚あります。PMパッド(薄い紙)1枚はアイデアやメモとして自由に使い、ケント紙には最終回答を記入すること。 (2) 表現方法は自由(個人で用意した鉛筆、および配布された色鉛筆のみを使用すること) (3) 用紙は名前の記入欄が右上になるように横位置にて使用すること。 (4) 用紙は2枚とも提出とし、2枚の総合評価とする。 (5) 定規・コンパスは使用不可。	

※上記は、昨年度試験内容であるため、2022年度実施の試験内容では科目が変更となっている場合があります。
 ※著作物に該当するため原文等は掲載いたしません。

2022年度 その他の入学者選抜

●外国人留学生・帰国生選抜

出願資格・出願方法等の詳細は、日本大学ホームページを確認してください。
なお、出願受付は日本大学本部学務部入学課にて行います。

●校友子女選抜

出願資格・出願方法等の詳細は、9月上旬頃より公開予定の「校友子女選抜要項」で確認してください。
なお、出願受付は本学部入試係にて行います（事前に日本大学校友会本部事務局にて、校友の子女であることの確認手続が必要となります）。

1 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募 集 人 員		
		外国人留学生	帰国生	校友子女
写 真		若干名	若干名	各学科 2名
映 画	映像表現・理論, 監督, 撮影・録音, 演技			
美 術	絵画, 彫刻	3名		
音 楽	作曲・理論, 音楽教育, 声楽, ピアノ, 弦管打楽, 情報音楽	若干名	若干名	
文 芸		3名		
演 劇	舞台構想, 演技, 舞台美術, 舞踊	若干名	若干名	
放 送				
デザイン		15名		

※ 映画, 美術, 音楽, 演劇の各学科を志望する者は, コースを1つだけ選択してください

なお, 学科・コースの併願はできません

※ 外国人留学生・帰国生選抜の美術学科, 文芸学科及びデザイン学科募集人員は, 両方の入学者選抜の合計数となります

2 試験諸日程

内 容		期 日
出 願 期 間	校友子女	2021年11月26日(金)～12月3日(金)
	外国人留学生・帰国生	～2021年10月22日(金) ※1
試 験 期 日	校友子女	2021年12月12日(日)
	外国人留学生・帰国生	2021年12月12日(日)
合 格 発 表 期 日	校友子女	2021年12月21日(火) (本人あて速達郵便にて発送)
	外国人留学生・帰国生	2021年12月21日(火) (オンラインによる案内)
入 学 手 続 期 間	校友子女	2021年12月21日(火)～2022年1月14日(金) ※2
	外国人留学生・帰国生	2021年12月21日(火)～2022年1月14日(金) ※2

※1 出願受付開始日については、日本大学ホームページを確認してください

※2 入学時納入金の納入については、校友子女選抜は入学手続期間内に一括納入となりますが、外国人留学生・帰国生選抜は、所定の手続を行うことにより、2022年3月11日(金)まで入学手続を延期することができます(二段階手続方式)

●編入学・転部試験

本学部では、「欠員補充」という形で編入学試験（2年次、3年次）及び本学学部在学学生を対象とした転部試験（2年次）を実施しています。

募集人員はいずれも若干名で、募集する学科・コースは年度により異なる場合があります。

なお、編入学試験（2年次）及び転部試験については、過去3年間において全学科・コースでの募集を行っています。

また、編入学試験（3年次）の過去3年間の募集状況については、下表を参照してください。

2022年度の募集については、5月頃に公開する予定です。詳細については、本学部ホームページを確認いただくか、本学部入試係までお問い合わせください。

【参考】編入学試験（3年次） 過去3年間の募集学科（コース）

年 度	募集学科(コース)
2019	美術学科（全コース）、音楽学科（全コース）、文芸学科、デザイン学科
2020	美術学科（全コース）、音楽学科（全コース）、デザイン学科
2021	

2021年度（昨年度参考） 編入学・転部試験結果

※募集人員は、各学科すべて若干名

学科・コース	項目	編入学試験（2年次）			転部試験（2年次）			編入学試験（3年次）		
		志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
写 真 学 科		7 (3)	7 (3)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	0 (0)	実施せず		
映 画 学 科	映像表現・理論コース	3 (2)	3 (2)	1 (1)	4 (2)	4 (2)	4 (2)	実施せず		
	監督コース	3 (3)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	撮影・録音コース	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	演技コース	4 (3)	4 (3)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	0 (0)			
	計	11 (9)	11 (9)	2 (2)	6 (3)	6 (3)	4 (2)			
美 術 学 科	絵 画 コ ー ス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	彫 刻 コ ー ス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
音 楽 学 科	作曲・理論コース	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	音楽教育コース	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	声 楽 コ ー ス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	ピアノコース	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)
	弦管打楽コース	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	情報音楽コース	3 (2)	3 (2)	3 (2)	4 (2)	4 (2)	4 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	計	3 (2)	3 (2)	3 (2)	4 (2)	4 (2)	4 (2)	2 (1)	1 (0)	0 (0)
文 芸 学 科		5 (3)	5 (3)	4 (2)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	実施せず		
演 劇 学 科	舞台構想コース	5 (4)	5 (4)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	実施せず		
	演技コース	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	舞台美術コース	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	舞 踊 コ ー ス	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計	9 (8)	8 (7)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
放 送 学 科		7 (4)	7 (4)	2 (1)	7 (2)	7 (2)	3 (2)	実施せず		
デ ザ イ ン 学 科		3 (1)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	3 (0)	1 (0)	5 (4)	5 (4)	4 (4)
合 計		45 (30)	42 (28)	14 (9)	25 (9)	25 (9)	15 (7)	8 (6)	6 (4)	4 (4)

() 内は女子内数

2022年度 音楽学科実技課題曲案内

(実技科目・課題曲及び注意事項)

作曲・理論コース

総合型選抜

a. 作曲志願者

①実技

- (1) 事前提出した自作品の審査及び口頭試問
自作曲の楽譜(編成・長さは自由, 最大2曲)を事前提出
- (2) 作曲(80分)
与えられた短い旋律を冒頭の素材とした, 指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

②面接

b. 理論志願者

①実技

- (1) 事前提出した音楽に関するレポートの審査及び口頭試問
音楽に関するレポート(書式・長さは自由, 手書きに限る, 最大2点)を事前提出
- (2) 実技(演奏)
任意のピアノ曲・器楽曲または声楽曲の演奏
(選曲は自由, 暗譜が望ましい, 繰り返しなし, 器楽曲は伴奏なし, 声楽曲の伴奏譜については, P.46を参照)

②面接

学校推薦型選抜(公募制) /
学校推薦型選抜(附属高等学校等) /
外国人留学生・帰国生選抜/校友子女選抜

a. 作曲志願者

①実技

- (1) 作曲(80分)
与えられた短い旋律を冒頭の素材とした, 指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲
- (2) ピアノ
任意のピアノ曲の演奏(暗譜が望ましい, 繰り返しなし)

②面接

b. 理論志願者

①実技及び小論文

- (1) 小論文(80分・1,000字程度)
音楽に関する小論文
- (2) 実技(演奏)
ピアノ曲または器楽曲または声楽曲の演奏
(選曲は自由, 暗譜が望ましい, 繰り返しなし, 器楽曲は伴奏なし, 声楽曲の伴奏譜については, P.46を参照)

②面接

一般選抜A個別方式(第1期)

a. 作曲志願者

①実技

- (1) 作曲(80分)
与えられた短い旋律を冒頭の素材とした, 指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲
- (2) 和声または楽典(80分)
和声はソプラノとバスによる課題(転調を含まない)を1題
楽典は共通の楽典問題と和声分析問題
- (3) ピアノ
任意のピアノ曲の演奏(暗譜が望ましい, 繰り返しなし)

②面接

b. 理論志願者

①実技及び小論文

- (1) 小論文(80分・1,000字程度)
音楽に関する小論文
- (2) 楽典(80分)
楽典は共通の楽典問題と用語の説明等の追加問題
- (3) 実技(演奏)
ピアノ曲または器楽曲または声楽曲の演奏
(選曲は自由, 暗譜が望ましい, 繰り返しなし, 器楽曲は伴奏なし, 声楽曲の伴奏譜については, P.46を参照)

②面接

一般選抜A個別方式(第2期)

a. 作曲志願者

①実技

- (1) 作曲(80分)
与えられた短い旋律を冒頭の素材とした, 指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲

②面接

b. 理論志願者

①小論文(80分・1,000字程度)

音楽に関する小論文

②面接

編入学試験(含む転部試験) 2年次

a. 作曲志願者

①書類選考

②実技

- (1) 作曲(80分)
与えられた短い旋律を冒頭の素材とした, 指定された楽器のための独奏曲(ピアノ伴奏なし)の作曲
- (2) 和声または楽典(80分)
和声はソプラノとバスによる課題(転調を含まない)を1題
楽典は共通の楽典問題と和声分析問題

③面接

b. 理論志願者

①書類選考

②実技及び小論文

- (1) 小論文(60分・800字程度)
音楽に関する小論文
- (2) 楽典(80分)

③面接

編入学試験 3年次

a. 作曲志願者

①書類選考

②実技

持参作品に関する口頭試問

③面接

b. 理論志願者

①書類選考

②小論文(60分・800字程度)

音楽に関する小論文

③面接

音楽教育コース

総合型選抜

①実技及び小論文

- (1)小論文 (60分・800字程度)
音楽に関する小論文
- (2)ピアノ :任意のピアノ曲
- (3)声楽 :任意の声楽曲
伴奏楽譜については伴奏楽譜の提出について (P.46を参照) の要領に従って郵送してください。

②面接

学校推薦型選抜 (公募制) / 学校推薦型選抜 (付属高等学校等)

①実技及び小論文

- (1)小論文 (60分・800字程度)
音楽に関する小論文
- (2)ピアノ
W. A. MozartまたはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください (繰り返しなしで、暗譜とします)。
- (3)声楽
声楽コース実技共通課題の課題曲Aまたは課題曲Bの中から1曲を選び、暗譜で歌ってください。
伴奏楽譜については伴奏楽譜の提出について (P.46を参照) の要領に従って郵送してください。

②面接

一般選抜A個別方式 (第1期) / 外国人留学生・帰国生選抜/ 校友子女選抜

①実技及び小論文

- (1)小論文 (60分・800字程度)
音楽に関する小論文
- (2)楽典 (60分)
- (3)ピアノ
W. A. MozartまたはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください (繰り返しなしで、暗譜とします)。
- (4)声楽
声楽コース実技共通課題の課題曲Aまたは課題曲Bの中から1曲を選び、暗譜で歌ってください。
伴奏楽譜については伴奏楽譜の提出について (P.46を参照) の要領に従って郵送してください。

②面接

一般選抜A個別方式 (第2期)

①実技及び小論文

- (1)小論文 (60分・800字程度)
音楽に関する小論文
- (2)ピアノ
W. A. MozartまたはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください (繰り返しなしで、暗譜とします)。
- (3)声楽
声楽コース実技共通課題の課題曲Aまたは課題曲Bの中から1曲を選び、暗譜で歌ってください。
伴奏楽譜については伴奏楽譜の提出について (P.46を参照) の要領に従って郵送してください。

②面接

編入学試験 (含む転部試験) 2年次

- ①書類選考
- ②実技及び小論文

(1)小論文 (60分・800字程度)

音楽に関する小論文

(2)楽典 (60分)

(3)ピアノ

W. A. MozartまたはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください (繰り返しなしで、暗譜とします)。

(4)声楽

声楽コース実技共通課題の課題曲Aまたは課題曲Bの中から1曲を選び、暗譜で歌ってください。
伴奏楽譜については伴奏楽譜の提出について (P.46を参照) の要領に従って郵送してください。

③面接

編入学試験 3年次

①書類選考

②小論文 (60分・800字程度)

音楽に関する小論文

③面接

音楽コース

総合型選抜

①実技

声楽 (声楽曲及びコールユーブンゲン)
声楽コース実技共通課題に準じる。

②面接

学校推薦型選抜 (公募制) / 学校推薦型選抜 (付属高等学校等)

①実技

声楽 (声楽曲及びコールユーブンゲン)
声楽コース実技共通課題に準じる。

②面接

一般選抜A個別方式 (第1期) / 外国人留学生・帰国生選抜/ 校友子女選抜

①実技

(1)声楽 (声楽曲及びコールユーブンゲン)
声楽コース実技共通課題に準じる。

(2)楽典 (60分)

(3)ピアノ

任意のピアノ曲 (ソナチネ程度以上:繰り返しなしで、暗譜が望ましい)

②面接

一般選抜A個別方式 (第2期)

①実技

声楽 (声楽曲及びコールユーブンゲン)
声楽コース実技共通課題に準じる。

②面接

編入学試験 (含む転部試験) 2年次

①書類選考

②実技

(1)声楽
声楽コース実技共通課題に準じる。

(2)楽典 (60分)

③面接

編入学試験 3年次

①書類選考

②実 技

声乐

任意の自由曲 (5分程度)

③面 接

【声乐コース実技共通課題】

次の課題曲A・課題曲Bより各2曲ずつ選曲してください。当日は選曲した課題曲A・課題曲Bより1曲ずつ指定しますので、課題曲に続けて自由曲1曲を歌ってください。自由曲は課題曲Aまたは課題曲Bより選曲しても構いませんが、選択した4曲と重複してはいけません。いずれも原語で暗譜とします。また、各曲の調性は任意とします。

伴奏楽譜 (全5曲) については伴奏楽譜の提出について (右欄を参照) の要領に従って郵送してください。

また、F. Wüllner コールユーブンゲン (全訳版) 第1巻48番~85番より2曲指定した中から1曲を選んで歌ってください。

課題曲A イタリア歌曲

1	MANCIA, L.	Star vicino
2	SCARLATTI, A.	Già il sole dal Gange
3	SCARLATTI, A.	Sento nel core
4	BONONCINI, G. B.	Per la gloria d'adorarvi
5	GASPARINI, F.	Lasciar d'amarti
6	DURANTE, F.	Vergin, tutto amor
7	作者不詳	Nina
8	GASPARINI, F.	Caro laccio
9	PAISIELLO, G.	Nel cor più non mi sento
10	GIORDANI, T.	Caro mio ben

※作曲者は全音楽譜出版社のイタリア歌曲集 [新版] による

課題曲B 日本歌曲

1	土井晩翠 作詞	滝廉太郎 作曲	山田耕筰 編曲	荒城の月
2	武島羽衣 作詞	滝廉太郎 作曲		花
3	吉丸一昌 作詞	中田章 作曲		早春賦
4	勝田香月 作詞	杉山長谷夫 作曲		出船
5	鹿島鳴秋 作詞	弘田竜太郎 作曲		浜千鳥
6	林古溪 作詞	成田為三 作曲		浜辺の歌
7	北原白秋 作詞	山田耕筰 作曲		鐘が鳴ります
8	北原白秋 作詞	山田耕筰 作曲		この道
9	清水重道 作詞	信時潔 作曲		行々子
10	北見志保子 作詞	平井康三郎 作曲		平城山

楽譜は下記の出版社のものを使用してください。

●A. イタリア歌曲

全音楽譜出版社 イタリア歌曲集 [新版]

●B. 日本歌曲

全音楽譜出版社 日本名歌110曲集

●自由曲

オペラ・アリアを歌う場合、作曲者、オペラの題名、アリアの題名を明記し、原語・原調で歌うこと (ただし、習慣的に認められている歌劇「連隊の娘」をイタリア語版で歌うことや、歌劇「セビリアの理髪師」より「今の歌声は」をへ長調で歌うことは認める。わからないことがある場合は必ず確認すること)。

オペラ・アリア集、または総譜 (スコア) として出版されている楽譜をコピーして提出すること。

伴奏楽譜の提出について

●伴奏楽譜は、演奏の都合上、ヨコ22cm、タテ30cmの台紙に、楽譜を貼付してください。楽譜が2ページ以上のときは、全ページに台紙を貼りテープ等で折本仕立てに製本してください (図を参照)。ページの欠損に注意して、当日演奏できる完成品を送付してください。なお、表紙に志望コース、受験番号 (事前に分かっているとき)、氏名、曲名、調性を必ず記入してください。

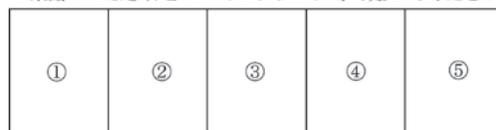
※移調などの理由で楽譜を自作する場合は、指定する出版

社のものに準じ、鮮明な自筆又はコンピュータ浄書のもの製本してください。

製本の仕方 (5ページの場合)

・表紙裏を楽譜1ページ目にしてください。

・楽譜のつなぎ目をマスキングテープ等で貼ってください。



●郵送先 〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1
日本大学芸術学部音楽学科入試伴奏譜係

ピアノコース

総合型選抜

①実 技

ピアノ

課題曲はピアノコース実技共通課題に準じる (P.47を参照)。

②面 接

学校推薦型選抜 (公募制) /

学校推薦型選抜 (付属高等学校等)

①実 技

ピアノ

課題曲はピアノコース実技共通課題に準じる (P.47を参照)。

②面 接

一般選抜A個別方式 (第1期) /

外国人留学生・帰国生選抜 / 校友子女選抜

①実 技

(1) ピアノ

課題曲はピアノコース実技共通課題に準じる (P.47を参照)。

(2) 楽典 (60分)

②面 接

一般選抜A個別方式 (第2期)

①実 技

ピアノ

任意のピアノ曲

②面 接

編入学試験 (含む転部試験) 2年次

①書類選考

②実 技

(1) ピアノ

課題曲はピアノコース実技共通課題に準じる (P.47を参照)。

(2) 楽典 (60分)

③面 接

編入学試験 3年次

- ①書類選考
②実技
ピアノ
8分以上の自由曲
③面接

【ピアノコース実技共通課題】

次のA, B群より各1曲を選び, 合計2曲を演奏してください(いずれも繰り返しなしで, 暗譜とします)。

A 練習曲または J.S.Bach 平均律ピアノ曲集

次に指定する(イ)~(ニ)より1曲を演奏してください。
ペダルの使用は, 任意とします。

- (イ) M. Moszkowski 15の練習曲 (15 Études de Virtuosité Op.72) より任意の1曲
(ロ) J. B. Cramer=Bülow60練習曲 (60 Ausgewählte Etüden) より任意の1曲
(ハ) F. F. Chopinの練習曲Op.10またはOp.25より任意の1曲
(ニ) J. S. Bach平均律ピアノ曲集第1巻または第2巻 (Das Wohltemperierte Klavier Teil I, II) より任意の1曲 (プレリュードとフーガ)

B ソナタ

W. A. MozartまたはL. v. Beethovenのピアノソナタの中から任意の第1楽章または終楽章を演奏してください。

弦管打楽コース

総合型選抜

- ①実技
それぞれの専攻する弦楽器, 管楽器または打楽器
任意の楽曲または練習曲 (自分の能力を最大限アピールできる楽曲を選曲のこと)

②面接

学校推薦型選抜 (公募制) / 学校推薦型選抜 (付属高等学校等)

- ①実技
それぞれの専攻する弦楽器, 管楽器または打楽器
課題曲等は弦管打楽コース実技共通課題に準じる (右欄を参照)。

②面接

一般選抜A個別方式 (第1期) / 外国人留学生・帰国生選抜/ 校友子女選抜

- ①実技
(1)それぞれの専攻する弦楽器, 管楽器または打楽器
課題曲等は弦管打楽コース実技共通課題に準じる (右欄を参照)。
(2)楽典 (60分)
(3)ピアノ
任意のピアノ曲 (ソナチネ程度以上:繰り返しなしで, 暗譜が望ましい)

②面接

一般選抜A個別方式 (第2期)

- ①実技
それぞれの専攻する弦楽器, 管楽器または打楽器
課題曲等は弦管打楽コース実技共通課題に準じる (右欄を参照)。

②面接

編入学試験 (含む転部試験) 2年次

- ①書類選考
②実技
(1)それぞれの専攻する弦楽器, 管楽器または打楽器
課題曲等は弦管打楽コース実技共通課題に準じる (下欄を参照)。
(2)楽典 (60分)
③面接

編入学試験 3年次

- ①書類選考
②実技
それぞれの専攻する弦楽器, 管楽器または打楽器
8分以上の自由曲
③面接

【弦管打楽コース実技共通課題】

弦楽器

各楽器の課題曲は次の通りです (伴奏なし)。すべて暗譜で演奏してください。

- ヴァイオリン
任意の楽曲または練習曲
- ヴィオラ
任意の楽曲または練習曲
- チェロ
任意の楽曲または練習曲
- コントラバス
任意の楽曲または練習曲
- ギター
任意の楽曲または練習曲

管楽器

各楽器の課題曲は次の通りです (伴奏なし)。

- フルート
次の[1]~[3]よりいずれか1つを選択し, 演奏してください
[1] W. A. Mozart : Concerto in G major K. 313 より第1楽章 (カデンツァを除く)
[2] W. A. Mozart : Concerto in D major K. 314 より第1楽章 (カデンツァを除く)
[3] 任意の楽曲または練習曲
- オーボエ
W. Ferling:48 EtudesまたはL. Wiedemann:45 Etudesより任意の1曲
- クラリネット
次の[1]~[2]よりいずれか1つを選択し, 演奏してください。
[1] C. Rose:32 Etudes 1番~12番より当日指定します。
[2] C. M. v. Weber:Concertino Es dur Op. 26 (全曲) 演奏部分は当日指定します。
- ファゴット
J. Weissenborn:Fagott Studien Op. 8第2巻のNo. 6, 8, 10, 13, 15より当日指定します。
- サクソフォン (アルトサクソフォンで受験すること)
M. Mule:Quarante-Huit Études, d'après Ferling (A. Leduc版) より任意の奇数番号1曲及び任意の偶数番号1曲 (計2曲)
- ホルン
C.Kopprasch:60 Etudes for Horn (全音楽譜出版社No.3と9の計2曲)
- トランペット
次の4曲より任意の1曲
J. B. Arban:12の幻想曲とアリアよりNo. 3 Fantaisie Brillante Var. Iまで
J. B. Arban:12の幻想曲とアリアよりNo. 5 The Beautiful Snow (Variations on a song) Var. IIまで (くり返しなし)
J. B. Arban:12の幻想曲とアリアよりNo. 11 Fantaisie and Variations on The Carnival of Venice Var. Iまで
G. F. Handel (Transcribed by Bernard Fitzgerald):Aria con Variazioni Var. IIIまで (くり返しなし)

●トロンボーン

次の〔1〕及び〔2〕を演奏してください。

〔1〕The Remington Warm-Up Studies (Donald Hunsberger編/Accura Music版) 31ページ Ex. 40 (リップスラー)

〔2〕C. Kopprasch:60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社)No. 3～12より当日指定します(くり返しなし)。

●ユーフォニウム

次の〔1〕及び〔2〕を演奏してください。

〔1〕The Remington Warm-Up Studies (Donald Hunsberger編/Accura Music版) 31ページ Ex. 40 (リップスラー)

〔2〕J. Rochut:Melodious Etudes for Trombone (Carl Fischer版) No. 2, 6, 8より当日指定します。

●チューバ

C. Kopprasch:Sixty Selected Studies For Tuba (Robert King版) のNo. 4, 7, 12, 14, 15より当日指定します(くり返しなし)。

打楽器

各楽器の課題曲は次の通りです(伴奏なし)。

a. 小太鼓受験者

次の〔1〕及び〔2〕を演奏してください。

〔1〕基本奏法-1つ, 2つ, 5つ打ちより当日指定します(練習台を使用します)。

〔2〕M. Goldenberg:Modern School for Snare Drum (Alfred版)のRoll Exercise in 4/4 (46ページ), Etude in 4/4 (47ページ)より当日指定します。

b. マリンバ受験者

次の〔1〕及び〔2〕を演奏してください。

〔1〕小太鼓の基本奏法-2つ打ち(練習台を使用します)

〔2〕任意の楽曲または練習曲

情報音楽コース

総合型選抜 /
一般選抜A個別方式(第1期) /
外国人留学生・帰国生選抜/校友子女選抜

①口頭試問

持参した演奏動画に対する口頭試問
自身が演奏している動画をスマートフォン, タブレット端末, PC等で再生できるよう準備して持参してください。動画は演奏者の顔及び全身が確認できるものとします(P.51のサンプル画像を参照)。また, 動画の音源は編集しないこと。

②面接

学校推薦型選抜(公募制) /
学校推薦型選抜(付属高等学校等)

①実技及び小論文

(1)口頭試問

持参した演奏動画に対する口頭試問
自身が演奏している動画をスマートフォン, タブレット端末, PC等で再生できるよう準備して持参してください。動画は演奏者の顔及び全身が確認できるものとします(P.51のサンプル画像を参照)。また, 動画の音源は編集しないこと。

(2)小論文(60分・800字程度)

②面接

一般選抜A個別方式(第2期)

①小論文(80分・800字程度)
情報音楽に関する小論文

②面接

編入学試験(含む転部試験) 2年次

①書類選考

②実技及び小論文

(1)小論文(60分・800字程度)

(2)口頭試問

持参した演奏動画に対する口頭試問

自身が演奏している動画をスマートフォン, タブレット端末, PC等で再生できるよう準備して持参してください。動画は演奏者の顔及び全身が確認できるものとします(P.51のサンプル画像を参照)。また, 動画の音源は編集しないこと。

③面接

編入学試験 3年次

①書類選考

②小論文(60分・800字程度)

情報音楽に関する小論文

③面接

学部 Q & A

総合

- Q** 一般選抜 A 個別方式の学力検査について教えてください。
- A** 一般選抜 A 個別方式では、学力検査として外国語（英語）、国語の試験を課しています。いずれも全問マークシート方式で、60分、100点満点となっています。
- 英語の出題は、高等学校等までで教わる範囲内の長文読解力、会話表現能力、文法・語法の知識、及び語彙力を試す内容となっています。英語の試験を課しているのは、入学後の学習と卒業後の進路に英語力の有無が大きく影響するからです。皆さんもご承知のとおり、今の世の中はグローバル化が急速に進展し、どのような分野にあっても英語でのコミュニケーション能力が不可欠になっています。そのため本学部では、入学者に高等学校等卒業程度の英語力を要求し、入学後にさらにその能力に磨きをかけて、国際的にも活躍できる人材の育成をめざしているために必要な試験なのです。
- 国語の学力検査は、国語総合（漢文を除く）が出題範囲となっています。試験の特徴は、全学科の学生に古文や文学史の知識が要求されていることです。これは、本学部が芸術の総合学部であり、入学後の皆さんが学科の枠を超えて勉強するときに必要となる基礎的な学力が求められているからです。日常的にどれだけ活字に触れているかが合否を大きく左右するのは言うまでもありません。
- なお、学力検査（英語、国語）2科目の合計点が200点満点中60点未満の者は、総合点が合格最低点を超過していても自動的に不合格となります。
- Q** 一般選抜 A 個別方式の場合、実技試験だけの基準点はありますか？
- A** 学力検査と専門試験を合わせた総合成績の上位から合格となるので、基準点はありません。
- Q** 小論文・作文試験について教えてください。
- A** 小論文は、与えられたテーマに対して、真正面から捉え、短時間に思考を整理し、与えられた字数の中で、自分の言葉で文章として論理的に表現できるか、ということが問われます。
- 作文は、与えられたテーマから受けたイメージを、決してテーマからそれることなく、自分の感性や創造力を十分に発揮しながら、文章を創作してゆくことを求められます。もちろん、自分が体験したことを率直に書いても構いません。どちらも、自分らしく述べること（オリジナリティ）が必要ですし、原稿用紙の基本的な使い方も身につけておく必要があります。
- Q** 実技試験について教えてください。
- A** 映画学科演技コース、演劇学科演技、舞踊コース（他コースでは、一部入学者選抜で実施）と、美術学科、音楽学科、デザイン学科において実施しています。
- このうち、演劇学科の舞踊コースと、美術学科、音楽学科、デザイン学科の実技については、ある程度の経験を必要とします。これまで全く経験のない方については、人一倍の努力が必要となるでしょう。
- 一方、映画学科、演劇学科の演技コースについては、全く経験のない方でも十分対応することが可能です。
- 両演技コースの試験では、役者としての「素質」があるかどうかを見ます。その際、映画学科では発声、表情、身体の表現力などについて、演劇学科では発声、音感、リズム感、観察力やしぐさの柔軟さ（舞台上における感覚の保ち方と表現に対する方向性）などの観点からそれぞれ見えています。
- Q** 面接試験について教えてください。
- A** 一般選抜 N 全学統一方式（第1期）を除くすべての学科・コースで実施します。
- 形式は、学科・コースによって若干異なりますが、複数の面接官に対し受験生1人を基本としています。
- 1人あたりの面接時間はおよそ10分から15分、結果については点数化し、その他の試験との総合点で判定を行います。配点は学科・コースにより異なります。
- 原則として、専門知識は問いません。熱意や目的意識、すなわち大学で何をやりたいか、将来何をめざしているのか、などを聞くのがねらいです。
- Q** 総合型選抜を受験して不合格となった場合、学校推薦型選抜（公募制）や一般選抜を受験することは可能でしょうか？ また、その場合の志望学科は同じでなければならないのでしょうか？
- A** 総合型選抜に不合格となった場合でも、学校推薦型選抜（公募制）や一般選抜を受験することは可能です。また、その際の志望学科が異なっても構いません。実際、総合型選抜で不合格になっても一般選抜等で合格している受験生も多くいます。
- Q** 単位制高校または通信制高校に所属しており、2年間で3年分の単位を修得したのですが、学校推薦型選抜（公募制）に出願することは可能ですか？
- A** 調査書に必ず学年ごとに評定が記載されていることが出願条件になるので、出願することはできません。

写真学科

- Q 一般選抜に実技試験はないようですが、写真技術の経験などがなくても大丈夫ですか？
- A 写真を一から学べるカリキュラムになっていますので、写真の技術的な経験はなくても大丈夫です。入学後に、しっかり勉強して技術を習得すれば、写真を使いこなすことができます。ただし、ある程度の専門知識や技術を持っていることが望ましいことは言うまでもありません。
- Q カメラなどの機材や制作施設は大学で借りられますか？
- A 作品制作の中心となるデジタル一眼レフカメラ、パソコン、プリンター等は個人で所有をしていただきます。フィルム用一眼レフカメラ、大判カメラ、大型デジタルプリンターについては大学のものを利用できます。また、スタジオや暗室、デジタルフォトラボも貸し出しを行っています。
- Q カメラなどの機材は、どの程度のものを持っていればよいのでしょうか？
- A 写真を専門的に学ぶためには、現状主流のデジタル一眼レフカメラやパソコン、プリンターなどの機材は必須です。また、自分自身の表現や研究のための機材ですので、自分自身の制作傾向、将来の目的に合った機材が必要となります。さらに、フィルムによる写真制作をしたい場合は、フィルムカメラなどの機材もあるといいでしょう。必要な機材については、入学後の授業で詳しくご紹介します。
- Q 写真学科が指定するポートフォリオについて教えてください。
- A 写真学科が指定するポートフォリオは以下の通りです。「探究活動、生徒会・委員会、学校行事、部活動、学校以外の活動、留学・海外経験、表彰・顕彰、資格・検定の8項目から、自身の学びのテーマに関連する項目を選択し、あなた自身をプレゼンテーションできるポートフォリオを制作してください。写真作品のみを入れるのではなく、これまでの各分野での経験や写真活動が分かるようにしてください。写真作品や写真関連の業績がある場合には前述頁以降に加えてください。ポートフォリオはA4サイズのポケットファイル（20ポケット・40頁以内）とする。ポケットファイルは透明度の高いものを使用し、資料や写真が見えやすいようにしてください。また、ファイルの形状が変わってしまうような厚みのある資料は入れないでください。業績を示すための賞状等はコピーで構いません。」
- Q 編入学・転部試験の持参作品等について教えてください。
- A 今までに積極的な写真活動をしてきた方に、その成果を提示していただきます。コンクールで受賞や入選の実績がある場合は、作品とともに賞状または作品が掲載された印刷物を持参してください。受賞・入選作を含む持参作品は、A4からA3ノビあるいは六つ切から大四つ切の黑白あるいはカラープリント10点程度としてください。また、活動を客観的に説明できるものとして、展覧会の記録写真や作品の掲載された資料などをお持ちいただいても結構です。

映画学科

- Q 映画学科では、映画配給などの映像ビジネスについて、勉強することはできますか？
- A 映像表現・理論コースでは、映画ビジネスやマネジメントに関する授業を開講します。特に理論・批評専攻では映像理論や映画史を学びながら、将来の映画ジャーナリストや映画研究者だけでなく、企画者や配給会社などの映画ビジネスに携わる人材の育成も目指しています。
- Q 将来は脚本家をめざしているのですが、映画学科で脚本を学ぶには映像表現・理論コースを選択すればいいのですか？
- A 映画学科では数多くシナリオに関連する講座を開講しています。映像表現・理論コースは2年次からシナリオ専攻があり、シナリオライターをめざした専門教育が用意されています。1年次は映像理論や創作研究と共にシナリオ執筆の基礎を学びます。
- Q 映像表現・理論コースでは、2年次以降の専攻はどのように決めるのですか？
- A 基本的には本人の希望を尊重しますが、1年次の授業出席や課題提出の期限厳守など、勉学に対する姿勢を鑑みながら、相談の上で決定します。
- Q 映画学科の施設について教えてください。
- A 同時録音可能な大・中撮影スタジオ、微速度撮影や顕微鏡撮影が可能な小撮影スタジオ、16mm、35mm映写機に加えDLPシネマプロジェクターを備えた上映施設、現像の基礎となる工学・化学の研究、分析、処理を行う総合ラボラトリー、大小7つの録音スタジオ、アニメーション室、ネガ・ポジ編集室、ビデオ編集室、ハイビジョン制作システム、映画美術制作室、照明特殊機材倉庫、映画メーカーキャブ室など、映画制作に必要な環境が整っています。

Q 総合型選抜映画学科の適性試験とはどのようなものを行うのですか？

A コースによって試験内容が変わりますが、作文、実技（撮影、身体表現、文章による創作、プレゼンテーションなど）、批評などを含みます。どのような適性試験になるかは、その時の映画や映像を取り巻く環境によって変化するでしょう。

Q 演劇学科の演技コースと授業内容はどう違いますか？

A 俳優として必要な演技の“基礎”は両学科に共通ですが、映像と舞台に関する学科内容の違いから、映画学科の場合は「発声」、「音楽」、「日舞」、「洋舞」など、幅広く科目を設置している点に特徴があります。

Q アニメーションを勉強したいのですが、どのコースが適していますか？

A アニメーション専門のコースはありませんが、複数のアニメーションの講座があります。アニメーションの作品創作の学習が目的なら、講座の中だけでなく、卒業のための作品としてアニメーション制作できる映像表現・理論コース、監督コース、撮影・録音コースが良いでしょう。

Q 演技コースの実技試験用に着替える部屋はありますか？

A 特に着替えは必要とせず、動きやすい普段着で構いません（更衣室は設けません）。

Q 実技試験に要する時間を教えてください。

A 演技コースの受験生は、面接試験等の待ち時間も含め、ほぼ半日から一日の間拘束されます。一連の実技試験を同じ会場を通して行い、練習時間を最低10分設けています。試験の所要時間は5分以内です。

美術学科

53ページをご覧ください。

音楽学科

Q 受験曲目の届出は、いつ行うのですか？

A 音楽学科受験生は、全員、「受験曲目等」を指定された期日までに学科サイトより入力し、自分の受験曲目を届け出なければなりません。詳細については、各募集要項にて指示します。

Q 情報音楽コースについて教えてください。

A 情報音楽コースでは、プログラミングなどの情報処理技術とともに、音楽理論や音楽表現を十分に学習します。詳細については、情報音楽コースホームページをご覧ください（www.micnuart.com）。

Q 情報音楽コースの試験では、どのようなジャンルの楽器や歌が多く選ばれるのでしょうか？また、電子楽器の使用はどの程度認められるのでしょうか？

A 情報音楽コースの試験では、歌唱、クラシック楽器、ポピュラー楽器、尺八、笙などの邦楽器、民族楽器など多岐にわたっています。電子楽器では、エレキギター、エレクトーン、シンセサイザー、ターンテーブルなどで受験しています。演奏のジャンルや楽器によって得点に差が出ることはありませんが、自分の音楽性を十分に発揮できる楽器選択や曲目選択が重要です。曲目に関しては、器楽ではソナタレベル、歌唱では歌曲、アリアが中心ですが、高等学校教材レベルの曲目やポピュラー音楽の演奏でも合格しています。中にはオリジナル曲で受験する人もいます。無理をして高いレベルの曲の演奏ができれば良いということではなく、あくまでも自分の音楽性を十分にアピールできる曲を選択すると良いでしょう。時間については、これまでの平均では、歌唱では3～5分程度となっています。長い場合には途中で演奏を中止とすることもありますが、減点はされません。

Q 情報音楽コースの映像データはどのような形で提出しますか？また、どのような映像が好ましいですか？

A データの事前提出はありません。口頭試問の際に動画を見せていただきます。試験当日に自分のスマートフォンやタブレット端末、PCで再生できるようにしてください。また、バンド活動などの映像でも構いませんが、必ず本人と分かる映像で、顔ならびに全身が確認できるものとします（以下のサンプル画像を参考にしてください）。演奏時間は3分～5分程度で結構です。



学校推薦型選抜 演奏動画サンプル

Q 課題曲はいつごろ決まりますか？また講習会はありますか？

- A 課題曲については、44～48ページをご覧ください。また、音楽学科志望者を対象とした受験準備講習会を開催しています。毎年受験希望者の大半が参加しており、高校3年生だけでなく高校1・2年生の参加も可能です。なお、受講には事前の申込み及び受講料が必要になります（詳細は音楽学科ホームページにて発表します）。※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては変更になる場合があります。

参加希望者は、本学部音楽学科WEBサイトより申込みをしてください。
〒176-8525 東京都練馬区旭丘2-42-1 日本大学芸術学部音楽学科講習会係
☎ 03-5995-8240 ☎ 03-5995-8249 ✉ ongaku@nihon-u.ac.jp



Q ライブやコンサートの音響を学ぶことはできますか？

- A スタジオでの音楽制作が中心ですが、ライブやコンサートの音響技術者になる者も多数います。

文芸学科

Q 学生の作品発表の機会はありますか？

- A 授業の中で年1回ゼミ雑誌を作成・発行する機会があり、その中で各自の創作を発表することができます。さらに、文芸学科の学生は、入学と同時に江古田文学会（文芸学科学生、芸術学部校友により構成）の学生会員となり、文芸誌『江古田文学』（年3回発行、市販）において創作、批評などの執筆作品発表の機会があります。

Q 主な設備について教えてください。

- A 文芸学科には、コンピュータを多数設置した専用施設があります。DTP（パソコン画面上での編集・版下制作）に使用されるソフトウェア（InDesign等）もインストールされ、ゼミ雑誌作成のほか、学生個人の創作物等にも利用が可能です。また、多くの文芸関係専門書を取りそろえた文芸学科資料室があり、読書・自習の場として活用されています。

Q 他の大学の文学部と同じ内容でしょうか？

- A 文学部とは違います。文学を小説や批評といった創作活動、またジャーナリズムの幅広い表現活動の両面でとらえ、その養成を目的とした、文芸表現主体の学科です。

Q 文芸学科ではどのような資格を取得できますか？

- A 文芸学科では、中学校・高等学校の「国語」の教員免許状を取得するための科目を開講しています。また、図書館の司書資格、および学校図書館の司書教諭資格を取得するための課程も開かれており、文芸学科生も数多く履修しています。そのほか、博物館の学芸員資格を取得するための課程も設置されており、一部の文芸学科生は履修しています。

Q 「学科指定施設内の資料の参照も可」と書いてある試験がありますが、どのような試験形式でしょうか？

- A 一般選抜A個別方式（第2期）の小論文・作文試験では、辞書の持ち込みが可能（電子辞書は不可）のほか、文芸学科資料室に所蔵されている図書や雑誌等を、閲覧しながら解答することができます。

Q 小説家を目指しているのですが、文芸学科ではそのための勉強ができますか？

- A 文芸学科では、多様な分野の文芸表現を対象とした授業を開講しており、小説関連の科目を重点的に選択することで、将来の希望に応じた学びが可能です（例：小説論、SF小説論、ミステリー小説論、幻想小説論など）。また、全学年で必修の「文芸研究」でも、小説を専門とするゼミが複数あり、少人数制での創作指導や合評の実践が行われています。小説家を育てる役割を担う現役編集者をゲストに招くこともあります。その他、表現領域を広げ、内容を深めるための発展的科目も開講しております。これらの学修を経て、実際に小説家として活躍している卒業生が何人もいます。

Q 将来は出版業界で働きたいのですが、文芸学科ではそのための勉強ができますか？

- A 文芸学科では、出版業界の実務家が講師を務める講義科目や、雑誌編集のために必要な技術を学ぶ演習科目を開講しています。また、ゼミ雑誌を作成する際に、企画や編集などを学生が担当して一から誌面作りを経験することもできます。文芸学科での学びは、編集者や校閲者、ライター、ジャーナリストなど、出版業界に関わる多様なキャリアへ繋がります。

演劇学科

Q 舞台構想コースの専攻と入学者選抜について教えてください。

- A 舞台構想コースには「劇作専攻」「演出専攻」「音響専攻」「舞台監督専攻」「企画制作専攻」の5専攻があります。1年次はこれらの分野を多角的に複数学び、2年次へ進級する際、学科へ志望専攻を申請してもらいます。入学者選抜では、将来どの専攻を志望するかによらず、全員同じ科目を受験します。

Q 舞台美術コースの専攻と入学者選抜について教えてください。

A 舞台美術コースでは、4月の学科ガイダンス時に「美術（装置）専攻」「照明専攻」のどちらを志望するか学科に申請してもらいます。しかし、入学者選抜では、舞台美術コースを志願する受験生は、両専攻志望とも、同じ科目で受験します。実技試験（プレゼンテーション）は、資料作成（60分）とそれを用いた口頭発表（5分程度）を行う予定です。

Q 舞踊コースの実技試験について教えてください。

A 実技科目の「日舞」と「洋舞」から一つを選択してください。その際、志望する専攻に合わせた科目を選択してください。また出願後、「募集要項」に従ってどちらを選択するかを郵送にてお知らせください。

Q 試験科目である記述式の記事問題について教えてください。

A 舞台構想コースの、学校推薦型選抜において、実技科目として「記述式の記事問題」を行います。戯曲の一部を読み、それに対しての意見やアイデアを述べてもらいます。演劇史や専門用語の知識を問うことはありません。

放送学科

Q 実習施設にはどのようなものがありますか？また、その施設では実際にどのような授業が行われているのか、教えてください。

A 施設としてはデジタルハイビジョン・テレビスタジオ2つ、5.1chデジタル仕様などの録音スタジオ4つ、多数のビデオ編集室のほか、ビデオ収録車やCDライブラリーなどがあります。それぞれのスタジオは現在のテレビ局・ラジオ局とほぼ同じ機能を持っています。また、すべてをデジタルネットワークでつなぎ、多様な実習が行えるようになっています。スタジオを使つての実習は、1年次から行われ、企画から番組完成までのプロセスをくり返し実作しながらトレーニングしていきます。さらには、受講生の個性的な企画も取り上げ、それぞれの創造力を引き出すよう配慮しています。また、テレビカメラをはじめとして、照明設備、音声調整卓の操作などの技術面の実習、屋外でのロケーションや取材・音楽録音の実習なども行います。

Q 実習の分野にはどのようなものがありますか？また、どのようにして履修するのか、教えてください。

A 放送学科は2020年度から実習の分野を「テレビ制作」「ラジオ制作」「映像技術」「音響技術」「CM」「脚本」「アナウンス」の7つとし、入学後にこの中から1つを選び、1年次後期、2・3年次と段階制で履修します。原則として、登録を行えば誰でも希望する実習を履修することができます。

Q 声優やDJ（ラジオパーソナリティ）を目指しているのですが、放送学科ではそのための勉強はできますか？

A 声を使った職業は多岐にわたりますが、放送学科は放送局（テレビ・ラジオ）のアナウンサーを志望する者の育成をめざしています。人と話しをすることが好きで、自分の言葉で人に何かを伝えることに強い志を持つ者を求めます。声優やDJ（ラジオパーソナリティ）を育成するための授業は設けていません。

デザイン学科

56ページをご覧ください。

美術学科

Q 美術学科の特徴を教えてください。

A 絵画コース絵画専攻では、絵画の基礎および普遍性を重んじ、西欧近代以降の色、形、コンポジションそして絵画空間の考え方を主軸としたカリキュラムにより、4年間じっくりと腰を据えて「絵画」を学び「絵」を描くことができます。また、版画専攻では、「感性を刺激する」ために、イメージ描写やドローイング、基礎的な素材や色彩にこだわり「紙」と「版表現」の可能性を探ります。そして、「表現を広げる」ために、活版による絵本制作やペンによるイラスト、ポートフォリオ、アートブックなどで、表現を深めていきます。

彫刻コースは、彫刻専攻に加え新たに地域芸術専攻が加わりました。彫刻専攻では、造形芸術における形の問題を、昨今忘れがちな基礎の反復と研究によって追求し、自らの表現に繋げていきます。また地域芸術専攻では、社会が抱える問題をアートの力を使って、直接社会と繋がりながら、人の心を豊かにするための実践力を身につけます。両専攻とも外部での発表を積極的に行っており、社会との接点を多数設けています。

Q 絵画コースに日本画の授業はありますか？

A 本学科では日本画の授業は開講していません。

Q 彫刻コース地域芸術専攻の受験を考えているのですが、彫刻にかかわる実技経験は必要ですか？

A 1年次のカリキュラムの中で、「デッサン基礎」や「造形基礎」などの初歩的な技術指導がありますので、受験段階での実技経験の有無は問いません。

Q 過去の一般選抜A個別方式の実技課題と評価ポイントについて教えてください。

A 2021年度(昨年度)の実技課題については、第1期は11ページ、第2期は19ページを参照してください。

絵画コース絵画専攻については、画面構成を総合的に審査します。各モチーフの形体や関係性を的確に捉えているか、また構図への気の配り方なども評価のポイントです。絵画コース版画専攻については、基礎的なデッサン力を総合的に審査します。モノの関係性や質の違いなどが描写出来ているか、また静物モチーフが画面上に的確に入れられているかどうかも評価のポイントです。(1・2期同様)彫刻コースについては、物が空間に置かれている様子をしっかりと捉え、よく見て観察する力、空間を把握する力を捉えられる力を見ることが出題のポイントでした。

2021年度一般選抜A個別方式の実技課題及び出題のポイントは、以下をご覧ください。

・絵画コース絵画専攻

(第1期1週目〔2月9日・10日試験〕 2週目〔2月16日・17日試験〕)
「油彩・アクリル、木炭、鉛筆のいずれかを選択し、人物を描く」(5時間30分)

人物(コスチューム)	× 1
コスチューム: ニット, パンツ, スニーカー(第1期1週目)	
ワンピース, スニーカー(第1期2週目)	
椅子	× 1
布を敷いたモデル台	× 1

出題のポイント: 人物モデルを四角い画面に安定した構図でおさめることができているか。また、着衣ですが、人物モデルの構造を意識しているか。そして各種素材の特性を活かして描けているかを見ます。



絵画専攻第1期(2月9日・10日試験) 参考作品



絵画専攻第1期(2月9日・10日試験) 参考作品



絵画専攻第1期(2月16日・17日試験) 参考作品



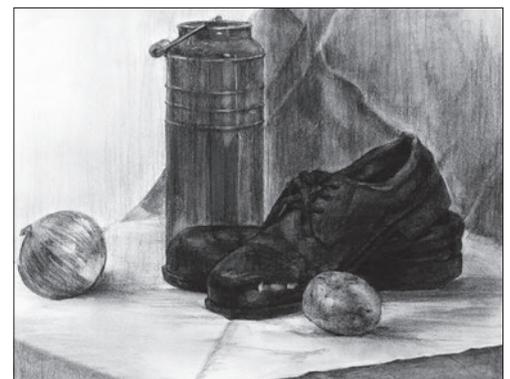
絵画専攻第1期(2月16日・17日試験) 参考作品

(第2期)

「油彩・アクリル、鉛筆、木炭のいずれかを選択し、静物を描く」
(5時間30分)

安全靴	× 2
じゃがいも	× 1
たまねぎ	× 1
ミルク缶	× 1
黄色い布	× 1

出題のポイント: モチーフの質やものとの関係性を観察し、台の上に置かれた静物を通して、描写力、構図力、表現力を見るのがねらいです。



絵画専攻第2期参考作品

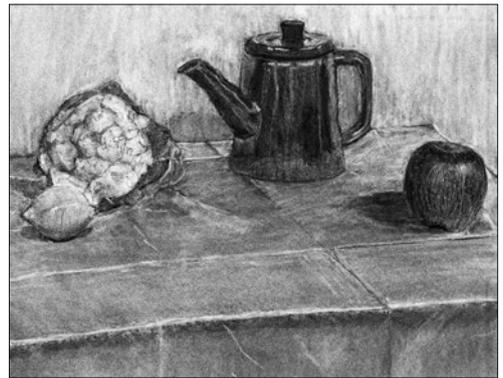
・ 絵画コース版画専攻

(第1期1週目〔2月9日・10日試験〕)

「デッサン：鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く」(5時間30分)

ポット	×	1
りんご	×	1
カリフラワー	×	1
レモン	×	1
布	×	1

出題のポイント：台の上に置かれた静物を通して、観察力・表現力・描写力を見るのがねらいです。



版画専攻第1期(2月9日・10日試験) 参考作品

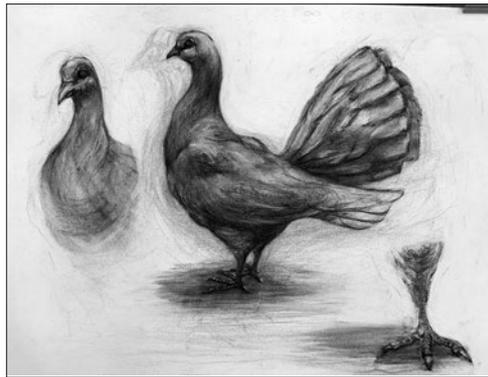
・ 彫刻コース彫刻専攻

出題のポイント：アトリエの中に置かれたモチーフがつくる空間を把握し、画面上に構成することができるか。また、それぞれの素材を観察し、描き分けができてきているかというところを見ます。

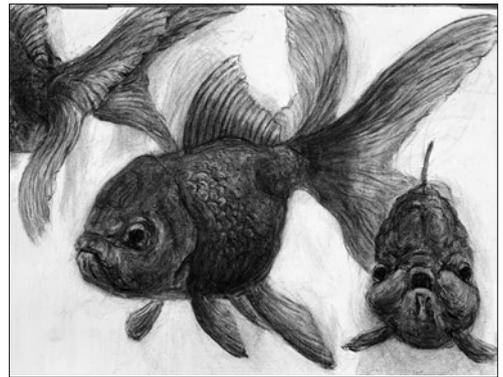
(第1期1週目〔2月9日・10日試験〕 2週目〔2月16日・17日試験〕)

「デッサン：鉛筆・木炭のいずれかを選択して、モチーフ全体を1つ、部分を2つ以上描く」(5時間30分)

1週目	孔雀鳩	×	1
2週目	金魚	×	1



彫刻専攻第1期(2月9日・10日試験) 参考作品

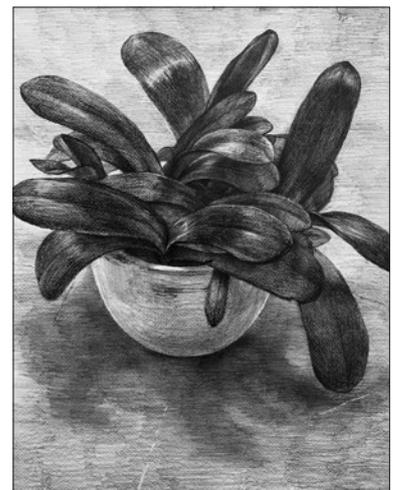


彫刻専攻第1期(2月16日・17日試験) 参考作品

(第2期)

「デッサン：鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く」(5時間30分)

ウケザキクンシラン	×	1
-----------	---	---



彫刻専攻第2期参考作品

デザイン学科

Q デザイン学科の特徴を教えてください。

A 1年次では、必修授業を通してデザインの基礎知識と技術の習得に専念します。併せてグラフィック・プロダクト・スペース・アーキテクチャー等の各デザイン分野の基礎演習や実習からその概念や意義を学びます。2年次以降は自らが選択した授業（専門領域）を核に、必要とする他の領域を自由に学びながらデザイン手法を修得し、多様な社会の要請に応えられるデザイン力を学ぶことが出来ます。

Q 面接の参考資料とするための自作作品が大型の場合どうすればいいでしょうか？また評価について教えてください。

A 持参できる大きさの物にしてください。または写真に撮って持参することも可とします。
なお、持参作品は面接時の参考資料とし、作品そのものは採点しません。

Q 過去の一般選抜A個別方式の実技課題と評価ポイントについて教えてください。

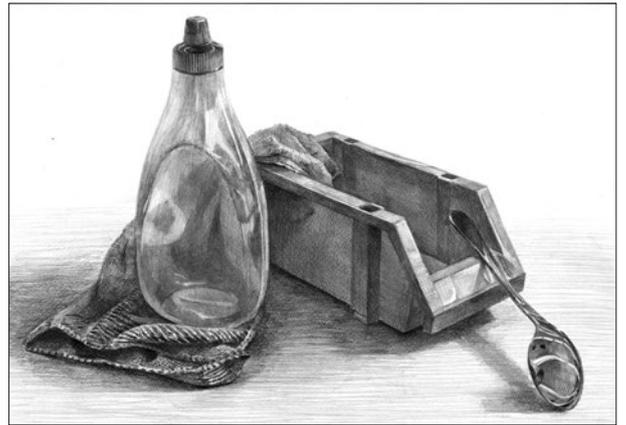
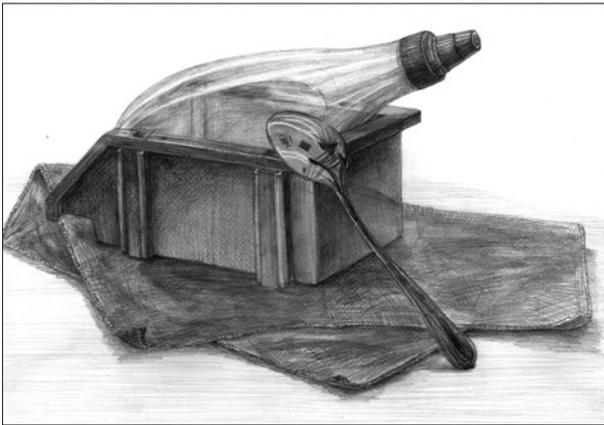
A 2021年度（昨年度）の実技課題については、第1期は13ページ、第2期は20ページを参照してください。

評価ポイントについては、以下を参照してください。

【鉛筆デッサン】

2021年度は、モチーフはセットで渡され、各自が自分の机の上でモチーフを組み、カルトンに画用紙をセットしてのデッサンでした。デザイン学科のデッサンは、対象物をよく観察し正確なプロポーションがとれているか質感の描きわけができてい

るかを見ます。
最終的にはモチーフに対する観察力・表現力といった総合的なデッサン力を重視しているのが出題のポイントです。



【デザインプレゼンテーション】

出題文から問題を見つける「問題発見能力」、そしてそれをデザインで解決する「問題解決能力」、更にはその解決法が「独創性」に富んだものか、「想像力」は豊かか、その中には「発想力とアイデアの展開力（幅広くアイデアが出せるか）」という点も含まれます。

最終的には、それらをわかりやすく表現するための工夫がなされているかという「プレゼンテーション力」を見るのが出題のポイントです。また、1枚目の最終案だけではなく、もう1枚提出する「最終案に至るまでの経緯」も重視していますので、そちらには思いついた案をすべて書き記してください。



※他の合格者作品をご覧になりたい場合は、デザイン学科ホームページをご確認ください

(<http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/design/>)

授業等について

授業について

本学部の授業形態としては、先生から専門の知識を教わる**講義科目**（90分）、先生の指導のもとに研究活動を行う**演習科目**（90分～180分）、実際に機器の操作を行ったり、創作活動を行う**実験・実習科目**（135分～270分）といったものがあります。

本学部の特徴として、こうした演習や実験・実習科目が多く組まれていることが挙げられます。また、受講者20名以下の少人数の科目が半数近くを占めています。評価については通常のペーパーテストのほか、レポートや作品の提出、舞台発表や演奏等の審査によって行われています。

また、さまざまな芸術分野を網羅し、8学科から構成される本学部には、他学科の学生も受講できる「**他学科公開科目**」を設定し、所属学科以外の芸術分野についても、学生一人ひとりの興味や関心に合わせて履修することができるようになっています。

取得資格について

●**学位** 学士（芸術）

●**教員免許状**（教職課程）

各学科においては、右表の免許状を取得できます。

●**学芸員資格**（学芸員課程）

本学部では、学芸員（博物館、美術館等で資料の収集や保管、展示及び調査研究を行う専門職員）の資格を取得するための課程を設けています。

●**司書教諭資格**（司書教諭課程）

学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担う司書教諭の資格を取得するための課程です。司書教諭の資格を得るためには、所定の科目を修得し、教育職員免許状（免許の種類・教科は問いません）の取得が必要となります。

●**司書資格**（司書課程）

都道府県や市町村の公立図書館等で図書館資料の選択、発注及び受け入れから、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などを行う専門的職員の資格を取得するための課程です。

●**一級建築士<デザイン学科>**

所定の建築士試験指定科目を修めて卒業し、卒業後2年以上の実務経験を経ることにより受験資格を得られます。

●**二級建築士、木造建築士<デザイン学科>**

所定の建築士試験指定科目を修めて卒業することで、受験資格を得られます。

学 科	中学校一種	高等学校一種
美 術	美 術	美術、工芸
音 楽	音 楽	音 楽
文 芸	国 語	国 語
デザイン	美 術	美術、工芸

転科・転コースについて

学部内で所属学科を変更することを「**転科**」と呼びます。転科試験については11月頃に受験資格、手続き要領などを掲示板に掲示します。また、学科内で所属コースを変更する「**転コース**」については、転科に準じて認められることがあります。

しかしながら、転科・転コースはあまり望ましいことではありません。入学者選抜の出願にあたっては、自分が何を目的としているか、何を学びたいのかといった視点から志望学科・コースを決めるようにしてください。

≪ 2021 年度転科試験実施状況 ≫

転科希望学科	出願者数	受験者数	合格者数
写 真	0	0	0
映 画	3	3	3
美 術	0	0	0
音 楽	0	0	0
文 芸	1	1	1
演 劇	0	0	0
放 送	3	3	1
デザイン	1	0	0
合 計	8	7	5

入学金・授業料等納入金について [2021年度(昨年度)参考]

昨年度入学者納入金は下表のとおりでした。2022年度入学者納入金については、後日、各入学試験出願書類に同封の要項等でご確認ください。

なお、2年次以降卒業年次までの納入金の年額については、原則として、入学金を除く入学年度の納入金と同額になります。

また、入学後の学費等の納入期限は、前学期は4月末日まで、後学期は9月末日までとなります。

(単位：円)

学科・コース	納入区分	入学金 (入学時のみ)	授業料	施設設備 資金	実験 実習料	後援会費	校友会費 【準会員】	前学期計 後学期計	初年度 年 額	2年次以降 年 額	
写 真	入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,085,000	1,900,000	1,640,000	
	後学期納入金	—	555,000	200,000	50,000	10,000	—	815,000			
映 画	映像表現・ 理論	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,100,000	1,930,000	1,670,000
		後学期納入金	—	570,000	200,000	50,000	10,000	—	830,000		
	監督、撮影・ 録音	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	75,000	10,000	10,000	1,125,000	1,980,000	1,720,000
		後学期納入金	—	570,000	200,000	75,000	10,000	—	855,000		
	演技	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	40,000	10,000	10,000	1,090,000	1,910,000	1,650,000
		後学期納入金	—	570,000	200,000	40,000	10,000	—	820,000		
美 術	入学手続時(前学期)納入金	260,000	550,000	200,000	60,000	10,000	10,000	1,090,000	1,910,000	1,650,000	
	後学期納入金	—	550,000	200,000	60,000	10,000	—	820,000			
音 楽	入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	60,000	10,000	10,000	1,095,000	1,920,000	1,660,000	
	後学期納入金	—	555,000	200,000	60,000	10,000	—	825,000			
文 芸	入学手続時(前学期)納入金	260,000	520,000	200,000	25,000	10,000	10,000	1,025,000	1,780,000	1,520,000	
	後学期納入金	—	520,000	200,000	25,000	10,000	—	755,000			
演 劇	入学手続時(前学期)納入金	260,000	555,000	200,000	35,000	10,000	10,000	1,070,000	1,870,000	1,610,000	
	後学期納入金	—	555,000	200,000	35,000	10,000	—	800,000			
放 送	入学手続時(前学期)納入金	260,000	570,000	200,000	50,000	10,000	10,000	1,100,000	1,930,000	1,670,000	
	後学期納入金	—	570,000	200,000	50,000	10,000	—	830,000			
デザイン	入学手続時(前学期)納入金	260,000	550,000	200,000	45,000	10,000	10,000	1,075,000	1,880,000	1,620,000	
	後学期納入金	—	550,000	200,000	45,000	10,000	—	805,000			

※卒業予定年次後学期に、日本大学校友会正会員費初年度分として10,000円を代理徴収いたします。

2021年度 授業科目一覧

本学部においては、卒業するために必要な単位数を124単位以上と定めています。

科目区分		必要単位数	備考
全学共通教育科目		6単位	「自主創造の基礎1」「自主創造の基礎2」 「日本を考える」 ※全て2単位必修
(各学科共通授業科目) 芸術教養課程科目	芸術教養科目	14単位以上	
	外国語科目	1ヶ国語4単位を含め8単位以上	ただし、1か国語4単位を含む8単位以上
	保健体育科目	3単位以上	講義2単位、実技1単位は必修
所属学科授業科目・共通専門教育科目		58単位以上	
その他		35単位以上	日本大学相互履修科目、他学科公開科目 などを含む
合計		124単位以上	

全学共通教育科目のうち、「自主創造の基礎1」「自主創造の基礎2」は、大学入学までの受動的な学習から転換を図り、「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」能力を養い、大学生としての能動的な学修を導くことを目的とした授業です。「日本を考える」は、異文化及び異分野の多様な価値を受容し、日本及び世界の中での自己の立ち位置や役割を意識し、以後の学修目標の明確化やモチベーションの向上を目的とした授業です。

芸術教養科目は、大学の学生としてもつべき基本的教養、各芸術分野にまたがる総合的視野を身につけるために設置されている科目です。

外国語科目は、基礎的な語学力を身につけるとともに、国際人としての基本的な教養を学ぶために設置されている科目で、英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・中国語・日本語（留学生のみ）だけでなく、韓国語・スペイン語・ラテン語や、各外国語の応用・実践クラスを自由に履修することができます。

保健体育科目は、講義と実技に分かれています。講義では日常の健康法やスポーツの歴史などを学び、実技ではスポーツの技術を修得します。実技科目には、各種球技やフィットネストレーニング・ボクササイズなどのほか、スキー・スケートなどのシーズンスポーツが開設されています。

学科別授業科目とは、各学科の専門科目のことです。どの学科の専門科目も、A 理論・歴史 B 研究 C 表現技術の3部門により構成されています。A部門では、各分野の芸術について、基本から応用までの理論と歴史を学びます。B部門では、それぞれの芸術に特有のテーマについて、各先生の研究成果をもとに、より専門的な授業が行われます。C部門では表現の技術を実践的に身につけるための演習・実習授業が、コース別・専攻別に行われます。

学科別授業科目は、自分の所属する学科以外の科目でも履修することができます。ただし、これには条件があり、学科別授業科目のうち、「他学科公開科目」として定められている科目に限られています。

また、特別プログラムとして「芸術総合講座」が開設され、さまざまな芸術領域の最新情報や技術を、オムニバス形式の授業により学ぶことができます。一部の授業では実際の作品創りやワークショップなど、実践的、創造的な授業を展開しています。

共通専門教育科目は、芸術プロジェクトをベースにした実践型・参加型の学習形態科目となり、芸術活動に必要なコミュニケーション力や課題探求力、自己表現力など様々なスキルを身につけ、初年次に全学共通教育科目や各学科の基礎科目で培った能力をさらに養い発展させる事を目的とした授業です。

このほか、卒業単位には含まれませんが、教職課程、学芸員課程、司書教諭課程及び司書課程の科目も設置されています。

大学での学習に何を求めるか、学生一人ひとりが主体的に考え、さまざまな授業科目を組み合わせる「自分だけの時間割」を作るところに、大学での学びの面白さがあります。学科・コースにより必修科目、必修ではないが履修することが望ましい科目がありますし、科目によっては履修する学年が指定されている場合もありますが、それでも各自の目的の違いによって、大学には学生の数だけの時間割が存在するといつて良いのです。

インターンシップについて

芸術学部では、学生が自らの専門分野や将来のキャリアに関連した〈実社会の現場〉で業務体験を行うことを通じて、各自の〈職業観〉を身につけることを目的に、「芸術学部インターンシップ制度」を設けています。

写真、映画、デザイン学科においては、選択科目として年間の正規の授業に組み入れられており、原則的に3年生の夏休み集中的に行われます。教室での授業では得られない実社会の体験を通して、社会人としての自覚を意識できるチャンスであり、また自分に合った職業を見つめ直すチャンスでもあります。

授業科目一覧の見方

- ①履修の細則については掲載していませんので、参考資料としてご覧ください。
- ②学科別授業科目には学科あるいはコースにより必修・選択必修指定の科目があり、また履修上いくつかの制約が設けられている科目もあります。
学生は、毎年4月に行われる各学科ごとのガイダンスにより、詳細について指示を受けます。
- ③網掛けの科目は、他学科公開科目を表しています。

全学共通教育科目				
自主創造の基礎 1	自主創造の基礎 2	日本を考える		

芸術教養課程科目（芸術教養科目）				
知の探究 I	人間の心理 I	美学Ⅲ	シナリオ分析	芸術総合講座Ⅵ
知の探究 II	人間の心理 II	美学Ⅳ	メディア・リテラシー I	芸術総合講座Ⅶ
ロゴスの探究 I	芸術と心理 I	芸術学 I	メディア・リテラシー II	芸術総合講座Ⅷ
ロゴスの探究 II	芸術と心理 II	芸術学 II	東アジア世界の考古学 I	芸術総合講座Ⅸ
エチカの探究 I	数学的思考の探究 I	芸術学Ⅲ	東アジア世界の考古学 II	芸術総合講座Ⅹ
エチカの探究 II	数学的思考の探究 II	芸術学Ⅳ	形象文化論	芸術と身体
歴史と文化	情報 I	芸術の思想と表現 I	表演芸術論	芸術理論演習 I
文学の世界 I	情報 II	芸術の思想と表現 II	メディア芸術論	芸術理論演習 II
文学の世界 II	自然科学 I	音楽と情報	芸術理論研究	芸術批評演習 I
法と政治	自然科学 II	芸術文化と福祉	芸術特殊研究	芸術批評演習 II
日本国憲法	自然の探究 I	色彩の基礎	芸術総合講座 I	芸術リサーチ演習 I
社会現象の解説 I	自然の探究 II	モード論	芸術総合講座 II	芸術リサーチ演習 II
社会現象の解説 II	言葉のしくみ	日本の芸能史	芸術総合講座Ⅲ	Culture and Society
芸術文化の経済 I	美学 I	民俗芸能文化論	芸術総合講座Ⅳ	
芸術文化の経済 II	美学 II	アートと教育	芸術総合講座Ⅴ	

芸術教養課程科目（外国語科目）				
英語 I	フランス語 I	中国語 I	応用英語 I	実践イタリア語 I
英語 II	フランス語 II	中国語 II	応用英語 II	実践イタリア語 II
英語 III	フランス語 III	中国語 III	応用英語 III	実践中国語 I
英語 IV	フランス語 IV	中国語 IV	応用英語 IV	実践中国語 II
英語 V	フランス語 V	中国語 V	応用英語 V	実践日本語 I
英語 VI	フランス語 VI	中国語 VI	応用英語 VI	実践日本語 II
英語 VII	フランス語 VII	中国語 VII	応用英語 VII	韓国語 I
英語 VIII	フランス語 VIII	中国語 VIII	応用英語 VIII	韓国語 II
ドイツ語 I	イタリア語 I	日本語 I	実践ドイツ語 I	スペイン語 I
ドイツ語 II	イタリア語 II	日本語 II	実践ドイツ語 II	スペイン語 II
ドイツ語 III	イタリア語 III	日本語 III	実践ドイツ語 III	ラテン語 I
ドイツ語 IV	イタリア語 IV	日本語 IV	実践ドイツ語 IV	ラテン語 II
ドイツ語 V	イタリア語 V	日本語 V	実践フランス語 I	海外語学研修 I
ドイツ語 VI	イタリア語 VI	日本語 VI	実践フランス語 II	海外語学研修 II
ドイツ語 VII	イタリア語 VII	日本語 VII	実践フランス語 III	海外語学研修 III
ドイツ語 VIII	イタリア語 VIII	日本語 VIII	実践フランス語 IV	海外語学研修 IV
				検定英語
				検定ドイツ語
				検定フランス語
				検定イタリア語
				検定中国語

芸術教養課程科目（保健体育科目）				
保健体育科目	体育実技 I	体育実技Ⅲ	体育実技Ⅴ	
健康・スポーツ科学	体育実技 II	体育実技Ⅳ	体育実技Ⅵ	

音楽学科

A 理論・歴史部門	記譜法	副科ピアノⅡ	弦楽器Ⅲ	室内楽Ⅵ
音楽学Ⅰ	歌曲研究Ⅰ	副科ピアノⅢ	弦楽器Ⅳ	室内楽Ⅶ
音楽学Ⅱ	歌曲研究Ⅱ	副科ピアノⅣ	弦楽器Ⅴ	室内楽Ⅷ
音楽学Ⅲ	ミュージカル概論	副科ピアノⅤ	弦楽器Ⅵ	ピアノデュオⅠ
音楽学Ⅳ	音楽マネージメント	副科ピアノⅥ	弦楽器Ⅶ	ピアノデュオⅡ
音楽概論	吹奏楽研究	特殊鍵盤楽器Ⅰ	弦楽器Ⅷ	ピアノデュオⅢ
音楽形式学Ⅰ	音楽文献原典講読Ⅰ	特殊鍵盤楽器Ⅱ	副科弦楽器Ⅰ	ピアノデュオⅣ
音楽形式学Ⅱ	音楽文献原典講読Ⅱ	特殊鍵盤楽器Ⅲ	副科弦楽器Ⅱ	キーボード・ハーモニーⅠ
音楽教育学Ⅰ	音楽キャリア論	特殊鍵盤楽器Ⅳ	副科弦楽器Ⅲ	キーボード・ハーモニーⅡ
音楽教育学Ⅱ	古楽概論	伴奏法Ⅰ	副科弦楽器Ⅳ	ボーカル・トレーニングⅠ
音声学		伴奏法Ⅱ	管打楽器Ⅰ	ボーカル・トレーニングⅡ
作曲論		伴奏法Ⅲ	管打楽器Ⅱ	デジタルコンテンツ制作Ⅰ
演奏論Ⅰ	C 表現技術部門	伴奏法Ⅳ	管打楽器Ⅲ	デジタルコンテンツ制作Ⅱ
演奏論Ⅱ	作曲Ⅰ	声楽Ⅰ	管打楽器Ⅳ	ソルフェージュⅠ
音楽史Ⅰ	作曲Ⅱ	声楽Ⅱ	管打楽器Ⅴ	ソルフェージュⅡ
音楽史Ⅱ	作曲Ⅲ	声楽Ⅲ	管打楽器Ⅵ	ソルフェージュⅢ
音楽史Ⅲ	作曲Ⅳ	声楽Ⅳ	管打楽器Ⅶ	ソルフェージュⅣ
音楽史Ⅳ	作曲Ⅴ	声楽Ⅴ	管打楽器Ⅷ	ソルフェージュⅤ
音楽史Ⅴ	作曲Ⅵ	声楽Ⅵ	副科管打楽器Ⅰ	ソルフェージュⅥ
音楽史Ⅵ	作曲Ⅶ	声楽Ⅶ	副科管打楽器Ⅱ	指揮法演習Ⅰ
	作曲Ⅷ	声楽Ⅷ	副科管打楽器Ⅲ	指揮法演習Ⅱ
B 研究部門	副科作曲Ⅰ	副科声楽Ⅰ	副科管打楽器Ⅳ	音楽教材演習Ⅰ
音楽教育研究Ⅰ	副科作曲Ⅱ	副科声楽Ⅱ	オーケストラⅠ	音楽教材演習Ⅱ
音楽教育研究Ⅱ	副科作曲Ⅲ	副科声楽Ⅲ	オーケストラⅡ	教育用楽器等合奏法Ⅰ
音楽教育研究Ⅲ	副科作曲Ⅳ	副科声楽Ⅳ	オーケストラⅢ	教育用楽器等合奏法Ⅱ
音楽教育研究Ⅳ	和声Ⅰ	副科声楽Ⅴ	オーケストラⅣ	音楽療法演習Ⅰ
音楽教育研究Ⅴ	和声Ⅱ	副科声楽Ⅵ	オーケストラⅤ	音楽療法演習Ⅱ
音楽教育研究Ⅵ	和声Ⅲ	合唱Ⅰ	オーケストラⅥ	音楽療法実習Ⅰ
情報音楽基礎Ⅰ	和声Ⅳ	合唱Ⅱ	オーケストラⅦ	音楽療法実習Ⅱ
情報音楽実践Ⅰ	和声Ⅴ	合唱Ⅲ	吹奏楽Ⅰ	ゼミナールⅠ
情報音楽基礎Ⅱ	和声Ⅵ	合唱Ⅳ	吹奏楽Ⅱ	ゼミナールⅡ
情報音楽実践Ⅱ	フーガⅠ	合唱Ⅴ	吹奏楽Ⅲ	ゼミナールⅢ
情報音楽基礎Ⅲ	フーガⅡ	合唱Ⅵ	吹奏楽Ⅳ	ゼミナールⅣ
情報音楽実践Ⅲ	編曲法Ⅰ	合唱Ⅶ	吹奏楽Ⅴ	音楽共同制作
情報音楽基礎Ⅳ	編曲法Ⅱ	合唱Ⅷ	吹奏楽Ⅵ	プロジェクトⅠ
情報音楽実践Ⅳ	ピアノⅠ	オペラⅠ	吹奏楽Ⅶ	プロジェクトⅡ
音楽療法研究Ⅰ	ピアノⅡ	オペラⅡ	吹奏楽Ⅷ	プロジェクトⅢ
音楽療法研究Ⅱ	ピアノⅢ	オペラⅢ	吹奏楽Ⅷ	プロジェクトⅣ
音楽作品研究	ピアノⅣ	オペラⅣ	室内楽Ⅰ	卒業論文・演奏・作品
音楽作品分析	ピアノⅤ	オペラⅤ	室内楽Ⅱ	
日本の伝統音楽研究	ピアノⅥ	オペラⅥ	室内楽Ⅲ	
民族音楽研究	ピアノⅦ	弦楽器Ⅰ	室内楽Ⅳ	
ジャズ研究	ピアノⅧ	弦楽器Ⅱ	室内楽Ⅴ	
ポピュラー音楽研究	副科ピアノⅠ			

文芸学科

A 理論・歴史部門	小説論Ⅱ	ミステリー小説論	文芸特講Ⅵ	DTP演習Ⅱ
言語学Ⅰ	文芸創作論Ⅰ	口承文芸論Ⅰ	文芸特講Ⅶ	DTP演習Ⅲ
言語学Ⅱ	文芸創作論Ⅱ	口承文芸論Ⅱ	文芸特講Ⅷ	DTP演習Ⅳ
海外文芸史Ⅰ	文芸創作論Ⅲ	ノンフィクション論Ⅰ	原典講読Ⅰ	マンガ演習Ⅰ
海外文芸史Ⅱ	文芸創作論Ⅳ	ノンフィクション論Ⅱ	原典講読Ⅱ	マンガ演習Ⅱ
海外文芸史Ⅲ	伝記論Ⅰ	マンガ論Ⅰ	原典講読Ⅲ	卒業論文・作品
海外文芸史Ⅳ	伝記論Ⅱ	マンガ論Ⅱ	原典講読Ⅳ	
古典文学史Ⅰ	文芸批評論Ⅰ	ジャーナリズム論Ⅰ	文芸特別講座Ⅰ	D 教職教科部門
古典文学史Ⅱ	文芸批評論Ⅱ	ジャーナリズム論Ⅱ	文芸特別講座Ⅱ	国語学Ⅰ
現代文学史Ⅰ	エッセイ研究Ⅰ	メディア論Ⅰ		国語学Ⅱ
現代文学史Ⅱ	エッセイ研究Ⅱ	メディア論Ⅱ	C 表現技術部門	国文学Ⅰ
日本文化史Ⅰ	児童文学論Ⅰ	出版文化論Ⅰ	文芸研究Ⅰ	国文学Ⅱ
日本文化史Ⅱ	児童文学論Ⅱ	出版文化論Ⅱ	文芸研究Ⅱ	漢文学Ⅰ
思想の歴史	現代詩研究Ⅰ	翻訳文学論Ⅰ	文芸研究Ⅲ	漢文学Ⅱ
思想の座標	現代詩研究Ⅱ	翻訳文学論Ⅱ	文芸研究Ⅳ	漢文学史Ⅰ
文芸入門講座Ⅰ	詩歌論Ⅰ	雑誌研究Ⅰ	表現領域拡張講座Ⅰ	漢文学史Ⅱ
文芸入門講座Ⅱ	詩歌論Ⅱ	雑誌研究Ⅱ	表現領域拡張講座Ⅱ	書道Ⅰ
	シナリオ研究Ⅰ	文芸特講Ⅰ	編集研究Ⅰ	書道Ⅱ
	シナリオ研究Ⅱ	文芸特講Ⅱ	編集研究Ⅱ	
B 研究部門	幻想小説論	文芸特講Ⅲ	文芸情報処理演習Ⅰ	
作家作品論Ⅰ	SF小説論Ⅰ	文芸特講Ⅳ	文芸情報処理演習Ⅱ	
作家作品論Ⅱ	SF小説論Ⅱ	文芸特講Ⅴ	DTP演習Ⅰ	

演劇学科

A 理論・歴史部門	B 研究部門	C 表現技術部門		
演劇概論 I	応用演劇研究	演劇基礎演習	演出実習 II	演劇特殊実習 II
演劇概論 II	演劇批評研究	戯曲講読演習	音響実習 I	演劇特殊実習 III
演劇学	古典演劇研究 I	劇作演習	音響実習 II	演劇特殊実習 IV
舞踊学	古典演劇研究 II	演出演習	舞台監督実習 I	舞踊特殊実習 I
劇場論 I	現代演劇研究 I	音響演習	舞台監督実習 II	舞踊特殊実習 II
劇場論 II	現代演劇研究 II	舞台監督演習	企画制作実習 I	上演実習 I
戯曲論	作家作品研究 I	企画制作演習	企画制作実習 II	上演実習 II
演出論	作家作品研究 II	演技演習	演技実習 I	総合実習 I
演技論	舞台美術研究	舞台美術演習	演技実習 II	総合実習 II
舞踊論 I	舞台照明研究	舞台照明演習	演技実習 III	劇場実習
舞踊論 II	舞台技術研究 I	日本舞踊演習	舞台美術実習 I	ゼミナール I
演劇教育論	舞台技術研究 II	西洋舞踊演習	舞台美術実習 II	ゼミナール II
演劇史 I	企画制作研究 I	演劇教育演習	舞台美術実習 III	ゼミナール III
演劇史 II	企画制作研究 II	舞台扮装演習	舞台照明実習 I	ゼミナール IV
演劇史 III	演劇特殊研究 I	応用演劇演習	舞台照明実習 II	ゼミナール V
演劇史 IV	演劇特殊研究 II	特殊演習 I	舞台照明実習 III	ゼミナール VI
演劇史 V	演劇特殊研究 III	特殊演習 II	日本舞踊実習 I	卒業ゼミナール
舞踊史 I	演劇特殊研究 IV	特殊演習 III	日本舞踊実習 II	卒業研究
舞踊史 II	演劇特殊研究 V	特殊演習 IV	日本舞踊実習 III	
	演劇特殊研究 VI	劇作実習 I	西洋舞踊実習 I	
	演劇特殊研究 VII	劇作実習 II	西洋舞踊実習 II	
	演劇特殊研究 VIII	演出実習 I	西洋舞踊実習 III	
			演劇特殊実習 I	

放送学科

A 理論・歴史部門	B 研究部門	C 表現技術部門		
放送概論 I	テレビの編成	放送脚本論 I	映像技術論 IV	ラジオ制作 V
放送概論 II	ラジオの編成	放送脚本論 II	映像制作演習	映像技術 IV
ラジオ史 I	制作技術研究 I	ラジオ演出論 I	音響制作演習	映像技術 V
ラジオ史 II	制作技術研究 II	ラジオ演出論 II	企画演習	音響技術 IV
テレビ史 I	広告とマーケティング戦略 I	テレビ演出論 I	テレビ制作 I	音響技術 V
テレビ史 II	広告とマーケティング戦略 II	テレビ演出論 II	ラジオ制作 I	CM IV
放送制度論	放送作品研究 I	ドキュメンタリーの演出 I	映像技術 I	CM V
放送契約論	放送作品研究 II	ドキュメンタリーの演出 II	音響技術 I	脚本 IV
メディア研究 I	放送作品研究 III	テレビドラマの表現 I	CM I	脚本 V
メディア研究 II	放送作品研究 IV	テレビドラマの表現 II	脚本 I	アナウンス IV
メディア研究 III	放送作品研究 V	放送表現と人権 I	アナウンス I	アナウンス V
メディア研究 IV	放送作品研究 VI	放送表現と人権 II	テレビ制作 II	番組企画構成演習 I
メディア研究 V	放送作品研究 VII	放送美術論 I	テレビ制作 III	番組企画構成演習 II
メディア研究 VI	放送作品研究 VIII	放送美術論 II	ラジオ制作 II	番組企画構成演習 III
メディア研究 VII	放送作品研究 IX	放送広告論 I	ラジオ制作 III	番組企画構成演習 IV
電気概論 I	放送作品研究 X	放送広告論 II	映像技術 II	コピーライティング I
電気概論 II	放送作品研究 XI	放送報道論 I	映像技術 III	コピーライティング II
	放送作品研究 XII	放送報道論 II	音響技術 II	照明演習 I
	音響心理学 I	放送技術概論 I	音響技術 III	照明演習 II
	音響心理学 II	放送技術概論 II	音響技術 III	ニュース分析 I
	ゼミナール I	音響技術論 I	CM II	ニュース分析 II
	ゼミナール II	音響技術論 II	CM III	ニュース分析 III
		音響技術論 III	脚本 II	ニュース分析 IV
		音響技術論 IV	脚本 III	取材調査演習 I
		映像技術論 I	アナウンス II	取材調査演習 II
		映像技術論 II	アナウンス III	卒業研究
		映像技術論 III	テレビ制作 IV	
			テレビ制作 V	
			ラジオ制作 IV	

デザイン学科		
A 理論・歴史部門	C 表現技術部門	(プロダクトデザイン)
デザイン論 I	(ベーシックデザイン I)	プロダクトデザイン I
デザイン論 II	ドローイング I	プロダクトデザイン II
美術学 I	ドローイング II	プロダクトデザイン III
美術学 II	製図 I	プロダクトデザイン IV
美術史概論	製図 II	プロダクトデザイン V
工芸概論	カラー&コンポジション	プロダクトデザイン VI
日本建築史	スタイル&フォーム	プロダクトデザイン VII
西洋建築史	マテリアル&コンストラクション	プロダクトデザイン VIII
デザイン史 I	デザインフィールドワークショップ	プロダクトデザイン IX
デザイン史 II	ベーシックデザインワークショップ	
デザイン史 III		(スペース・アーキテクチュアデザイン)
デザイン論 III	(ベーシックデザイン II)	スペースデザイン I
デザイン論 IV	コンピュータ基礎	スペースデザイン II
デザイン論 V	ビジュアル基礎	スペースデザイン III
デザイン論 VI	メディア基礎	スペースデザイン IV
建築デザイン論	タイポグラフィックデザイン	アーキテクチュアデザイン I
	イラストレーション	アーキテクチュアデザイン II
B 研究部門	エディトリアルデザイン	アーキテクチュアデザイン III
タイポグラフィ論	ライフデザイン I	アーキテクチュアデザイン IV
エルゴノミックデザイン論	ライフデザイン II	アーキテクチュアデザイン V
マテリアル	フォトグラフィ	アーキテクチュアデザイン VI
メカトロニクス概論	アーキテクチュアルドローイング	
デザインマネージメント論 I	プレゼンテーションテクニック I	(ソーシャルデザイン)
デザインマネージメント論 II	プレゼンテーションテクニック II	総合演習
環境論 I	CAD I	インターンシップ
環境論 II	CAD II	デザインゼミナール
プランニング I		卒業論文・制作
プランニング II	(ビジュアルコミュニケーションデザイン)	
力学	グラフィックデザイン I	
ストラクチャー I	グラフィックデザイン II	
ストラクチャー II	グラフィックデザイン III	
構法概論	グラフィックデザイン IV	
建築生産論	グラフィックデザイン V	
建築設備	グラフィックデザイン VI	
建築法規	グラフィックデザイン VII	
図学 I	グラフィックデザイン VIII	
図学 II	コミュニケーションデザイン I	
デザイン特別講座 I	コミュニケーションデザイン II	
デザイン特別講座 II	コミュニケーションデザイン III	
建築一般構造	コミュニケーションデザイン IV	
	コミュニケーションデザイン V	
	コミュニケーションデザイン VI	
	コミュニケーションデザイン VII	

共通専門教育科目		
連携型プロジェクト I	連携型プロジェクト II	連携型プロジェクト III

日本大学相互履修科目について

日本大学は、あらゆる学問分野を網羅した16学部からなる総合大学です。芸術学部ではこうした特徴を生かした**相互履修制度**により、在学する学部以外の授業科目を履修し、単位を修得することができます。自分の専攻分野の隣接科目を中心に学ぶことはもちろん、自分の興味を生かし、勉学分野を広げるために積極的に活用することも可能です。

海外留学による単位の修得について

芸術学部主催によるマインツ美術大学（ドイツ）との交換留学や夏期休暇期間中に行うサマースクール、主として日本大学が提携するSAFによる6か国180大学への学生個人の留学を大学派遣の留学として認める認定留学制度を実施しています。また、日本大学では、正規課程に在学する全ての学生を対象に、大学本部主催による16ヶ国29大学との交換・派遣留学制度（日本大学交換・派遣留学生）や短期海外研修を実施しています。

上記留学中に修得した単位は、その履修科目の講義内容・時間数などを勘案した上で、卒業単位として認定することができます。これらの制度により認定する単位数の上限は、相互履修科目の単位を含め60単位となります。

卒業制作等，学生の作品発表を見るには…

芸術学部では、教育の成果として、年間にわたり学生の作品が発表されています。写真・絵画・彫刻・デザインなどの展示、映画・放送等の映像作品の上映、文芸誌ほか各学科研究誌の出版、音楽・演劇・舞踊の上演といったように、発表の形式・内容もバラエティに富んでおり、こうした作品の中には、学外の各種コンクールにおいて審査を受け、受賞するものも数多くあります。

学部では、各学科の実習内容を理解していただくためにも、これらの発表をぜひ見ていただきたいと願っています。

※ 2021年4月現在の予定について掲載しています。変更となる場合がありますので、詳細については、本学部または各学科ホームページをご確認ください。

学科	名 称	時 期	会 場	内 容
写 真	卒業・修了制作 優秀作品展	5月半ば以降随時 (ホームページにて ご確認ください)	学部校舎 写真ギャラリー	令和元年度・令和2年度の優秀作品(卒業制作・ 修了制作)の展示(無料)
	GRIP2021 - 学生選抜作品展 -	9/30～10/6	ポートレートギャラリー	学内選考によって選ばれた学生による展示(無料)
	日芸祭写真展	11/3～5	学部校舎	学生の個人・グループによる作品展示(無料)
	卒業制作集「LOCUS」	毎年3月発行	学部校舎にて閲覧可	卒業制作・論文の抄録
	写真学科 2022 卒展	2022年3月下旬 (予定)	学部校舎(予定) (ホームページにて 告知します)	学生作品の展示(無料) ※卒業制作の一部は写真学科公式ホームページ内 でも公開しています。
問合せ先 ☎ 03-5995-8210 (写真学科事務室) 写真学科公式ホームページ https://www.nuaphoto.com/				
映 画	映画学科機関誌 「映像研究」	3月発行	学部校舎にて閲覧可	各年度の卒業論文、シナリオ、エッセイや作品題目 一覧等を掲載
	映像表現・理論コース 2年ゼミ誌 「書くことから」	4月発行	学部校舎にて閲覧可	映像表現・理論コース2年 理論・批評専攻、シ ナリオ専攻によるゼミ誌。理論・批評専攻は約 5,000字の批評、シナリオは15分程度の短編
	映像表現・理論コース 3年ゼミ誌 「言葉と映画のあいだに」	4月発行	学部校舎にて閲覧可	映像表現・理論コース3年 理論・批評専攻、シナ リオ専攻によるゼミ誌。理論・批評専攻は約10,000 字の批評、シナリオは15分～30分程度の短編
	映像表現・理論コース 卒業論文・制作・研究発表会	3月中旬	学部校舎	理論・批評専攻による卒業論文、シナリオ専攻に よる卒業制作(シナリオ)、映像専攻による卒業研 究の展示・上映(無料)
	フォーカス イン FOCUS IN	5～6月頃 (1週間程度)	学部校舎 他	前年度の「映画演出Ⅲ」「映画技術Ⅲ」「卒業制作」 の作品上映(無料) ※詳細はホームページに掲載予定
問合せ先 ☎ 03-5995-8220 (映画学科事務室) 映画学科公式ホームページ http://nuart-cinema.info/				
美 術	個展, グループ展	随時	ホームページにて 告知します	学部・大学院生の個人・グループ展
	北野教育振興会 彫刻奨学生作品展	11/29～12/11	学部校舎芸術資料館	北野教育振興会彫刻奨学生受賞者による作品展 (無料)
	全国大学版画展	12/4～19	上田市立美術館	版画教育を行っている全国の大学が参加する展覧 会(無料)
	東京五美術大学連合 卒業・修了制作展	2/24～3/6	国立新美術館	本学部のほか、武蔵野美術大学、多摩美術大学、 女子美術大学、東京造形大学が一堂に会する連合 卒業制作展(無料)
	美術学科卒業制作展(卒博)	3月中旬(予定)	学部校舎芸術資料館 その他	絵画、版画、彫刻各分野の作品展示(無料)
問合せ先 ☎ 03-5995-8230 (美術学科事務室) 美術学科公式ホームページ http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/finearts/				

学科	名称	時期	会場	内容
音楽	第 134 回定期演奏会	7/12	練馬文化センター 大ホール	学生によるオーケストラ公演。協奏曲・オペラアリア・作品発表の演奏会（無料）
	第 135 回定期演奏会	未定	学部校舎音楽小ホール	試演会（公開実技試験）より選ばれた学生の独奏・独唱・作品発表の演奏会（無料）
	第 50 回ピアノコンサート	11/19	練馬文化センター 小ホール	試演会（公開実技試験）にて選ばれたピアノコース専攻生による演奏会（無料）
	第 33 回ウィンドオーケストラ定期演奏会	11/24	練馬文化センター 大ホール	吹奏楽定期演奏会（無料）
	第 136 回定期演奏会	12/5	練馬文化センター 大ホール	オーケストラ定期演奏会（無料）
	第 41 回新作室内楽の会	12/22	学部校舎音楽小ホール	「作曲・副科作曲」授業の学習・研究成果の発表（無料）
	第 52 回オペラ公演	12/23	IMA ホール	声楽コースの学生による公演（無料）
	卒業演奏会	3/14	練馬文化センター 小ホール	作曲、声楽、ピアノ、弦管打楽各コース卒業生より選ばれた学生による演奏会（無料）
	情報音楽フェス SWITCH2022	3/19・20	学部校舎音楽小ホール 他	情報音楽コースライブエレクトロニクスコンサート並びに音の展示作品発表（無料）
	問合せ先 ☎ 03-5995-8240（音楽学科事務室） 音楽学科公式ホームページ			
文芸	ゼミ雑誌	12月頃発行	学部校舎にて配布 学部祭等でも配布	ゼミでの学生の創作・評論・詩等をまとめた文集（無料）
	演習授業による刊行物	1月頃発行	学部校舎にて配布	各演習授業の成果をまとめた雑誌（無料）
	文芸学科 「優秀卒業論文・作品集」	3月発行	学部校舎にて入手可	芸術学部長賞・奨励賞受賞作を収録した、優秀卒業論文・作品集
	『江古田文学』	年3回発行	全国の書店にて入手可能	学生やOB、教員の作品を発表している文芸誌（有料／1部785円）
問合せ先 ☎ 03-5995-8250（文芸学科事務室） 文芸学科公式ホームページ				http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/literature/
演劇	総合実習ⅡB	6/18・19	学部校舎中ホール	3年生洋舞舞台発表
	総合実習ⅡA	7/8～10	学部校舎中ホール	3・4年生演劇舞台発表
	総合実習ⅠA	9/23～25	学部校舎中ホール	2年生演劇舞台発表
	上演実習Ⅲ	10/1・2	学部校舎小ホール	3年生創作演劇舞台発表
	総合実習ⅢB	10/15・16	学部校舎中ホール	3年生洋舞舞台発表
	卒業制作（演劇）公演	11/1～3	学部校舎中ホール	4年生演劇舞台公演
	卒業制作（洋舞）公演	11/13・14	学部校舎中ホール	4年生洋舞舞台公演
	総合実習ⅡC	11/18・19	学部校舎中ホール	3年生創作舞踊（日舞）舞台発表
	総合実習ⅠB	11/26・27	学部校舎中ホール	2年生洋舞舞台発表
	総合実習ⅠC	12/11	学部校舎中ホール	2年生創作舞踊（日舞）舞台発表
	卒業制作（日舞）公演	12/18・19	学部校舎中ホール	4年生創作舞踊（日舞）舞台公演
	総合実習ⅢA	3/18～20	学部校舎中ホール	3年生演劇舞台発表
問合せ先 ☎ 03-5995-8260（演劇学科事務室） 演劇学科公式ホームページ				http://theatre.art.nihon-u.ac.jp/
放送	卒業制作発表（朗読）	12月	学部校舎	卒業研究の朗読の発表会（無料）
	卒業制作発表と展示 （映像・音響・朗読・脚本など）	3月	学部校舎	卒業研究の映像作品の上映、音響作品と朗読の発表、脚本・アナウンス・論文の展示（無料）
	研究誌「放送と表現」	3月発行	学部校舎にて閲覧可	放送学科教員の論文や学生の優秀卒業論文、卒業制作の台本、脚本等の発表の場として発刊された研究誌
問合せ先 ☎ 03-5995-8270（放送学科事務室） 放送学科公式ホームページ				http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/broadcast/
デザイン	大学院修士2年 CD系グループ作品展	6月上旬～中旬	学部校舎 A&D ギャラリー	大学院修士2年のグラフィック、CD系に在籍する院生の修了研究中間発表展示（無料）
	デザイン学科助手展	9月下旬	学部校舎 A&D ギャラリー	デザイン学科助手による作品展示（無料）
	日芸祭 作品展	11/3～5	学部校舎	学生作品の展示（無料）
	大学院修了制作展	2月中旬～下旬	学部校舎 A&D ギャラリー	大学院生の修士課程修了制作展（無料）
	卒業制作選抜展	3月中旬～下旬	学部校舎	デザイン各分野卒業制作優秀作選抜展（無料）
問合せ先 ☎ 03-5995-8290（デザイン学科事務室） デザイン学科公式ホームページ				http://www.art.nihon-u.ac.jp/department/design/

入学後のキャリア形成について ~卒業後の「職」を考える~

大学入学前の皆さんが卒業後のことを考えるのは難しいところもあります。今では多くの大学で「職業」に対する教育に力を入れています。本学部も芸術に関する専門的な教育はもちろんのこと、就職指導委員会と就職指導課を中心に学生の就職活動に対しても全面的にバックアップする態勢を整えています。

●キャリア形成に関するスケジュール [参考]

1年次生	2年次生	3年次生					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
幅広い芸術領域の体験を通して、将来の進路を見据えます。 就職指導課が実施するキャリアガイダンスⅠ（内容：「芸術学部身近な業界紹介」ほか）を活用して、早い段階から「職」に「就く」意識を持ちましょう。	進路を決めるにあたっては、どんなことをすればよいのでしょうか。 就職指導課が実施するキャリアガイダンスⅡ（内容：「自分のキャリアの作り方」「就職活動前の大事なポイント」ほか）を活用して、自分の適性や自分が就きたい「仕事」について考えておきましょう。	就職指導講座 ※下記一覧参照					
		自己分析、業界・企業研究、筆記試験対策					
		インターンシップ					

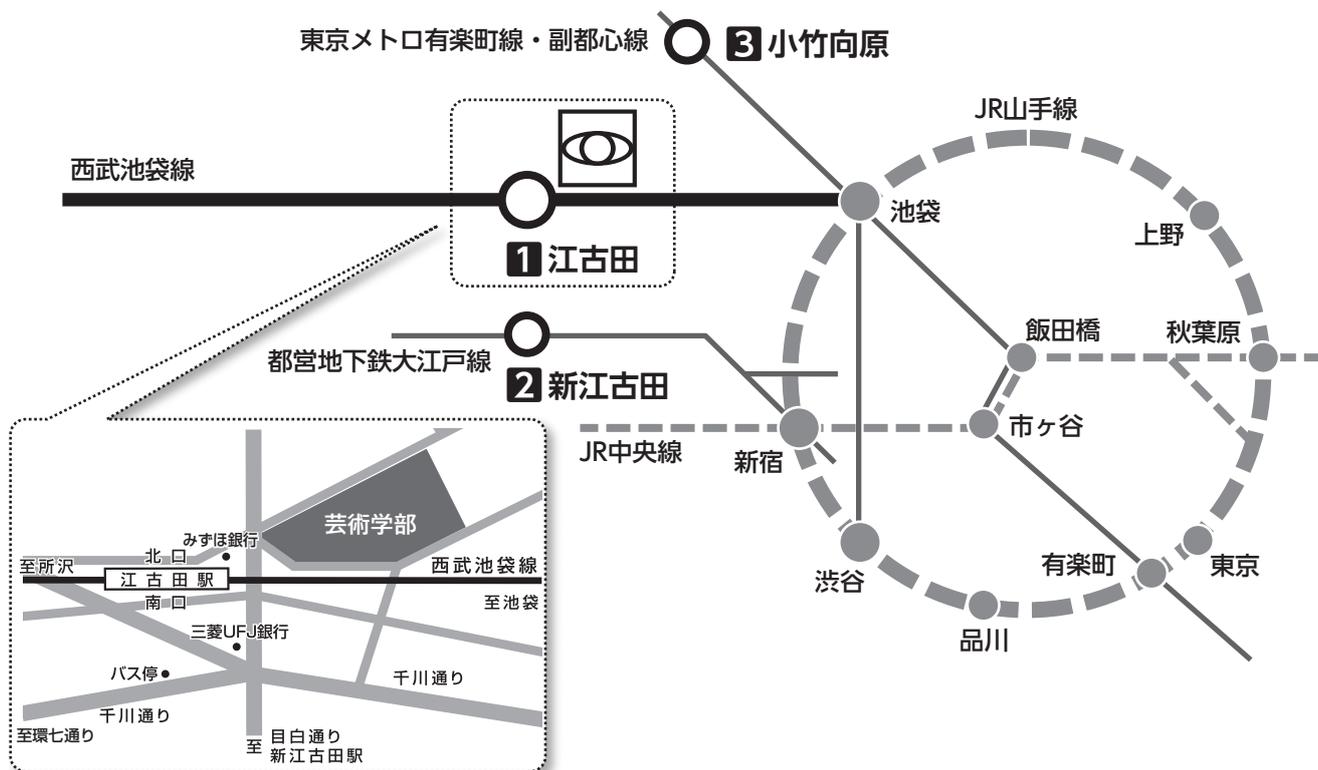
3年次生						4年次生						採用						
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月
就職指導講座																		
自己分析、業界・企業研究、筆記試験対策																		
						会社説明会・エントリー												
						採用試験												
						内定												

●就職指導講座（3年次生対象）の一部 [参考]

講座名	内容
就職活動入門講座Ⅰ	就職活動のスケジュールや事前に準備しておくべきことなどを説明するとともに、併せて卒業生の主な就職先や業界を紹介する
就職活動入門講座Ⅱ	芸術学部周辺以外の多種多様な業界を幅広く紹介
インターンシップ講座	多種多様化するインターンシップの全体像を整理して説明するとともに、インターンシップに参加するために必要な書類選考や面接等の対策方法を具体的に解説
筆記試験対策講座Ⅰ【SPI編】	適性検査の代表格であるSPI3を中心に適性検査の出題傾向と対策を解説
筆記試験対策講座Ⅱ【一般常識編】	出題範囲が非常に広い一般常識テストの出題傾向と対策を解説
ポートフォリオの作り方講座	クリエイティブな職種希望者必須のポートフォリオ（作品集）の作成方法等のポイントを具体的に解説
コミュニケーション力UP講座	挨拶・会話・敬語の使い方など、社会人とスムーズに接するためのノウハウを学び、相手に好印象を与えるための話の聞き方・伝え方のポイントを学ぶ
マスコミ業界対策講座Ⅰ	本学部の学生が多く就職を希望するマスコミ業界のうち、音楽・出版・放送等の分野に焦点をあて、各回ごとにゲストを招いてその業界の実情や採用動向などを解説
マスコミ業界対策講座Ⅱ	
マスコミ業界対策講座Ⅲ	
履歴書・エントリーシートの書き方講座	就職活動で最も基本的かつ重要な書類である履歴書・エントリーシートの書き方を具体的に解説
面接基礎講座	面接を受ける際の必要な知識を学んだ後、さらに模擬面接を受けて現在の自分の準備状況を把握することで、実力アップを図る
面接直前対策講座【模擬面接】	
就職活動におけるマナー・身だしなみ講座	就職活動に効果的な服装や身だしなみ、マナーの基本を徹底的に解説
女子学生のためのメイク講座	就職活動に効果的なメイク・ヘアメイクの方法を実演しながら解説

上記以外にも、企業研究講座、自己分析方法講座、筆記試験対策勉強会、グループディスカッション直前対策講座、就職対策模擬テスト、教員採用試験対策講座など就職に関する各種講座等の就職関連行事を実施しています。

校舎案内



アクセス

- ①江古田駅（西武池袋線）
池袋駅から各駅停車で約6分，北口から徒歩約1分
- ②新江古田駅（都営地下鉄大江戸線）
新宿駅から約15分，A2出口から徒歩約10分
- ③小竹向原駅（東京メトロ有楽町線・副都心線）
池袋駅から約6分，2番出口から徒歩約15分



キャンパス見学について 予約制

芸術学部では、事前予約制でキャンパス見学を行っています。ご希望の方は芸術学部ホームページをご覧ください。
なお、修学旅行等の学校行事による見学希望については、学校単位での受付とさせていただきます。

- 1 見学可能日時 月曜日～金曜日／9：00～16：00，土曜日／9：00～12：00
 ※夏期間（8月～9月中旬）については、月曜日～金曜日の10：00～15：00となります
 ※日曜日・祝祭日及び学部事務休止日は、見学を休止しております
 ※芸術学部の諸行事や授業等の事情により、上記日時であっても見学いただけない場合、または見学内容を制限させていただきます場合がございますのでご了承ください
- 2 見学の内容
 学部紹介ビデオの視聴，学科施設案内及び説明（見学内容は学科により異なります）

熱気・やる気・元気



予約制

OPEN CAMPUS 6.27 [日]

学部全体説明会(入試説明含む)／模擬授業／
ワークショップ／個別進学相談コーナー 他

NU
ART
AUDITION

予約制



入試相談会 11.3 - 11.5

[水/祝]

NU
ART
AUDITION
[金]

個別進学相談コーナー 他

予約制



入試博覧会 3.13 - 3.20

[日]

[日]

個別進学相談コーナー 他